



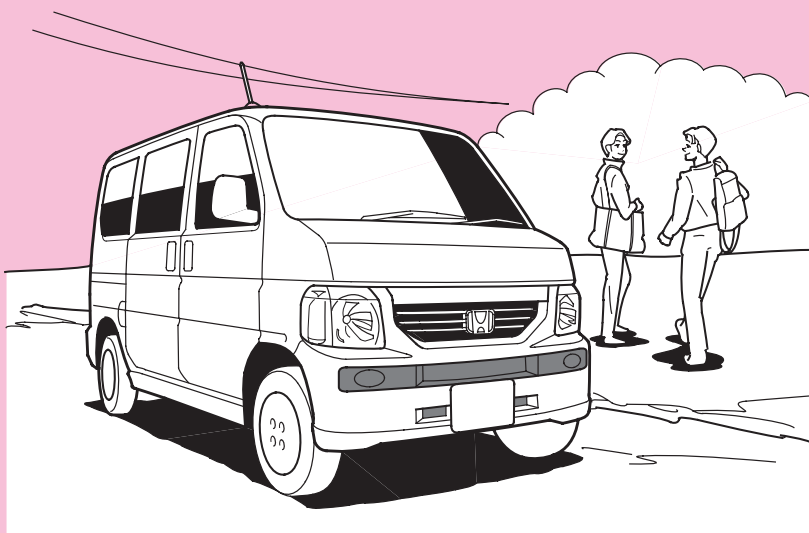
取扱説明書

ご使用前に
よくお読みください。

VAMOS

このたびはHonda車をお買い上げいただき、 ありがとうございます。

この本は **VAMOS** の取り扱いについて
必要事項を説明しています。
安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、
ご使用前に必ずお読みください。



- 運転はルールを守り、マナーよく。
- ・ シートベルトを着用しましょう。
- ・ 法定速度を守りましょう。
- ・ 子供やお年寄りをいたわりましょう。
- ・ 駐停車は、ルールに従いましょう。
- ・ 迷惑運転はやめましょう。
- ・ 自然環境保護に気をくばりましょう。

- 保証や点検整備に関することはメンテナンスノートに記載しておりますので、ご使用前に必ずお読みください。

- 取扱説明書はメンテナンスノートと共に、いつもお車に保管してください。

- お車をゆずられるときは、つぎに所有されるかのためにこの取扱説明書およびメンテナンスノートを車につけておいてください。

- ご不明な点は、担当セールスマンにおたずねください。

車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承ください。

本書の読みかた

この本はドライバーの動作に沿って各部の取り扱いを説明しています。
また、装備、万一のときの応急処置、お車の手入れなど、必要な情報を説明しています。

「安全ドライブのための必読 6 ポイント」

重要ですので、しっかりお読みください。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

危険

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

警告

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

注意

指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

アドバイス

お車のために守っていただきたいこと
(車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、異常事態の処置方法を記載しています)

知識

知っておいていただきたいこと
知っておくと便利なこと

タイトル

階層ごとにデザインを変えてあります

ヘッダー

ページの内容を示しています

ページ

インデックス
(→4ページ)

7. 車との上手なつきあい方

積雪・寒冷時の取り扱い



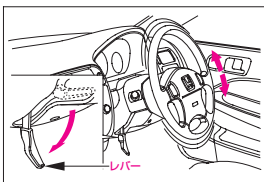
ハンドル・バックミラーの調節

チルトステアリング

ハンドルの高さを適切な位置に変えることができます。



レバーを押し下げ、ハンドルの高さを適切な位置にして、レバーを元の位置まで確実に引き上げて固定します。



△注意

- 走行中に調節するとハンドルが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行する前に行い、ハンドルに上下方向の力を加え固定されていることを確認してください。

ルームミラー

△知識

- 走行中はミラーの調節を行わないでください。

●防眩式ルームミラー

夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにライトの反射を弱くできます。



ノブを動かして切り換えます。



角度調節はノブを昼間の位置に行ってください。

●長期間使わないで 屋外におくとき

塗装面の保護とドアまわりの凍結を防ぐために、ボディカバーを使ってください。

△注意

- 格納するとき、エンジン部を毛布で覆ったり、ラジエーターのまわりに段ボールや新聞紙をはさみ込んだりしないでください。そのまま走行すると、火災のおそれがあります。

193

説明文

装置／機構について

解説



操作方法

安全に関する表示

に分けて記載しています。

※このページはサンプルページですので、記載されている内容と実車は異なります。

本書の上手な使いかた

知りたい項目の説明がすぐ探せるように、いろいろな引きかたが用意されています。



タイトルから探すとき



目次(P.5)

ページインデックス:

目次と対応しているので、目的のページが辞書を引くように探せます。



スイッチ類などの名称が
わからないとき



ビジュアル目次
(P.6～9)



名称から探すとき



さくいん
(P.296～304)

目 次

◆安全ドライブのための必読 6 ポイント

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. お出かけまえに 12 | 2. お子さまに思いやりを 14 |
| 3. 正しい知識で最適運転 18 | 4. オートマチック車の注意ポイント 22 |
| 5. 駐車や停車はしっかりと 26 | 6. こんなことにも注意をしよう 28 |

11

1. 車を運転する前に

- | | |
|------------------|------------|
| ・各部の開閉 34 | ・シートの調節 56 |
| ・バックミラーの調節 68 | ・シートベルト 70 |
| ・チャイルドシート固定装置 78 | |

33



2. 車を運転するときに

- | | | |
|----------------|-------------|---------|
| ・メーター 84 | ・表示灯 88 | ・警告灯 94 |
| ・スイッチの使いかた 102 | ・運転のしかた 112 | |

83



3. 安全装備

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| ・SRSエアバッグシステム 134 | ・シートベルトプリテンショナー 142 |
| ・アンチロックブレーキシステム(ABS) 144 | ・四輪駆動機構(4WD) 146 |
| ・その他の安全装備 147 | |

133



4. ドライブを快適にする装備

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| ・エアコン 150 | ・オーディオ 158 | ・室内装備品 202 |
|-----------|------------|------------|

149



5. 万一のとき

- | | | |
|--------------------|--------------|------------------|
| ・工具・スペアタイヤ・発炎筒 210 | ・故障したとき 212 | ・事故が起きたとき 214 |
| ・けん引 216 | ・パンクしたとき 220 | ・オーバーヒートしたとき 230 |
| ・電気系統が異常のとき 232 | | |

209



6. 車の手入れ

- | | | |
|-----------------|------------|-------------|
| ・点検・整備について 250 | ・簡単な整備 252 | ・日常の手入れ 258 |
| ・車にあった部品の使用 266 | | |

249



7. 車との上手なつきあいかた

- | | |
|---------------------------|-------------|
| ・積雪・寒冷時の取り扱い 268 | ・こんなときは 278 |
| ・環境にやさしい省エネドライブをするために 282 | |

267



・サービスデータ

286

・さくいん

296

・こんなことでお困りのとき

巻末

ビジュアル目次

ライト／方向指示器(ウィンカー)スイッチ 104、106

ヘッドライトレベリングダイヤル 105

ホーンスイッチ 111

メーター 84

表示灯 88

警告灯 94

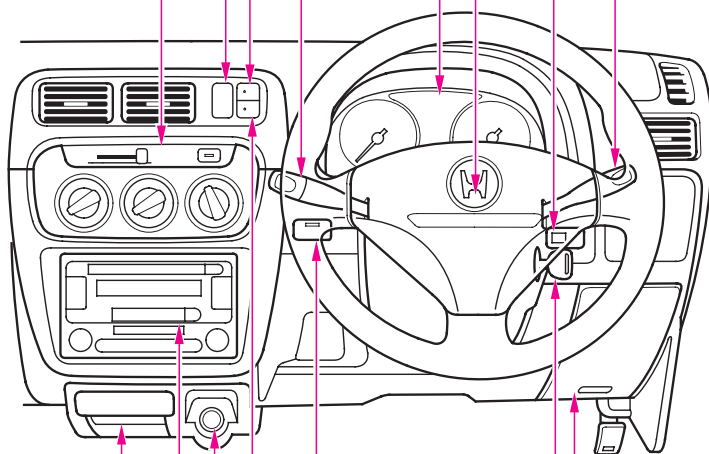
ワイパー／ウォッシャースイッチ 108

リヤデフロスタースイッチ 110

非常点滅表示灯

(ハザード)スイッチ 107

エアコン 150



灰皿 203

オーディオ 注文装備 158

シガレットライター 204

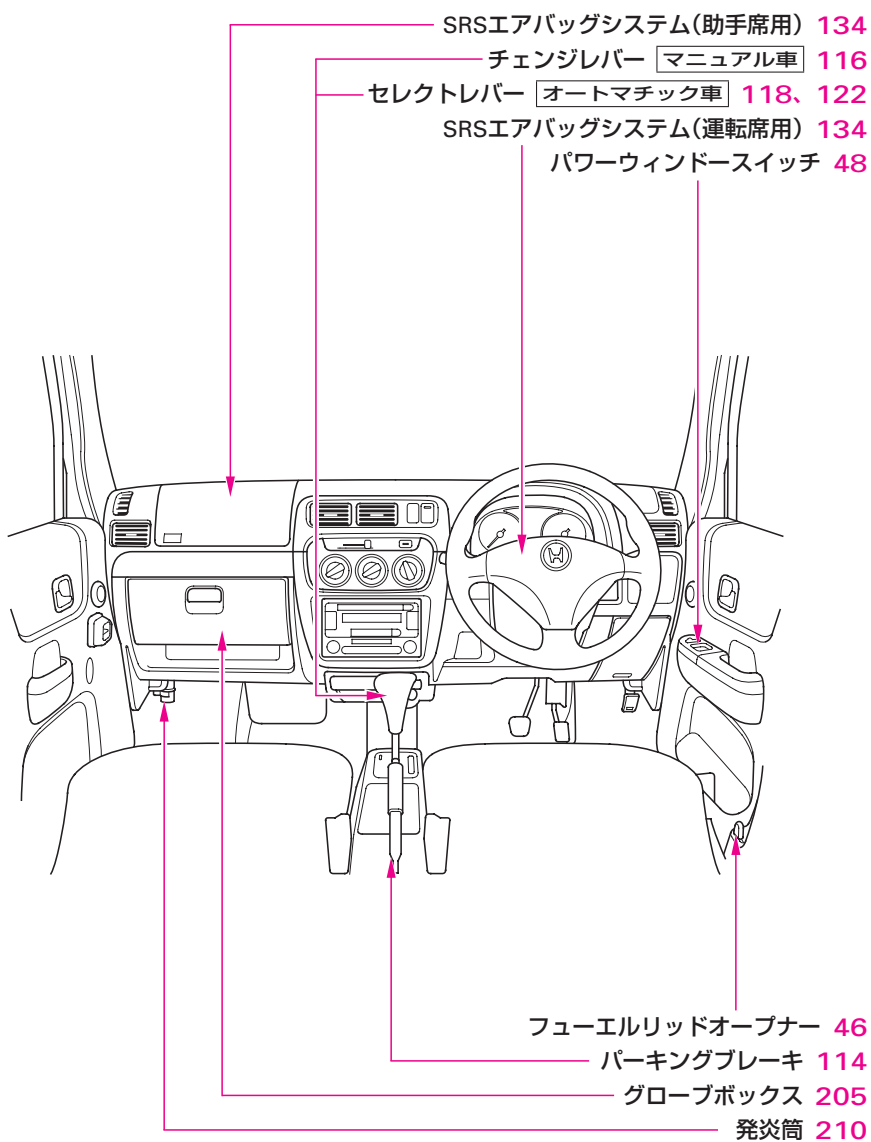
フォグライトスイッチ 注文装備 106

リヤヒータースイッチ タイプ別装備 157

エンジンスイッチ 102

ヒューズボックス 236

ボンネット解錠ノブ 42



ビジュアル目次

テールゲート照明灯 202

シートベルト(チャイルドシート固定機構付き) 78

スライドドアウィンドー 52

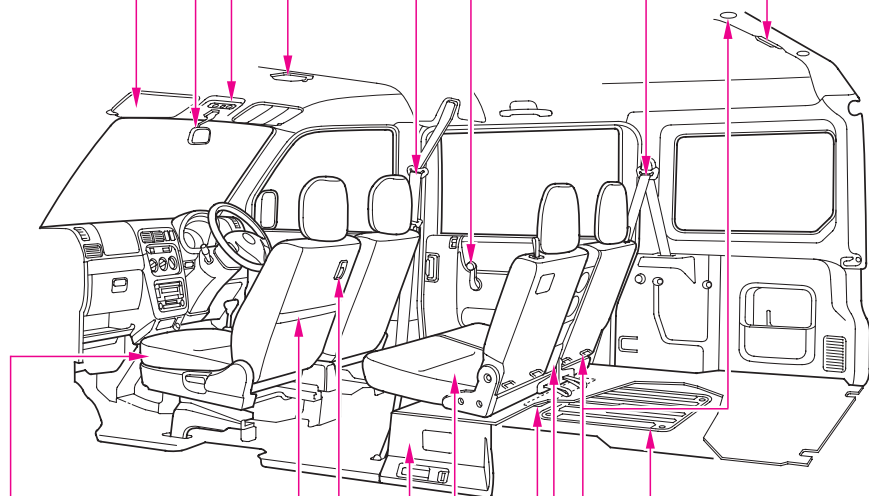
シートベルト 70

室内灯 202

マップランプ 203

ルームミラー 68

サンバイザー 205



フロントシート 59

シートバックポケット

タイプ別装備 207

コンビニフック 206

工具 211

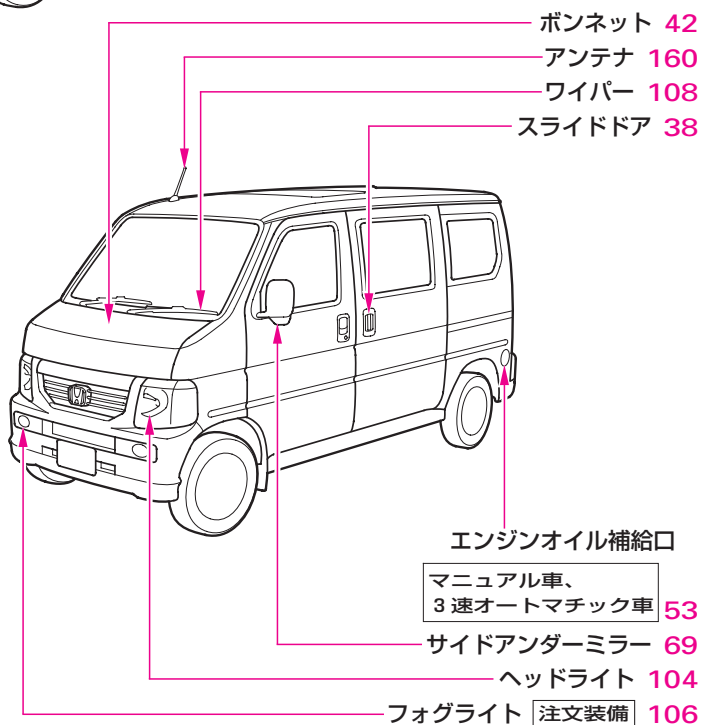
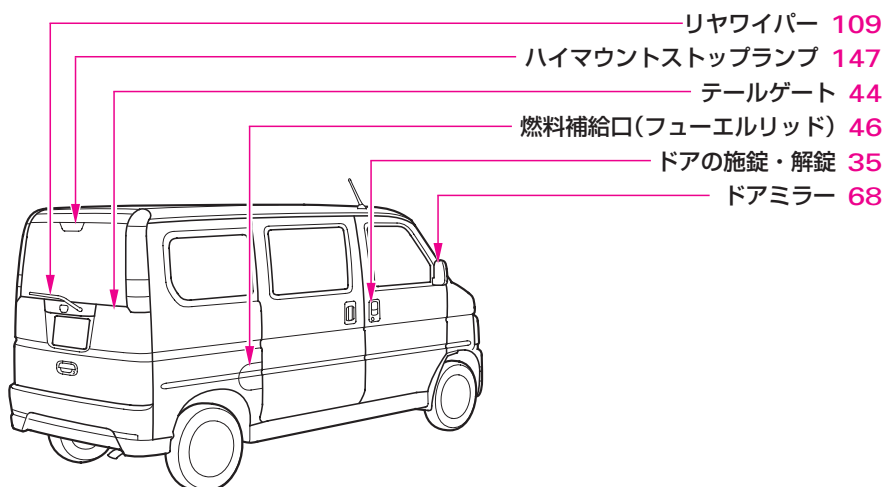
リヤシート 60

メンテナンスリッド 4速オートマチック車 55

アームレスト (カップホルダー付き) 61

車両限定型ISOFIX取付装置 80

エンジンルームリッド 54



安全ドライブのための 必読6ポイント

ご使用の前に知っておいていただきたいこと、
守っていただきたいことをまとめてあります。



- お出かけまえに…………… 12
- お子さまに思いやりを…………… 14
- 正しい知識で最適運転…………… 18
- オートマチック車の注意ポイント… 22
- 駐車や停車はしっかりと…………… 26
- こんなことにも注意をしよう…………… 28

1 お出かけまえに・・・

点検をわすれずに。

<メンテナンスノート参照>

- 道路運送車両法により、法定定期点検と日常点検が義務づけられています。

安全・快適にお使いいただくために、Hondaの点検要領に従って必ず点検してください。

日常点検は車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。

- 普段と違う点に気づいたら、Honda販売店で点検を受けてください。

(音、におい、ブレーキ液の不足、地面に油のあとが残っている時・・・)

- 走行中も車の状態に気を配り、いつもと違う音やにおい、運転感覚などを感じたら早めに点検しましょう。

シートベルトを正しく着用。

<70ページ参照>

- 運転する人はもちろん、同乗する人にも必ず着用させてください。
- シートに深く腰かけ、背もたれは必要以上に倒さないでください。
- 腰骨のできるだけ低い位置に着用してください。



- ベルトにねじれがないか確かめてください。



- ベルトがくび、あご、顔などに当たらないようにしてください。



- 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。



燃料の入った容器やスプレー缶などはのせないで。

引火、爆発のおそれがあります。



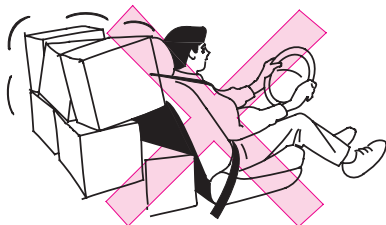
運転の妨げになる物には注意を。

- 走行中動きやすい物を床にそのまま置かないでください。
- フロアマットが、ペダルに引っかからないように注意してください。
ブレーキやアクセルのペダル操作が、確実にできないおそれがあります。



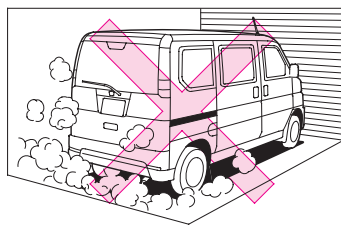
- 手荷物はシートの高さを越えないようにしましょう。

後方視界を妨げたり、急ブレーキのときなどに荷物がとび出すおそれがあります。



排気ガスには十分に気をつけて。

- 排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素が含まれているため、吸い込むと一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところでは、エンジンをかけたままにしないでください。
車内や屋内などに排気ガスが充満し一酸化炭素中毒のおそれがあります。



- 排気管に穴や亀裂があったり、排気音の異常に気づいたらHonda販売店で点検を受けてください。
車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。

お子さまに思いやりを

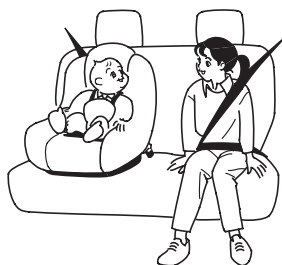
お子さまは、うしろの席に。

- 助手席にのせるのは避けましょう。
 - ・不意の動作が気になったり、スイッチ・レバー類のいたずらなど運転の妨げになるおそれがあります。また、事故が起きた場合、後席のほうが安全といわれています。
 - ・インストルメントパネルに手をついたり、顔や胸を近づけた状態での乗車は、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受けるおそれがあります。
 - ・お子さまを後席に乗せることができなく、やむをえず助手席に乗せるときは、一番大きなお子さまを乗せてください。

お子さまにもシートベルトを。

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させるか、チャイルドシート*をお使いください。

お子さまを抱いていても、衝突したときなどに支えることができず危険です。



※：乳児用シート、幼児用シート、学童用シートをまとめた総称として「チャイルドシート」と呼んでいます。

●お子さまのくびやあごにシートベルトが当たる場合や腰骨にかからない場合は、幼児用シートや学童用シートを使用してください。

- シートベルトをそのまま使うと衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。また、ひとりですわることのできない小さなお子さまは乳児用シートを使用してください。
- チャイルドシートは安全装備です。国土交通大臣が型式を指定または認定したマークが付いているもの、もしくはアメリカやヨーロッパなどの安全基準に合格しているものを必ず選んでください。
- チャイルドシートの形状などによっては、正しく取り付けできないものがあります。この車に合ったチャイルドシートを使用してください。
- この車には、車両限定型ISOFIXチャイルドシートを固定するためのロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジ(アンカープレートアタッチメント)を取り付けるナットが装備されています。この車用に認可を取得した車両限定型ISOFIXチャイルドシートのみ固定し、使用することができます。
車両限定型ISOFIX
取付装置 →80ページ
- Honda純正品のチャイルドシートをご用意しています。ご購入、ご使用に際してはHonda販売店にご相談ください。

《選択の目安》

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

ISOFIXタイプを除く

	体重(kg)	参考身長(cm)	参考年齢
乳児用(ベビー)シート	～10	～75	～12か月
幼児用(チャイルド)シート	9～18	70～100	9か月～4才
学童用(ジュニア)シート	15～32	100～135	4才～10才

車両限定型ISOFIXチャイルドシート

	体重(kg)	参考身長(cm)	参考年齢
乳児用(ベビー)シート	～9	～70	～9か月
幼児用(チャイルド)シート	9～18	70～100	9か月～4才

安全ドライブのための必読6ポイント

●チャイルドシートは確実に取り付けてください。

お子さまを乗せるときは、チャイルドシートが車に確実に取り付けられていることを確認してください。

また、お子さまの体をチャイルドシートにきちんと固定してください。

- ISOFIX対応以外のチャイルドシートは、シートベルトの種類やチャイルドシートの種類と取り付けの向きによっては、固定金具(ロッキングクリップ)が必要になることがあります。

シートベルトの種類 →72ページ

チャイルドシート固定機構付き

シートベルト →78ページ

- 車両限定型ISOFIXチャイルドシートは、ロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジ(アンカープレートアタッチメント)を用いて固定します。車両側の取り付けナットにこの車用のアンカープレートアタッチメント(トップテザーアンカレッジ)を取り付け、トップテザーストラップを結合することにより、チャイルドシートを確実に固定することができます。チャイルドシートを前向きに取り付けるときは、ロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジを用いて固定します。

後ろ向きに取り付けるときは、トップテザーアンカレッジは使用しません。

アンカープレートアタッチメントは、Honda販売店で取り付けてください。

- 車両限定型ISOFIXチャイルドシートは、シートベルトで固定する必要はありません。

車両限定型ISOFIX

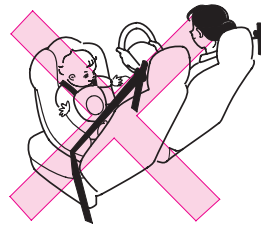
取付装置

→80ページ

- 詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

●助手席には乳児用シートを取り付けしないでください。また、幼児用シートを後ろ向きに取り付けしないでください。

- SRSエアバッグが膨らむ際、乳児用シートや、幼児用シートの背面に強い衝撃を受け危険です。
- やむをえず幼児用シートを前向きに取り付ける場合は、SRSエアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。



●チャイルドシートを取り外したまま車内に放置しないでください。

ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

お子さまを乗せないときでも確実に取り付けるか、家などに保管してください。

ドア、ウィンドー、シートの操作は必ず大人が。

- 手、足、顔などをはさまないように、気をつけてください。
- 走行する前にすべてのドアが完全に閉まっていることを確認してください。

ドアが完全に閉まっていないと走行中にドアが開き、思わぬ事故の原因となります。

- チャイルドブルーフを使ってスライドドアを車内から開かないようにしてください。

<40ページ参照>

走行中にドアを開けると、お子さまが車外に放り出されるおそれがあります。

- パワーウィンドーのメインスイッチは、“OFF”にしておきましょう。

<49ページ参照>

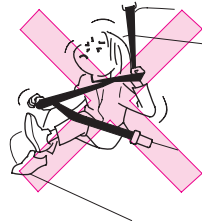
- 走行中、一時停止のときなど、窓から手や頭、物などを出さないよう、注意してください。

思わぬ障害物で事故のおそれがあります。

お子さまをシートベルトで遊ばせないで。

- チャイルドシート固定機構付きシートベルトでは、ベルトをすべて引き出すと完全にベルトを戻すまでは引き出し方向には動きません。ベルトを身体に巻きつけたりして遊んでいると、固定機構が作動してベルトがゆるまなくなり、窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。

万ーベルトをゆるめることができなかった場合は、はさみなどでベルトを切断してください。



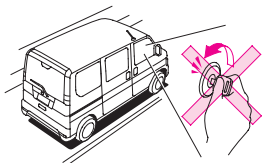
車から離れるときは、お子さまも一緒に連れて。

- お子さまだけを車内に残さないでください。
 - ・炎天下の車内は、高温になり危険です。
 - ・お子さまのいたずらにより車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。



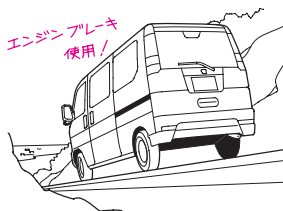
正しい知識で最適運転

- 走行中ハンドルの中に手を入れて、スイッチを操作しないでください。ハンドル操作の妨げになり大変危険です。
- 走行中はエンジンを止めないでください。
 - ・ ブレーキ倍力装置が作用しないため、ブレーキの効きが悪くなります。
 - ・ パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなり、ハンドル操作が重くなります。
 - ・ マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを“0”にすると、キーが抜けることがあり、ハンドルがロックされ危険です。



長い下り坂ではエンジンブレーキを。

- ブレーキペダルを踏み続けて走行するとブレーキが過熱して、効きが悪くなることがあります。
- 長い下り坂では、走行速度に合わせ、ギヤを一段ずつ落として、エンジンブレーキを併用してください。
 - ・ 4速オートマチック車は④にして、エンジンブレーキを使用してください。
 - ④のままですpeedが出すぎるときは③にし、さらに強いエンジンブレーキを使用してください。
 - ・ 3速オートマチック車は③にして、エンジンブレーキを使用してください。

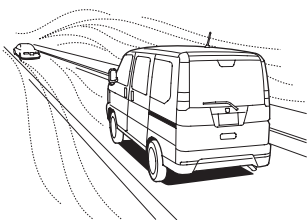


エンジンブレーキ：

走行中アクセルペダルを戻したときにかかるブレーキ力のことで、低速ギヤほどよく効きます。

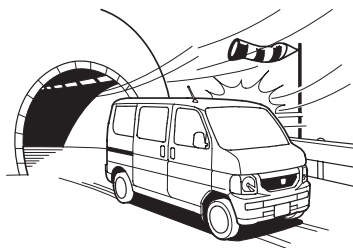
霧が出たときは。

- 霧が出たときは、視界が悪くなります。昼間でもヘッドライトを下向きで点灯し、中央線、ガードレールや前の車の尾灯などをめやすにして、速度を落として運転してください。

**横風の強い日は。**

- 横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、スピードを徐々に下げて進路を立て直してください。

トンネルの出口、橋・土手の上、山を削った切り通し、大型トラックを追い越したり、追い越されたりするときなどには、特に横風の影響を受けやすいので十分注意してください。



安全ドライブのための必読6ポイント

雨天時の走行には注意を。

- 雨天時やぬれた道路では、路面が滑りやすくなっておりタイヤのグリップ力が低下するため、通常より注意深い運転が必要です。

急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、スピードを落として安全運転に心がけてください。

- わだちなどの水のたまりやすい場所では、ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

ハイドロプレーニング現象とは

→278ページ

- 冠水路などの深い水たまりは走行しないでください。

エンジンの破損や電装品の故障および車両故障につながるおそれがあります。

水たまりに入ったあとはブレーキの効き具合を確認。

- 水たまり走行後や洗車後は、低速で走行しながらブレーキペダルを軽く踏んで効き具合を確認してください。ぬれたブレーキは効きが悪かったり、ぬれていない片側だけが効いてハンドルをとられることがあります。
- ブレーキの効きが悪いときは、前後の車に十分注意しながら低速で走行し、ブレーキの効きが回復するまで、繰り返しブレーキペダルを踏んでください。

走行中異常があったら。

- 警告灯が点灯したら、ただちに安全な場所に停車し処置をしてください。

<94ページ参照>

点灯したまま走行を続けると、思わぬ事故のもとになったり、エンジンなどを損傷するおそれがあります。

- 走行中にタイヤがパンクやバースト（破裂）してもあわてずに、ハンドルをしっかり握り、徐々にブレーキをかけてスピードを落とし、安全な場所に停車してください。

急ブレーキや急ハンドルは車のコントロールを失うことがあります危険です。

- 床下に強い衝撃を受けたときは、ただちに車を止めて、ブレーキ液や燃料の漏れ、各部に損傷がないかを確認してください。

ブレーキ液や燃料の漏れ、損傷などにより思わぬ事故につながるおそれがあります。

オートマチック車の 注意ポイント

オートマチック車は、その特性や操作上の注意をよく理解することが大切です。

「オートマチック車の運転のしかた」もあわせてお読みください。

<125ページ参照>

オートマチック車の特性を正しく理解。

クリープ現象とは

- エンジンがかかっているとき、セレクタレバーがP/N以外に入っていると、動力がつながった状態になり、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出します。これをクリープ現象といいます。

キックダウンとは

- DまたはD₃（3速オートマチック車はD）で走行中にアクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、自動的に低速ギヤに切り換わり、エンジンの回転数が上がって、力強い加速を得ることができます。これをキックダウンといいます。

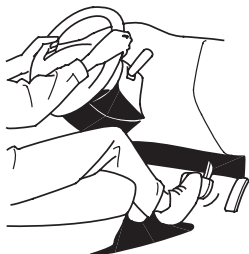
1 ブレーキは右足で。

- ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけましょう。

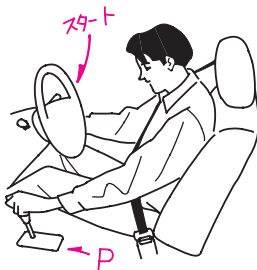
不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。

2 エンジンをかけるまえに。

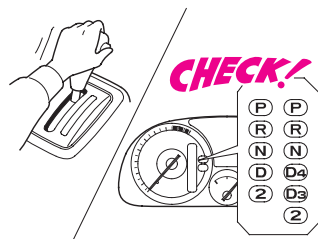
- ペダルの踏みまちがいのないよう、右足でペダルの位置を確認しておきましょう。

**3 エンジンをかけるとき。**

- 安全のため、セレクトレバーは駆動輪が固定されるPでエンジンをかけましょう。

**4 スタートするとき。**

- 思いちがいを防ぐため、セレクトレバーの位置を目で確認しましょう。



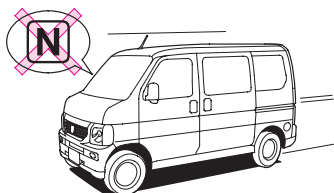
- 発進時のセレクトレバーの操作は、右足でブレーキペダルをしっかり踏み、車が動かないようにして行いましょう。
- アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。急発進して思わぬ事故のもとになります。
- エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がり、クリーブ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかり踏んでいてください。エアコン作動時も同じです。
- 坂道での発進は車が後退しないように必ずパーキングブレーキを併用し、先にブレーキペダルを離してアクセルペダルに踏みかえてから、パーキングブレーキを解除してください。

安全ドライブのための必読6ポイント

5 走行しているとき。

- 走行中は、セレクトレバーをNにしないでください。

エンジンブレーキが全く効かず、思わぬ事故のもとになります。



- 上り坂で、速度を保とうとしてアクセルペダルを踏み込んだとき、キックダウンにより、急にエンジン回転が上がり、思ったより速度が出てしまうことがあります。

アクセルペダルは、慎重に操作してください。

また、すべりやすい路面やカーブでは、急激なアクセルペダル操作は避けてください。

- 下り坂では、エンジンブレーキも使いましょう。

フットブレーキを使いすぎると、ブレーキが過熱して、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。

エンジンブレーキ →18ページ

6 停車しているとき。

- 車が動かないようにブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけましょう。

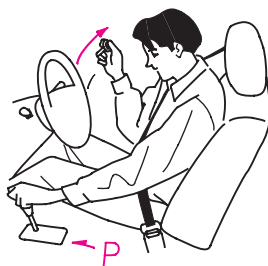
- 停車中の空ぶかしは、やめましょう。

万一、セレクトレバーがR/N以外の場合、思わぬ急発進のもとになります。

7 駐車するとき。

- 駐車するときは、パーキングブレーキをかけてセレクトレバーをPに入れ、エンジンを止めましょう。

万一、セレクトレバーがR/N以外に入っていると、クリープ現象で車が動き出したり、乗り込むときに、誤ってアクセルペダルを踏み込んで急発進したりするおそれがあります。



ほかに気をつけたいこと。

- セレクトレバーは正しい位置で使用してください。

坂道などで、前進(Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ)またはⅠ、Ⅱ)の位置にしたまま惰性で後退したり、後退(Ⅰ)の位置にしたまま前進したりすると、エンジンが停止してブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が重くなり、思わぬ事故の原因となるおそれがあります。

- 後退したあとは、すぐⅠからⅡにもどす習慣をつけましょう。

ちょっと後退したときなど、Ⅰに入れたことを忘れてしまうことがあります。

- 前進から後退、後退から前進するときは車を完全に止め、ブレーキペダルを踏んだままセレクトレバーを操作してください。

車が完全に止まらないうちにレバーを操作すると、トランスミッション破損のおそれがあります。

- 車が完全に止まらないうちに、Ⅰに入れないでください。

急停止して危険であるばかりでなく、トランスミッション破損のもとになります。

シフトロック装置の正しい理解を。

- ブレーキペダルを踏んでいないと、Ⅰからのセレクトレバー操作はできません。

- ・エンジンスイッチが、“Ⅰ”または“0”のときには、ブレーキペダルを踏んでも、レバーは操作できません。

- ・セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。

- Ⅰ以外では、エンジンスイッチからキーは抜けません。

Ⅰ以外では、キーが“Ⅰ”から“0”に回りません。

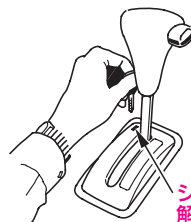
- Ⅰに入れるとブザーが鳴ります。

- ・セレクトレバーがⅠのときにブザーが鳴り、Ⅰに入っていることを運転者に知らせます。

- ・車外の人には音が聞こえないので、ご注意ください。

- 万一、Ⅰからセレクトレバーが操作できないときは：

- ・エンジンスイッチからキーを抜き、
- ・キーをシフトロック解除穴に差し込み、
- ・キーを押しながら、セレクトレバーを操作します。



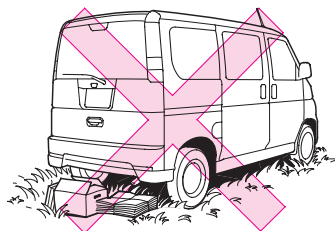
シフトロック
解除穴

5 駐車や停車は しっかりと

可燃物には注意を。

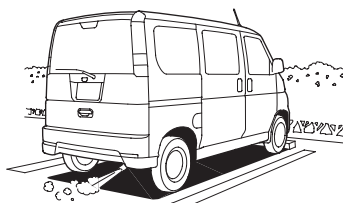
- 枯草や紙、油、木材など燃えやすい物があるところには、駐停車しないでください。

排気管や排気ガスの熱により、着火するおそれがあります。



植込みなどにも注意して。

- 植込みなどの近くに駐停車するときには、排気ガスが当たらないように、車の向きを決めましょう。



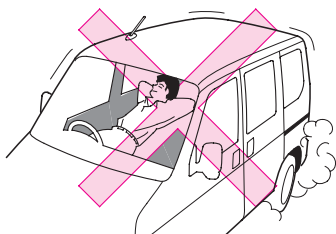
仮眠するときはエンジンを止める。

●エンジンを必ず止めてください。

無意識にチェンジレバーやセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

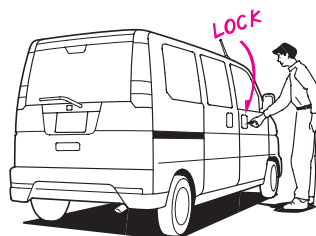
また、無意識にアクセルペダルを踏み続けたりした場合、オーバーヒートなどを起こしたり、エンジンや排気管などの異常過熱による火災事故が発生するおそれがあります。

さらに風向や周囲の状況等によっては、車内に排気ガスが侵入し一酸化炭素中毒のおそれもあります。



車から離れるときには施錠を。

- 必ずパーキングブレーキをかけ、エンジンを止め、ドアを施錠してください。
- 車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。
- お子さまも連れていきましょう。



車の移動はエンジンをかけて。

- 車を移動するときには、必ずエンジンをかけてください。

下り坂を利用しての移動などは、思わぬ事故を招くことがあります。

坂道での駐車は。

- パーキングブレーキをかけ、チェンジレバーまたはセレクトレバーを下表の位置に入れてください。

	マニュアル車	オートマチック車
上り坂	1	P
下り坂	R	
平地		

さらに、タイヤに輪止めをすると効果があります。

こんなことにも 注意しよう

タバコの吸いからは火を消して。

- タバコ、マッチなどは、確実に火を消してから灰皿に捨て、灰皿は必ず閉めてください。
- 灰皿の中に吸いがらをため過ぎたり、燃えやすい物を入れたりしないでください。



アクセサリーの取り付けには注意を。

- 運転視界の中にアクセサリーなどを取り付けないでください。
 - ・視界の妨げにより思わぬ事故のもとになります。
 - ・アクセサリーなどの揺れる動きが、車外の状況認識を遅らせることがあります。
- ガラス面にアクセサリーなどを取り付けないでください。
 - ・吸盤がレンズのはたらきをして火災につながるおそれがあります。



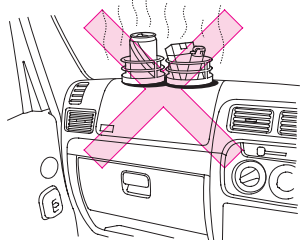
飲み物などを電装品にこぼさないように注意して。

オーディオやスイッチなどの電装品に飲み物がかかると、故障の原因となったり、車両火災につながるおそれがあります。

万一、電装品に飲み物をこぼしたときは、Honda販売店にご相談ください。

車内にライターや炭酸飲料缶などを放置しないで。

炎天下での駐車などで車内温度が上昇すると、ライターなどの可燃物は自然発火したり、缶などは破裂したりするおそれがあります。



ラジエーターキャップに気をつけて。

- ラジエーターキャップが熱いときは、外さないでください。

蒸気や熱湯が吹き出し危険です。



動物を乗せるときは、動きまわらないように注意して。

運転の妨げになったり、急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながるおそれがあります。

携帯電話の使用は停車中に。

- 運転者は、携帯電話を走行中に使用しないでください。

- ・運転者が運転中にハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用することは、法律で禁止されています。
- ・運転中の使用により周囲の状況に対する注意が不十分になると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

改造はしない。

- Honda純正部品以外の、車の性能や機能に適さない部品を、使用しないでください。

- ・適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになることがあります。
- ・Hondaが国土交通省に届け出をした部品以外の物を装着すると、違反になることがあります。

- ホイールは、VAMOS専用品をご使用ください。

専用品以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすことがあります。

Honda販売店にご相談ください。

- 無線装置や自動車電話などの取り付けの際には、必ずHonda販売店にご相談ください。

装置や取り付け方法が適切でない場合、電子機器部品に悪影響をおよぼすことがあります。

安全ドライブのための必読6ポイント

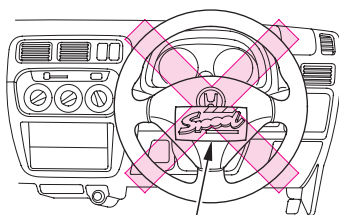
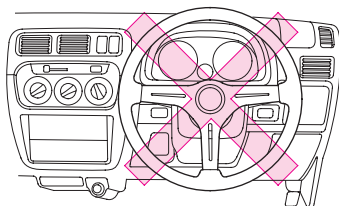
- 運転席および助手席に、SRSエアバッグシステムが装備されています。ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりしないでください。

インストルメントパネル上面には、ステッカー類を貼ったり、アクセサリや芳香剤など物を置かないでください。

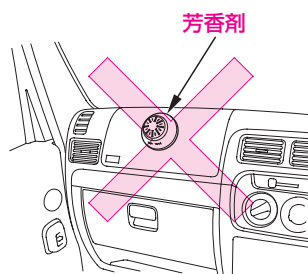
また、フロントガラスにアクセサリなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。

- ・SRSエアバッグが正常に機能しなくなります。
- ・作動時にこれらの物が飛ぶことがあり危険です。
- ・次の場合は、必ず、Honda販売店にご相談ください。

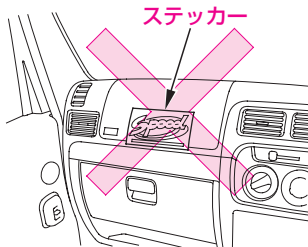
- ①ハンドルまわりの修理
- ②センターコンソール付近の修理
- ③カーステレオ等用品の取り付け
- ④ダッシュボード周辺の板金塗装および修理
- ⑤インストルメントパネルまわりの修理



ステッカー



芳香剤

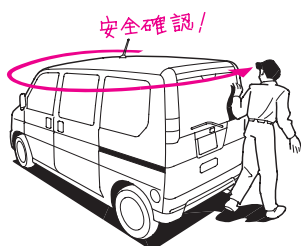


ステッカー

発進するときは、まわりの状況に十分注意して。

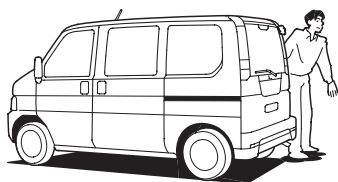
車の周りには運転席から見えないところ(死角)があります。発進するときは子供や障害物など車のまわりの状況に十分注意してください。

- 駐車後に発進するときは、車のまわりの安全確認を十分に行ってください。

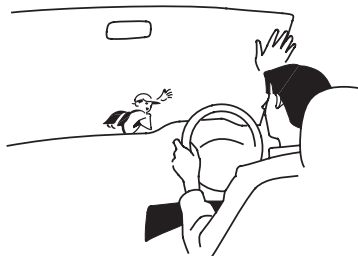


- 後退するときに十分な視界が得られない場合は、車から降りて後方を確認してください。

バックミラーでは確認しきれない死角(車の直後など)があります。



- 信号待ちなどの停車後に発進するときは、つねにまわりの状況に目を配り、安全確認を十分に行ってください。



安全ドライブのための必読6ポイント

ターボ車の取り扱いかた。

ターボ装置は、排気ガスの圧力でタービンを回してエンジンに大量の空気を圧縮して送り込み、より大きな馬力を引き出す非常に精密に作られた装置です。

ターボ装置の故障を防ぐため、必ず以下の点をお守りください。

●高速走行、登坂走行直後はすぐにエンジンを止めないでください。

- ・必ずアイドリング運転を行い、ターボ装置を冷却するようにしてください。

《エンジン停止前のアイドリング運転時間の目安》

運転状況	アイドリング時間
市街地、郊外などの一般走行	必要なし
高速走行	約1分
登坂路の連続走行	約2分

●高速走行や山道走行などの高負荷で走行したあとの再始動時に、高水温警告灯が点滅または点灯することがありますが、機能的に問題はありません。約1分間アイドリング*をするか、走行すると消灯します。

※：セレクトレバーを D または N にしてアイドリングをすると早く消灯します。

●エンジン始動直後のエンジンが冷えているときは、空ぶかしや急加速はしないでください。

●エンジンオイル、オイルフィルターの交換時期を必ず守ってください。

- ・タービンは毎分10万回転以上の高回転で回り、しかも700℃以上の高温になります。

その潤滑と冷却は、エンジンオイルにより行われます。したがって、定められた距離または期間でエンジンオイル、オイルフィルターの交換を行わないと、劣化したエンジンオイルによりタービン軸受部の固着や異音の発生など、故障の原因になります。

エンジンオイルメンテナンス

表示灯

→92ページ

《エンジンオイル、オイルフィルターの交換時期》

エンジンオイル	5,000kmごと または6か月ごと (どちらか早い方)
オイルフィルター	10,000kmごと または1年ごと (どちらか早い方)

推奨エンジンオイル →291ページ



車を運転する前に

1

●各部の開閉

キー	34
ドアの施錠・解錠	35
フロントドア	36
スライドドア	38
キーレスエントリー	40
ボンネット	42
テールゲート	44
燃料補給口	46
前席パワーウィンドー	48
スライドドアウィンドー	52
エンジンオイル補給口	53
エンジンルームリッド	54
メンテナンスリッド	55

●シートの調節

正しい運転姿勢	56
シートアレンジインデックス	58
フロントシート	59

リヤシート	60
フルフラットシート	62
カーゴスペースの作りかた	64

●バックミラーの調節

ルームミラー	68
ドアミラー	68
サイドアンダーミラー	69

●シートベルト

シートベルト	70
着用のしかた	76

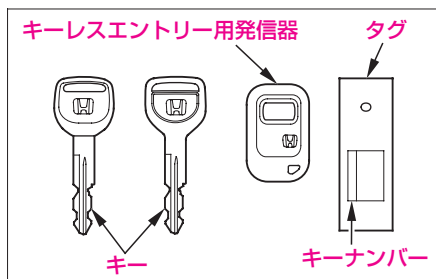
●チャイルドシート固定装置

チャイルドシート固定機構	
付きシートベルト	78
車両限定型ISOFIX取付装置	80

各部の開閉

キー

この車には、以下のキーが付いています。



知 識

- タグにはキーナンバーが表示されています。キーを購入する際に必要となりますので、紛失しないように、キーとは別に車両以外の場所に大切に保管してください。
- キーを紛失したときや、追加したときは、Honda販売店へご連絡ください。

● キー

キーは、エンジンの始動、停止のほかに、ドアとテールゲートの施錠・解錠に使えます。

● キーレスエントリー用発信器

発信器はドアとテールゲートの施錠・解錠に使えます。

キーレスエントリー → 40ページ

🚗 アドバイス

- キーレスエントリー用発信器には信号を発信するための精密な電子部品が組み込まれています。電子部品の故障を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・直射日光が当たるところ、高温、多湿になるところには置かないでください。
 - ・衝撃を与えないでください。
 - ・水にぬらさないでください。
 - ・分解しないでください。
- 電子部品が故障すると、キーレスエントリーが正常に作動しなくなります。そのようなときは、Honda販売店にご連絡ください。

知 識

- キーレスエントリーは微弱電波を使用しているため、周囲の状況により作動範囲が変化することがあります。



ドアの施錠・解錠

⚠ 注意

- 走行する前にすべてのドアが完全に閉まっていることを確認してください。完全に閉まっていないと、走行中にドアが開き思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

🎓 知識

- ドアは不用意に開けると後続車などがぶつかることがあるので周囲の安全を確かめてから開けてください。
- 強風時にドアを開閉するときは、風にあおられないよう注意してください。
- 車から離れるときは、エンジンを止め、ドアを必ず施錠してください。
また、車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。
- 運転席ドアの解錠・施錠に連動して、室内灯とテールゲート照明灯が点灯・消灯します。

室内灯／テールゲート照明灯

→202ページ

パワードアロック

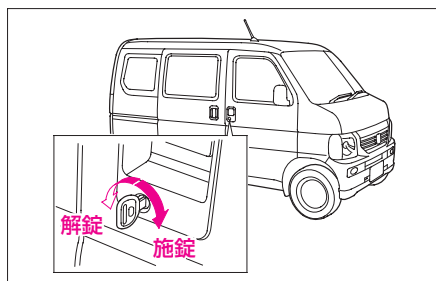
運転席ドアを施錠(解錠)すると助手席ドア、スライドドアとテールゲートも同時に施錠(解錠)します。スライドドアが開いているときは、スライドドアは施錠されません。

フロントドア

●施錠・解錠

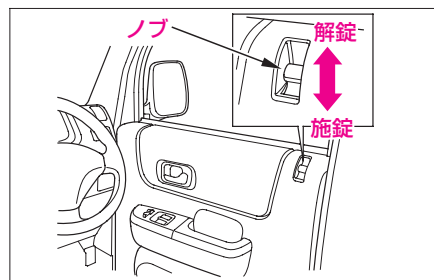
車外から行う場合

キーを確実に差し込んで回します。



車内から行う場合

ノブを矢印の方向に動かします。



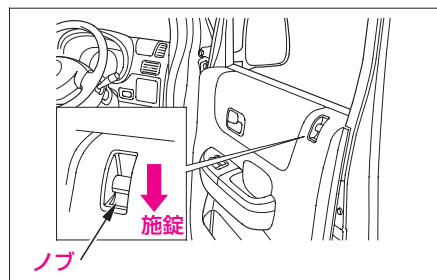


キーを使わないで施錠する場合

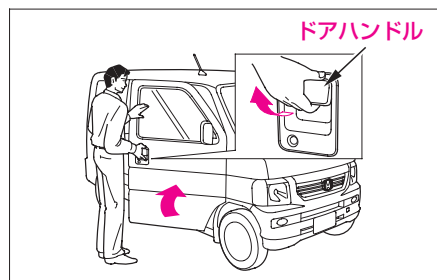
知 識

- キー閉じ込み防止のため、キーを持っていることを確認してから施錠しましょう。

①ノブを施錠の方向に動かします。



②ドアハンドルを引いたままドアを閉めます。



知 識

- ドアハンドルの引きかたが不十分なときや、半ドアの状態からドアを閉めたときは、施錠されないことがあります。
ドアハンドルを引いて施錠されていることを確認してください。

・キー閉じ込み防止装置(運転席のみ)

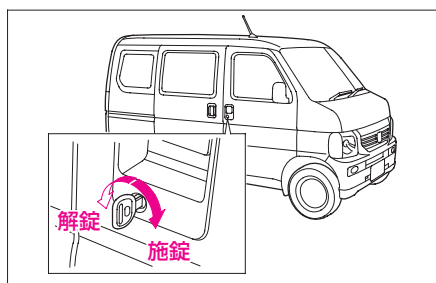
キーがエンジンスイッチに差し込まれたままだと、施錠できません。

スライドドア

●施錠・解錠

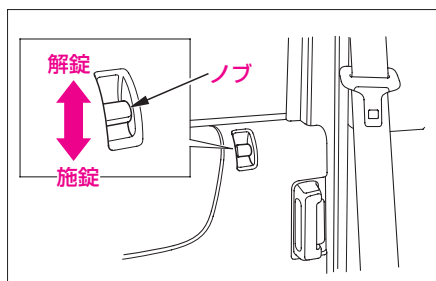
車外から行う場合

運転席ドアにキーを確実に差し込んで矢印の方向に回します。



車内から行う場合

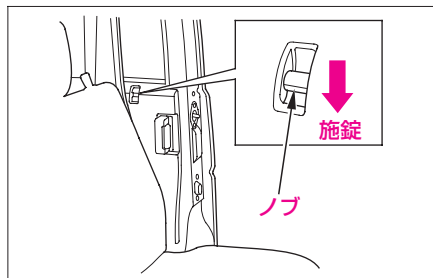
ノブを矢印の方向に動かします。



運転席ドアを施錠(解錠)すると助手席ドア、スライドドアとテールゲートも同時に施錠(解錠)します。

キーを使わないで施錠する場合

①ノブを施錠の方向に動かします。



②ドアを閉めます。

知 識

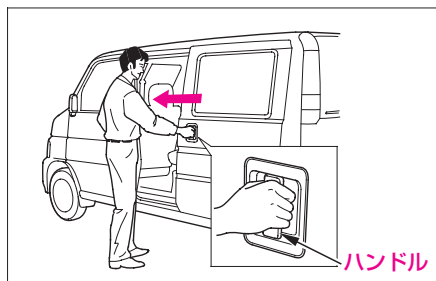
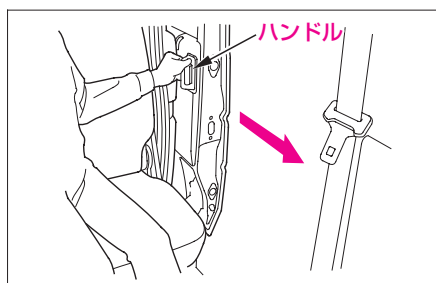
- キー閉じ込み防止のため、キーを持っていることを確認してから施錠しましょう。

**●開けかた**

スライドドアを解錠してから、ハンドルをにぎってドアロックを解除し、ハンドルを持って開けます。

●閉めかた

ハンドルを持って閉めます。

**⚠注意**

- スライドドアを開閉するときは手、足、顔などをはさまないように注意してください。
 - ・ドアハンドルをしっかりとって開閉してください。ドア本体を持って閉めたり、車体側に手をかけないでください。
 - ・手、足、顔を出さないでください。
 - ・スライドドアを開閉するときはドアの内側と外側の安全を十分確認してください。
 - ・ドアのアームやレールなどには、手、足をかけないでください。
 - ・傾斜地ではスライドドアを開けたままにしないでください。ドアが不意に閉まるおそれがあります。

🎓知識

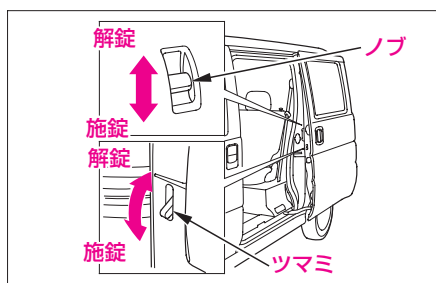
- フューエルリッド(燃料補給口)が開いていると、右側のスライドドアは開きません。(半ドアの状態です。)フューエルリッドを閉めてスライドドアを開けてください。
- スライドドアを開けるときは必ずいっばいに開けてロックさせ、ドアの自重で閉まらないようにしてください。

●チャイルドブローフ

ノブの位置に関係なく、スライドドアが車内から開かなくなります。お子さまを乗せるときなどにお使いください。



ツマミを施錠の位置にしてスライドドアを閉めます。



ドアを開く場合は、外側のドアハンドルで開けます。

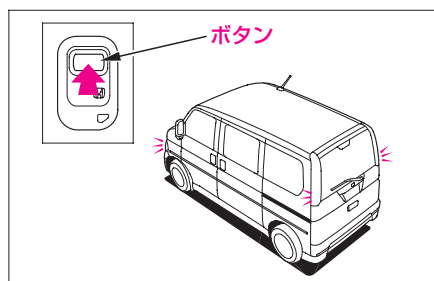
キーレスエントリー

ドア、スライドドア、テールゲートの施錠・解錠がキーを使わずにできます。



ボタンを押すとすべてのドアとテールゲートが施錠(解錠)され、もう一度押すと解錠(施錠)されます。

キーレスエントリーで施錠・解錠を行うと、非常点滅表示灯が施錠時は1回、解錠時は2回点滅します。





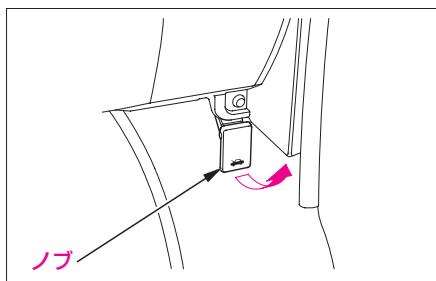
知 識

- 作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられますので、早めに電池を交換してください。
電池交換のしかた →247ページ
- 微弱電波を使用しているため、周囲の状況により作動範囲が変化することがあります。
- キーレスエントリーで解錠してから約30秒以内にドア、テールゲートを開けなかった場合は、自動的に再度施錠されます。
- 次の場合、キーレスエントリーは作動しません。
 - ・ エンジンスイッチにキーが差し込まれているとき。
 - ・ ドアまたはテールゲートが開いているとき。
- 車を離れるときは、ドアハンドルを引いて施錠されていることを確認してください。

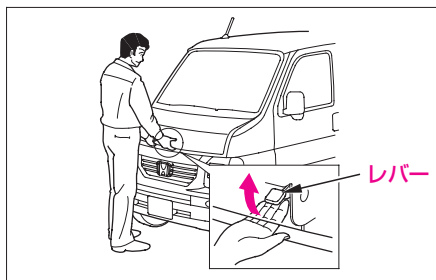
ボンネット

●開けかた

①運転席足元のノブを引きます。



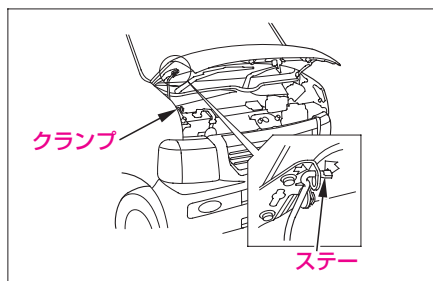
②ボンネット前部が少し浮き上がるので、レバーを上へ押しながら開けます。



知 識

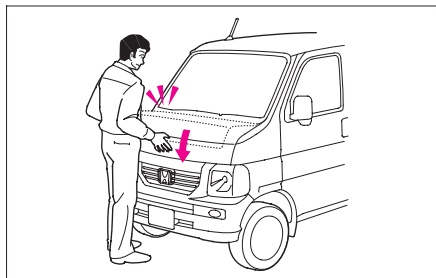
- ワイパーが作動しているときやワイパーアームを起こした状態でボンネットを開けないでください。ボンネットがワイパーに当たり、ボンネットやワイパーが損傷します。

③必ずステーを確実にかけ、固定します。



**●閉めかた**

ステーを外し、クランプに納めます。
ボンネットを静かに下げ、手を離します。



ボンネットが完全に閉まっていることを
確認します。

⚠ 注意

- ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。

🎓 知識

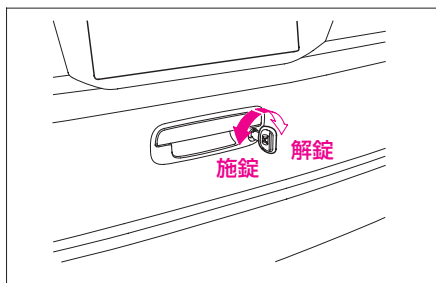
- ボンネットを開けているときに、風にあおられてステーが外れることがあります。特に風の強いときは、ご注意ください。
- ボンネットが完全に閉まっていないうままに走行すると開くことがあります。走行前に必ず確認してください。

テールゲート

●施錠・解錠

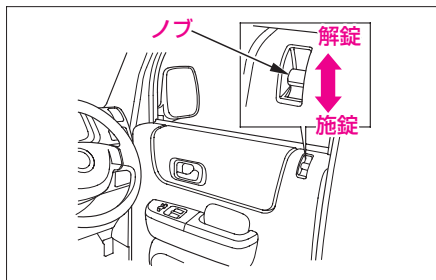
車外から行う場合

キーを確実に差し込んで矢印の方向に回します。



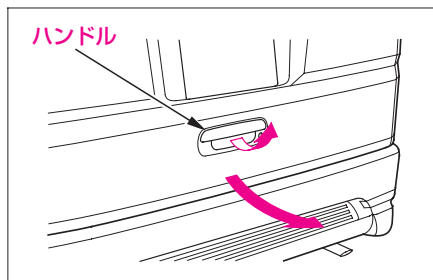
車内から行う場合

運転席ドア部のノブを操作すると助手席ドア、スライドドアとテールゲートも同時に施錠(解錠)します。

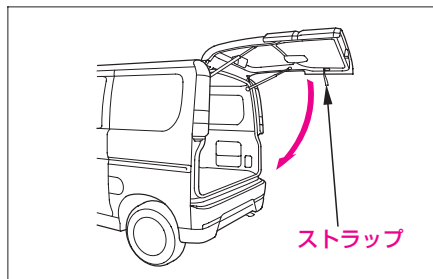


●開閉

テールゲートを解錠してから、ハンドルを引き静かに引き上げて開けます。



ストラップを引いてテールゲートを下げ、上から手で押さえて閉めます。





⚠ 注意

- テールゲートを閉めるときは頭をぶつけたり、手などをはさまないように注意してください。
- エンジンのかけた状態で手荷物を出し入れするときは、排気管の後方に立たないでください。
やけどなど思わぬけがをすることがあります。
- カーゴスペース内には人を乗せないでください。
ブレーキや加速、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。

🎓 知識

- テールゲートを開けたまま走行しないでください。車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。
- 運転席ドアを施錠したあとにテールゲートを閉めると、施錠されてテールゲートが開かなくなります。

燃料補給口

燃料補給口は車の右側後方にあります。

指定燃料：無鉛レギュラーガソリン
(無鉛ハイオクも使用可能)

タンク容量：

マニュアル車 3速オートマチック車 4速オートマチック・2WD車	37 ℓ
4速オートマチック・4WD車	36 ℓ



アドバイス

- 必ず無鉛ガソリンを補給してください。補給するときは、無鉛ガソリンであることを確認してください。
- ・有鉛ガソリンを補給すると、触媒装置などを損ないます。
- ・高濃度アルコール含有燃料を補給すると、エンジンや燃料系などを損傷する原因となります。
- ・軽油や粗悪ガソリンを補給したり、不適切な燃料添加剤を使うと、エンジンなどに悪影響を与えます。

●燃料補給のしかた

⚠ 警告

- 燃料補給時は火気厳禁です。
燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
 - ・エンジンは必ず止めてください。
 - ・タバコなどの火気を近づけないでください。
 - ・こぼれた燃料はすみやかに拭き取ってください。
 - ・燃料の取り扱いは、屋外で行ってください。
- 燃料補給作業は身体の静電気を除去してから行ってください。
静電気の放電による火花により気化したガソリンに引火し、やけどを負うおそれがあります。

🎓 知識

- 車体や給油機などの金属部分に触れると、静電気を放電することができます。
- 燃料補給作業は、静電気を放電した人のみで行ってください。
- 燃料補給中に車内にもどったりすると再び帯電することがあります。再度、静電気を除去してください。
- ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。



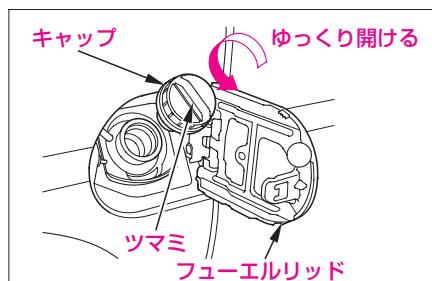
- ①運転席右脇にあるフューエルリッドオープナーを後方に押ししてリッドを開けます。



知 識

- フューエルリッドは右側のスライドドアが閉まっていることを確認してから開けてください。スライドドアが開いていると、フューエルリッドがドアにあたります。
- フューエルリッドが開いていると、右側のスライドドアは開きません。(半ドアの状態で止まります。)フューエルリッドを閉めてから、スライドドアを開けてください。なお、半ドアの状態でフューエルリッドを開けると、右側のスライドドアは開けることもできますが、フューエルリッドを閉めてからスライドドアを開けてください。

- ②フューエルキャップを開ける前に、身体の静電気除去を行います。
- ③ツマミを持ってキャップをゆっくり回して開けます。



⚠ 注意

- キャップはゆっくり開けてください。急激に開けると燃料補給口より吹き返しが発生し、火災になるおそれがあります。

- ④給油ノズルを奥まで差し込んで補給します。

燃料タンクが満タンになると給油ノズルの自動停止がはたらき、給油が停止します。

注意

- 給油ノズルの自動停止後は、追加補給しないでください。
気温などの変化により燃料があふれ、火災になるおそれがあります。

知識

- 気温などの変化により燃料があふれないように、タンク容量に達すると燃料タンクに空間を残して給油ノズルの自動停止がはたらくようになっています。

- ⑤キャップを“カチッ”という音が2回以上するまで締め付けます。フューエルリッドは手で押さえつければ閉まります。

注意

- キャップが確実に閉まっていることを確認してください。
確実に閉まっていないと走行中に燃料がもれ、火災になるおそれがあります。

前席パワーウィンドー

エンジンスイッチが“II”のとき、ウィンドーの開閉ができます。



開閉は、それぞれのドアにあるスイッチで操作します。

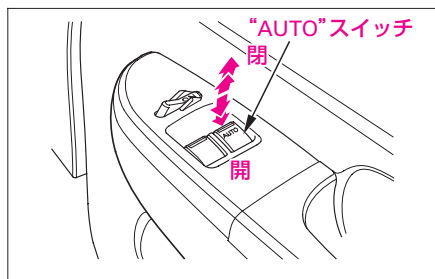
- ・運転席スイッチは、助手席ウィンドーも操作できます。



●運転席ウィンドーの開閉

スイッチを軽く操作している間、作動します。
強く操作すると、自動で全開(全閉)します。

開けるとき…スイッチを押します。
閉めるとき…スイッチを引き上げます。



自動開閉中にウィンドーを停止させるときは、スイッチを作動方向とは逆へ軽く操作します。

●助手席ウィンドーの開閉

メインスイッチを“ON”にしてから、スイッチを操作します。

スイッチを操作している間、作動します。

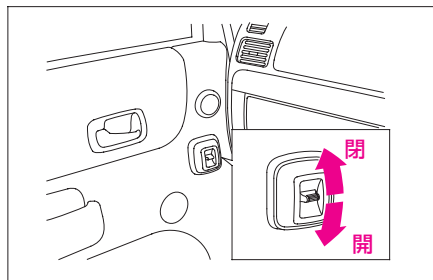
・運転席ドアスイッチ

開けるとき…スイッチを押します。
閉めるとき…スイッチを引き上げます。



・助手席ドアスイッチ

開けるとき…スイッチを下に押します。
閉めるとき…スイッチを上を押します。



助手席ウィンドーを動かなくしたいとき (メインスイッチ)

メインスイッチを“OFF”にしておけば、
助手席ウィンドーは作動しません。

警告

- パワーウィンドーを閉めるときは、手や顔などをはさまないようにしてください。
ドアガラスにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあります。
特にお子さまには気をつけてください。

注意

- 車から離れるときはキーを抜き、お子さまも一緒に連れて行ってください。
いたずらなど誤った操作をして思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- ウィンドーの開閉はお子さまではなく大人が操作するようにしてください。
- 小さなお子さまが同乗しているときは、お子さまが誤って操作しないよう、メインスイッチを“OFF”にしておきましょう。

**●はさみ込み防止機構(運転席のみ)**

運転席ウィンドーを自動で閉じているときに、窓枠とドアガラスの間に異物のはさみ込みを検知するとはさみ込み防止機構が作動し、ドアガラスの上昇が停止して自動で下降します。

⚠ 注意

- ウィンドーを確実に閉めるため、閉めきる直前の部分では、はさみ込みを検知できない領域があります。指などをはさまないように注意してください。

🎓 知識

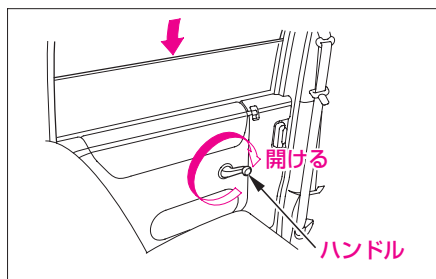
- 故障などではさみ込み防止機構が作動してしまい、ウィンドーを自動で閉めることができなくなったときは、スイッチを軽く引き上げ続けると閉めることができます。
- 環境や走行条件による衝撃などで、はさみ込み防止機構が作動することがあります。
- バッテリーやヒューズを交換した場合は、オート作動ができなくなります。
その場合は、エンジンを始動しドアガラスを一番下まで下げてから、スイッチを引き上げ続け、ウィンドーを閉め切った状態で、約1秒間スイッチを保持すると機能が復帰します。

スライドドアウィンドー

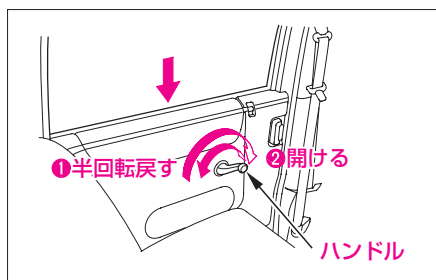
開閉は、それぞれのドアにあるハンドルを回します。

●開けかた

ハンドルを回して開けます。ウィンドーとハンドルは半開の位置で止まります。



ウィンドーを全開させるときは、ハンドルを半回転戻してから回します。



●閉めかた

ハンドルを回して閉めます。

⚠ 注意

- スライドドアの窓から手や頭を出さないでください。
不意にスライドドアが動くと窓枠がぶつかりけがをするおそれがあります。

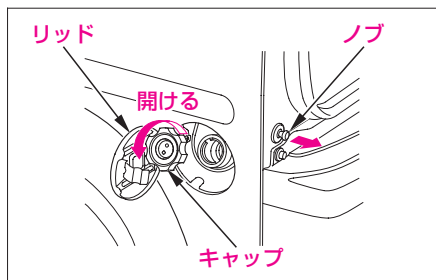


エンジンオイル補給口

マニュアル車、3速オートマチック車

●開けかた

- ①テールゲートを開けます。
テールゲート →44ページ
- ②カーゴスペース開口部左下にあるノブを引いてリッドを開けます。
- ③キャップを回して開けます。



●閉めかた

キャップが止まるまで回します。リッドは手で押さえつければ閉まります。

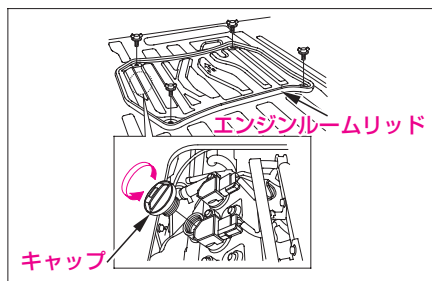
知 識

- リッドを開けているときは、スライドドアを開けないでください。リッドがドアにあたります。

4速オートマチック車

●開けかた

- ①エンジンルームリッドを外します。
エンジンルームリッドの取り外し →54ページ
- ②キャップを回して開けます。



●閉めかた

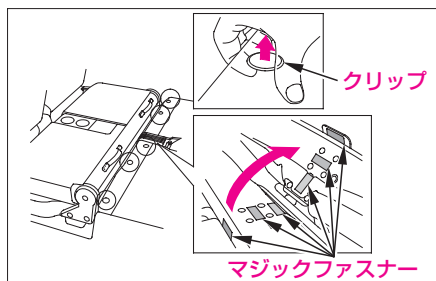
- ①キャップが止まるまで回します。
- ②エンジンルームリッドを取り付けます。
エンジンルームリッドの取り付け →55ページ

エンジンルームリッド

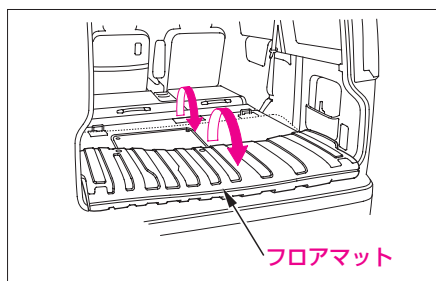
①リヤシートを収納します。

カーゴスペースの作りかた →64ページ

②フロアマットのクリップとマジックファスナーを外します。



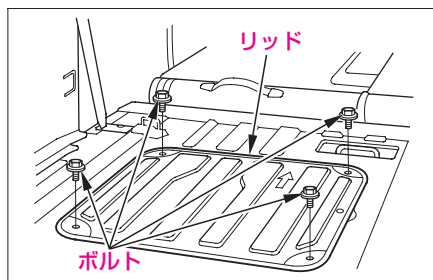
③フロアマットを前から後方へめくりま
す。



④

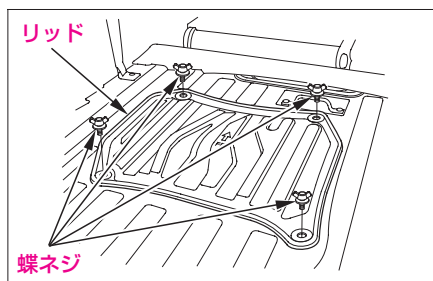
マニュアル車、3速オートマチック車

ボルト(4本)を外し、リッドを外しま
す。



4速オートマチック車

蝶ネジ(4本)を外し、リッドを外しま
す。



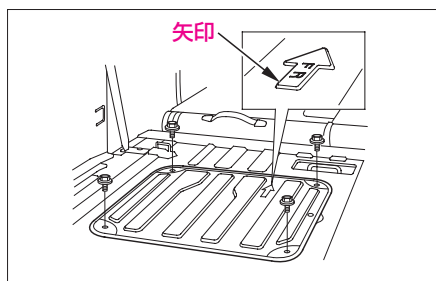
知 識

- リッドは熱くなっていることがあ
りますので、取り扱いには気をつ
けてください。

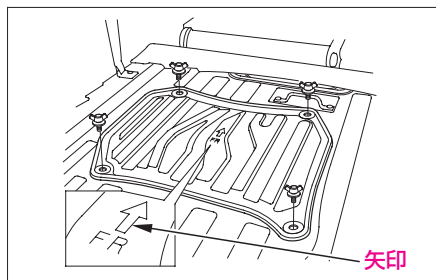


- ⑤取り付けるときは、逆の手順で行います。リッドの矢印を車両の前方に向けます。

マニュアル車、3速オートマチック車



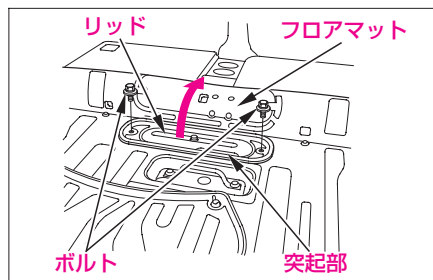
4速オートマチック車



メンテナンスリッド

4速オートマチック車

- ①リヤシートを収納します。
カーゴスペースの作りかた →64ページ
- ②フロアマットのクリップとマジックファスナーを外します。
→54ページ
- ③フロアマットを前から後方へめくりま
す。
→54ページ
- ④ボルト(2本)を外し、リッドを外しま
す。



- ⑤取り付けるときは、逆の手順で行いま
す。リッドの突起部を車両の後方に向
けます。

シートの調節

正しい運転姿勢

運転者は正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節します。

正しい運転姿勢とは、シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる姿勢をいいます。



同乗者も、シートに深く腰かけ、背もたれから背を離さないようにしてください。

助手席同乗者はインストルメントパネルに顔や胸が必要以上に近づかないように、シートを後ろに下げます。



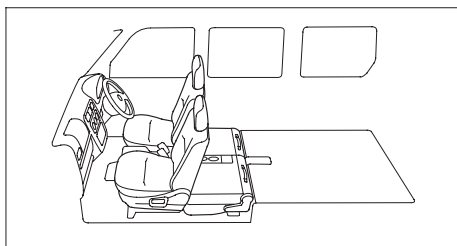
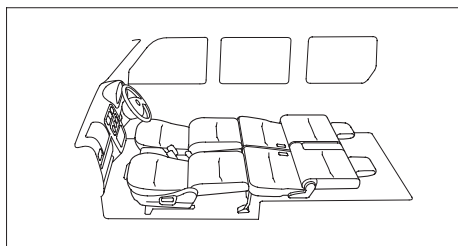
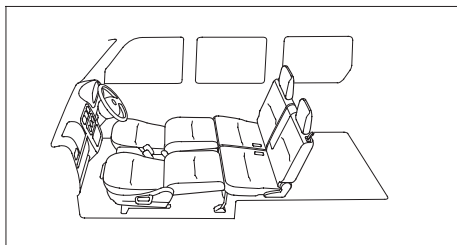
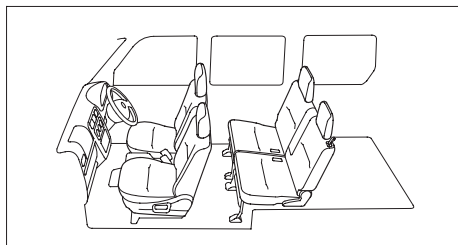
⚠ 警告

- シートに深く腰かけてください。
また、背もたれは必要以上に倒さないでください。
寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRSエアバッグに必要以上に近づくと、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。
 - ・ 運転者は正しい運転姿勢がとれる範囲で、シートを後ろに下げてください。
 - ・ 助手席同乗者はインストルメントパネルに近づかないように、シートを後ろに下げてください。

⚠ 注意

- 走行中に調節するとシートが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
調節は走行する前に行い、シートを前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。
- 背もたれと背中の中にクッションなどをいれないでください。
正しい運転姿勢がとれないばかりか、シートベルトなどの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
- シートを操作するときは、操作する人やまわりの人の手や足などをはさまないように十分注意してください。
- シートの下に物を置かないでください。
物がはさまってシートが固定されず思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートアレンジインデックス

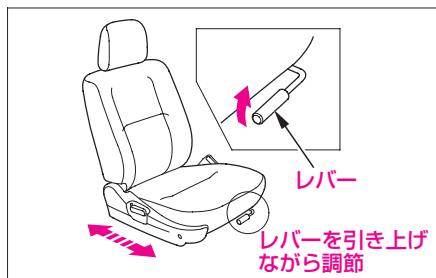


フロントシート	59
リヤシート	60
フルフラットシート	62
カーゴスペースの作りかた	64

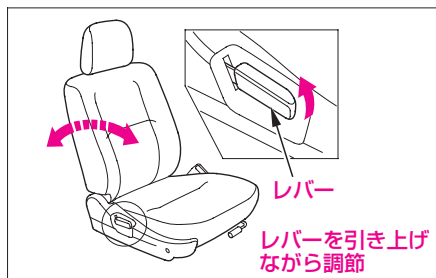


フロントシート

●前後位置の調節



●背もたれの調節



●ヘッドレストの調節

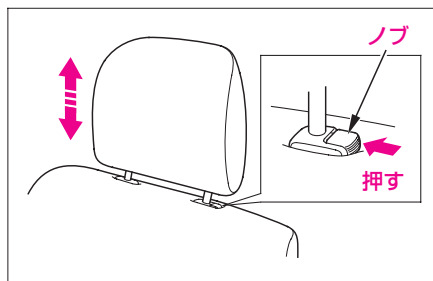
走行する前に耳とヘッドレストの中心が同じ高さになるように調節し、確実に固定します。

背が高い人は、固定できる範囲で一番高い位置にしてお使いください。



高くするときは、ヘッドレストを持ち上げます。

低くするときはノブを押しながらヘッドレストを下げます。



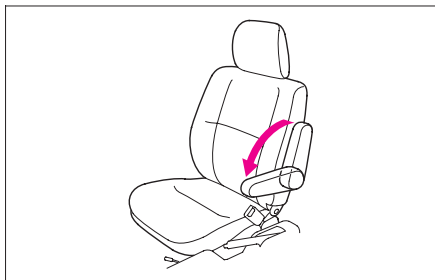
⚠ 警告

- ヘッドレストを外した状態で走行しないでください。また、固定できる高さを越えて使わないでください。衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。走行前に必ず正しい位置に調節してください。

●アームレスト

タイプ別装備

前に倒して使います。



⚠ 注意

- シートベルト着用時にアームレストに引っかけると、万一のときシートベルトの機能が発揮できないことがあります。
シートベルトは正しく着用してください。

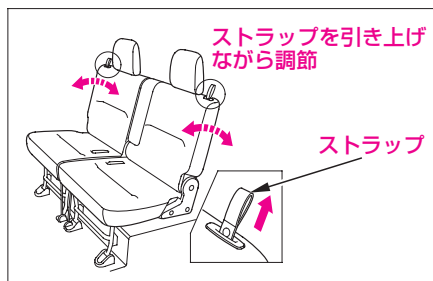
🚗 アドバイス

- アームレストに腰をかけたり荷物をのせるなどの大きな力を加えないでください。アームレストが破損するおそれがあります。

リヤシート

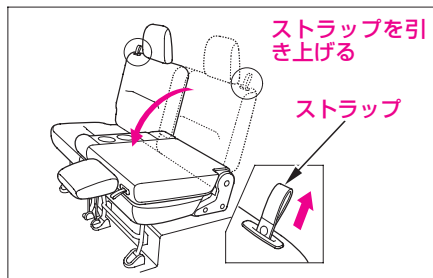
●背もたれの調節

ストラップを引き上げながら、背もたれの角度を調節します。
片側ずつ独立して行えます。



●背もたれの倒しかた

ストラップを引き上げながら、背もたれを前に倒します。
片側ずつ独立して行えます。



●起こしかた

ストラップを引き上げながら、背もたれを起こします。
片側ずつ独立して行えます。



●ヘッドレストの調節

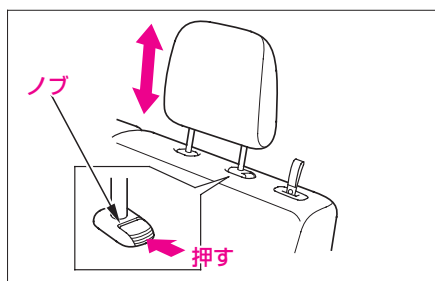
走行する前に耳とヘッドレストの中心が同じ高さになるように調節し、確実に固定します。

背が高い人は、高い位置にしてお使いください。



高くするときは、ヘッドレストを持ち上げます。

低くするときはノブを押しながらヘッドレストを下げます。

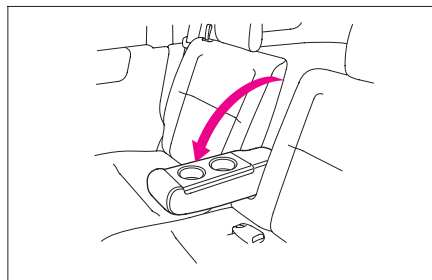


⚠ 警告

- ヘッドレストを外した状態で走行しないでください。また、固定できる高さを越えて使わないでください。衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。走行前に必ず正しい位置に調節してください。

●アームレスト

前に倒して使います。



⚠ 注意

- 倒した背もたれの上やカーゴルーム内には人を乗せて走行しないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。

🚗 アドバイス

- アームレストに腰をかけたり荷物をのせるなどの大きな力を加えないでください。アームレストが破損するおそれがあります。

🎓 知識

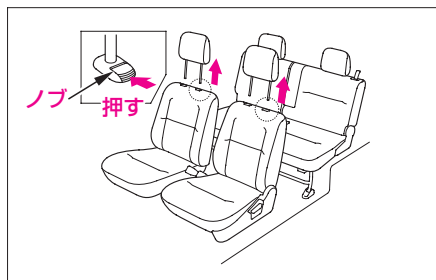
- 背もたれを起こしたときは、背もたれを前後にゆずって確実に固定されていることを確認してください。

フルフラットシート

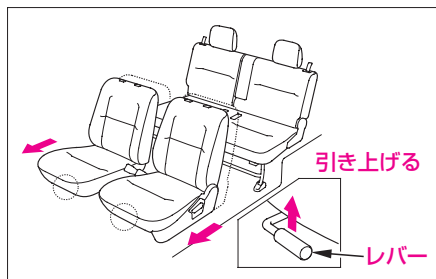
フロントシートとリヤシートをフルフラットにできます。

片側ずつ独立して行えます。

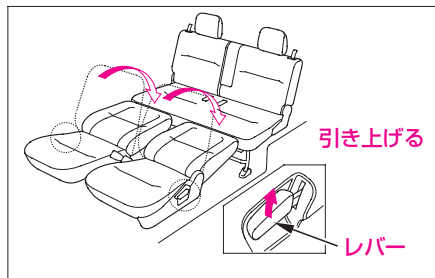
- ① ノブを押して、フロントシートのヘッドレストを外します。



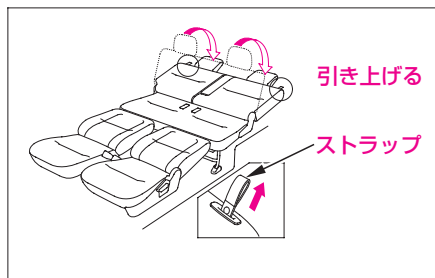
- ② レバーを引き上げながらフロントシートを前方いっぱいに動かします。



- ③ 背もたれ調節レバーを引き上げながら背もたれを後ろへ倒して固定します。



- ④ ストラップを引き上げながら、リヤシートの背もたれを後ろへ倒して固定します。



元に戻すときは逆の手順で行います。

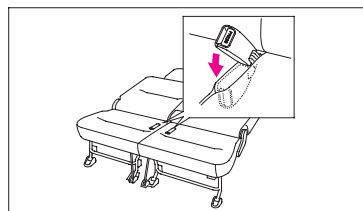


⚠ 注意

- フルフラット状態で、人や荷物などを乗せたまま走行しないでください。
ブレーキをかけたときなどに、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- フルフラット状態で、シートの上を走り回らないでください。
また、シートの上を移動するときは、シートの中央を踏んでゆっくりと移動してください。
シートの端を踏むと足を踏み外すおそれがあります。
- アームレストは収納してください。
つまずいたり、足を踏み外すおそれがあります。
- 操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意してください。
- 背もたれが急に戻り、顔などにけがをするおそれがあります。背もたれを起こすときは、必ず背もたれに手を添えて操作してください。

🎓 知識

- フルフラットにしたときや元に戻したときは、シートを前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。
- フルフラットシート使用時にバックルをシートベルトバックルホルダーに収納しておくで快適に使用できます。



カーゴスペースの作りかた

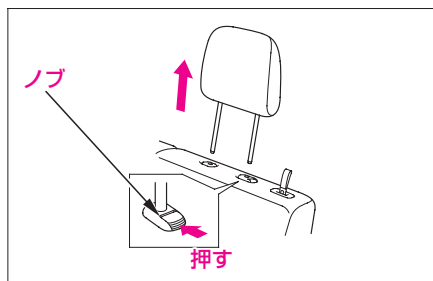
知 識

- 走行中動きやすい物を床にそのまま置かないでください。

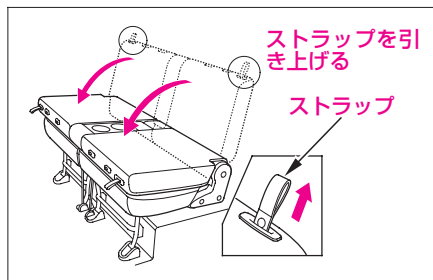
リヤシートを収納すると荷室を広くできます。
片側ずつ独立して行えます。

収納のしかた

- ① フロントシートを前方へ移動します。
フロントシート → 59ページ
- ② ノブを押してヘッドレストを外します。

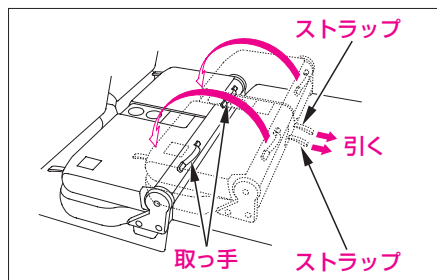


- ③ ストラップを引き上げながら背もたれを前に倒します。





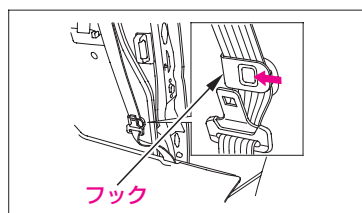
- ④ストラップを引ながら取っ手を持って、シート全体を前方へずらします。



- ⑤フロントシートの位置を調節します。
フロントシート →59ページ

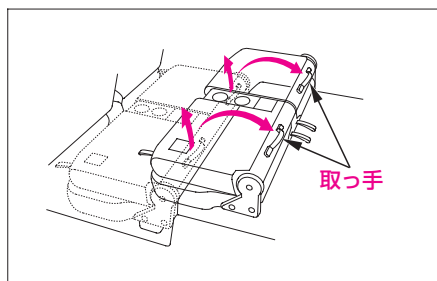
知識

- この場合フロントシートの後方へのスライド量は制限されます。
- スライドドアから荷物を出し入れするときは、シートベルトをフックに差し込んでおきます。



元に戻すとき

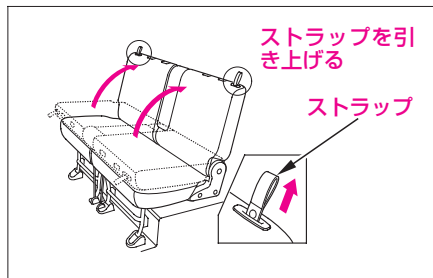
- ①フロントシートを前方へ移動します。
フロントシート →59ページ
- ②取っ手を持って、シート全体を後方へ引き上げます。



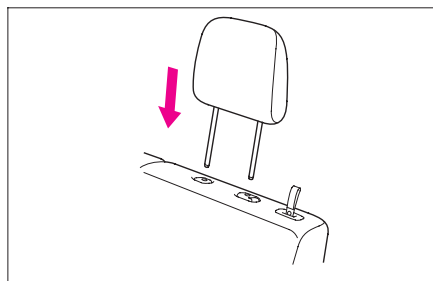
知 識

- 取っ手以外の部分を持ってシートを引き上げないでください。故障の原因となります。

- ③ストラップを引き上げながら、背もたれを起こします。



- ④ヘッドレストを取り付けます。

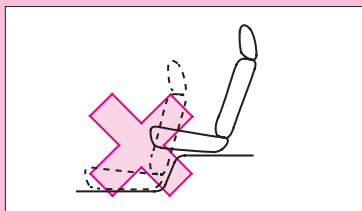


- ⑤フロントシートの位置を調節します。
フロントシート →59ページ



⚠ 注意

- 操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意してください。
- 格納したリヤシートの背もたれの上やカーゴスペースには人を乗せて走行しないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。
- 格納したリヤシートの背もたれの上やカーゴスペース内を走り回らないでください。思わぬけがをすることがあります。
- シートを格納した状態で背もたれを起こして使用しないでください。ブレーキや追突のときなどに飛び出し傷害をうけるおそれがあります。



🎓 知識

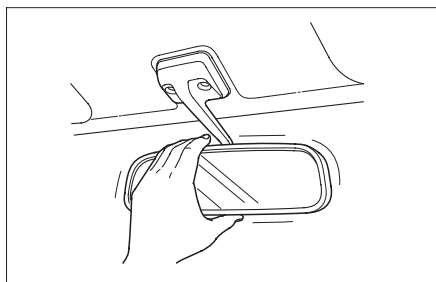
- シートを元に戻したときは、シートを前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。
- カーゴマットは、必ず確実に敷いてください。
カーゴマットが確実に敷いていない状態では、リヤシートが不安定になりロックやヒンジなどを破損するおそれがあります。

バックミラーの調節

ルームミラー

知 識

- 走行中はミラーの調節を行わないでください。



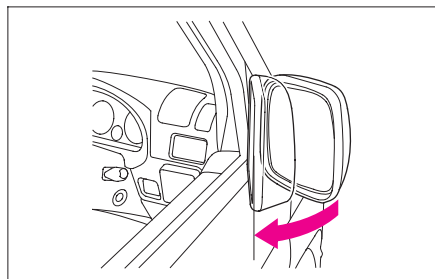
ドアミラー

知 識

- ミラーを格納したまま走行しないでください。また、走行中はミラーの調節を行わないでください。

● 格納のしかた

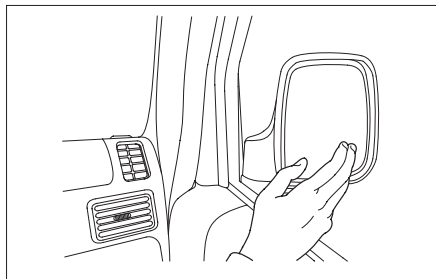
ミラーを折りたたむことができます。狭い所へ駐車をするときに便利です。走行するときは、必ず元に戻してください。





●角度調節のしかた

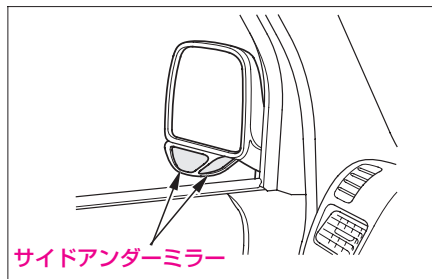
鏡面を動かして角度を調節します。



サイドアンダーミラー

助手席側ドアミラーの下部に付いています。

停車時や発進前などに車両左側面を確認するときに役立ちます。



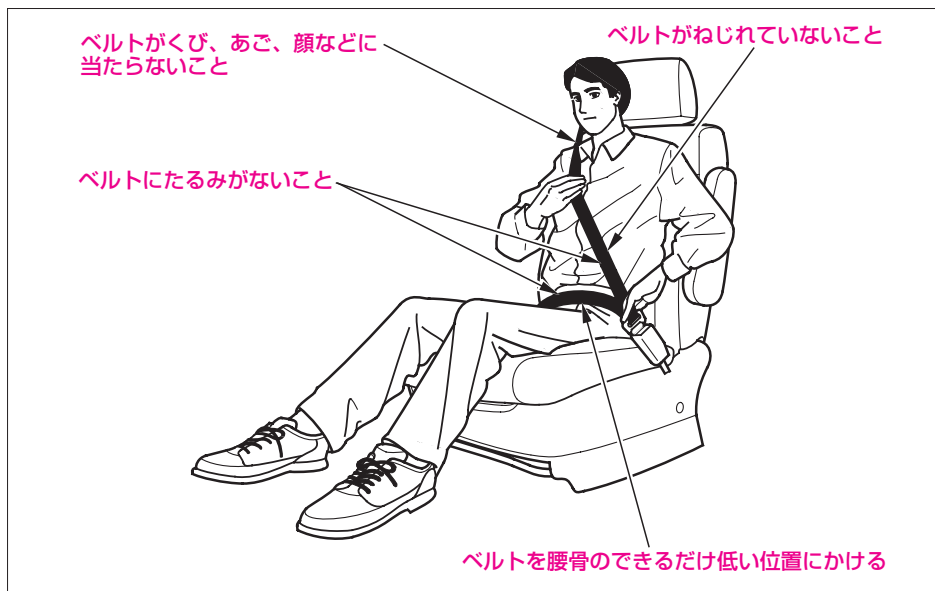
🎓 知 識

- サイドアンダーミラーは車両左側面を見るために下向きになっています。
車両後方の確認は直接確認するか、ルームミラーやドアミラーなどで十分に行ってください。
- サイドアンダーミラーの角度調節はできません。

シートベルト

シートベルト

シートベルトは、車を運転するまえに運転者は正しい運転姿勢で着用し、同乗者にも必ず着用させてください。



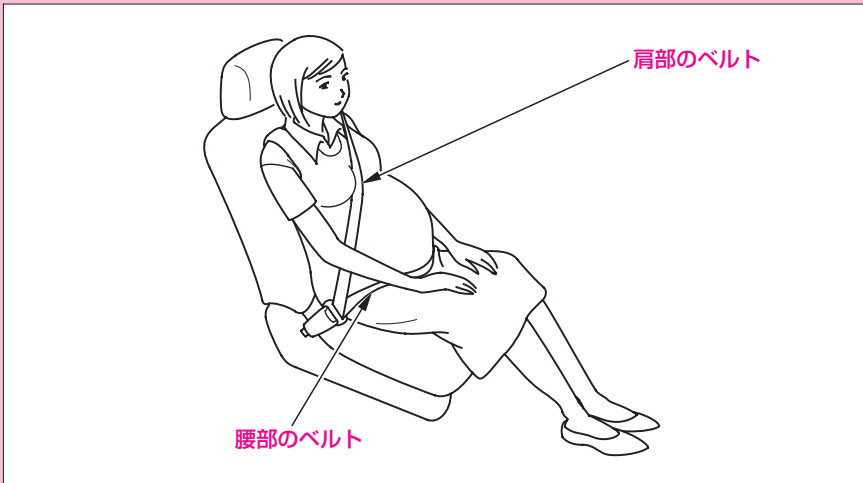
⚠ 警告

- シートベルトは全員が着用してください。
着用しないと、衝突したときなどに重大な傷害を受けたり死亡することがあります。
- シートに深く腰かけてください。また、背もたれは必要以上に倒さないでください。
寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- お子さまにもシートベルトを着用させるか、チャイルドシートをお使いください。
お子さまを抱いていても、衝突したときなどに支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けたり死亡するおそれがあります。



⚠ 注意

- シートベルトを正しく着用していないと本来の機能をはたさず、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。
 - ・ 腰部のベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にぴったり着用してください。ベルトが腰骨からずれていると腹部などに強い圧迫を受けます。
 - ・ ベルトはねじれがないように着用してください。
ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、局部的に強い力がかかります。
 - ・ ベルトがくび、あご、顔などに当たらないように着用してください。
 - ・ 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。
 - ・ 三点式シートベルトは腕の下に通して着用しないでください。
ベルトが肩に十分かかっていないと前方に投げ出されるおそれがあります。
 - ・ ベルトにはクリップや洗たくばさみなどでたるみをつけないでください。
- 妊娠中のかたや疾患のあるかたもシートベルトを着用してください。
ただし、万一のとき腹部、胸部、肩部などに圧迫を受けることがありますので、医師に確認してください。
 - ・ 妊娠中のかたは、三点式シートベルトを使用してください。
 - ・ 妊娠中のかたは、ベルトを着用するときは、腰部のベルトを腹部からさけて腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにして身体に密着させてください。
また、肩部のベルトは腹部からさけて胸部にかかるようにしてください。



●シートベルトの種類

シート	シートベルトの種類
フロントシート	ELR付三点式シートベルト
リヤシート	ELR・ALR付三点式シートベルト

ELR付三点式シートベルト：

体の動きにあわせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。

ELR・ALR付三点式シートベルト：

通常はELRシートベルトとして機能します。

ALRはチャイルドシートを固定する機構です。

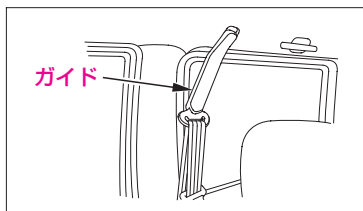
チャイルドシート固定機構付きシートベルト →78ページ



●三点式シートベルト

知 識

- 前席のシートベルトのショルダアンカー部のガイドを引っばったりして、強い力をかけないでください。
ガイドが変形することがあります。



シートベルトリマインダー (非着用警報装置)

エンジンスイッチを“II”にすると、運転席シートベルトを着用するまでシートベルトリマインダーが作動し、メーター内のシートベルト非着用警告灯が点灯し続けます。

また、エンジンスイッチを“II”にしたときや走行したときは、運転席シートベルトを着用するまで、数秒間ブザーが鳴ります。(ブザーが鳴っている間は、警告灯が点滅します。)

知 識

- 運転席シートベルトを着用していない場合でも、停車すると、ブザーは止まります。また、走行しているときでも、一定回数を超えるとブザーは止まります。

チャイルドシート固定機構付きシートベルト(後席)

→78ページ

知 識

- 後席シートベルトを着用した状態で上体を大きく動かしたときに、シートベルトがすべて引き出されてチャイルドシート固定機構が作動することがあります。
このときは、チャイルドシート固定機構を解除してから再度シートベルトを着用してください。

解除のしかた →79ページ

シートベルトプリテンショナー (前席のみ)

→142ページ

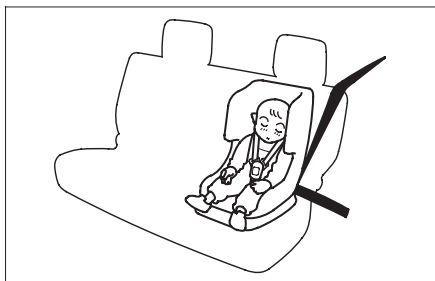
●お子さまを乗せるときは

お子さまは、後席に乗せシートベルトを着用させてください。

ただし、装備されているシートベルトは大人用ですので、ベルトがくびりやあごに当たる場合や腰骨にかからない場合は、幼児用シートや学童用シートを使用してください。シートベルトをそのまま使うと、衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。

また、ひとりですわることのできない小さなお子さまは乳児用シートを使用してください。

お子さまを後席に乗せることができなく、やむをえず助手席に乗せるときは、一番大きなお子さまを乗せてください。



⚠警告

- 助手席には乳児用シートを取り付けないでください。また、幼児用シートを後ろ向きに取り付けしないでください。SRSエアバッグが膨らむ際、乳児用シートや、幼児用シートの背面に強い衝撃を受け、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。

また、やむをえず幼児用シートを前向きに取り付ける場合は、SRSエアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。





知 識

- 乳児用シート、幼児用シート、学童用シートは、お子さまの体重や身長によりお使いになれるタイプや取り付け方法が異なります。
- ISOFIX対応以外のチャイルドシートは、チャイルドシートの形状によっては、正しく取り付けできないものがあります。この車に合ったチャイルドシートを使用してください。
- 車両限定型ISOFIXチャイルドシートは、ロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジ(アンカープレートアタッチメント)を用いて固定します。車両側の取り付けナットにこの車用のアンカープレートアタッチメント(トップテザーアンカレッジ)を取り付け、トップテザーストラップを結合することにより、チャイルドシートを確実に固定することができます。
チャイルドシートを前向きに取り付けるときは、ロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジを用いて固定します。
後ろ向きに取り付けるときは、トップテザーアンカレッジは使用しません。
- 車両限定型ISOFIXチャイルドシートは、シートベルトで固定する必要はありません。
- アンカープレートアタッチメントは、Honda販売店で取り付けてください。
車両限定型ISOFIX取付装置 →80ページ
- Honda純正品のチャイルドシートをご用意しています。ご購入、ご使用に際してはHonda販売店にご相談ください。

《選択の目安》

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

ISOFIXタイプを除く

	体重(kg)	参考身長(cm)	参考年齢
乳児用(ベビー)シート	～10	～75	～12か月
幼児用(チャイルド)シート	9～18	70～100	9か月～4才
学童用(ジュニア)シート	15～32	100～135	4才～10才

車両限定型ISOFIXチャイルドシート

	体重(kg)	参考身長(cm)	参考年齢
乳児用(ベビー)シート	～9	～70	～9か月
幼児用(チャイルド)シート	9～18	70～100	9か月～4才

●シートベルトの取り扱い、手入れ

- 次のような場合はベルト一式を交換してください。

- ・ベルトを着用した状態で事故にあったとき。
- ・シートベルトプリテンショナーが作動したとき。

シートベルトプリテンショナー

→142ページ

- ・ベルトにほつれ、すりきれ、破れなどができたとき。
- シートベルトを十分に機能させるために、バックルおよび自動巻き取り装置の内部に異物を入れないようにしてください。
- ベルトが汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に布をひたして拭き取り乾かしてください。薬剤を使ったり漂白や染色は絶対しないでください。ベルトを弱めます。

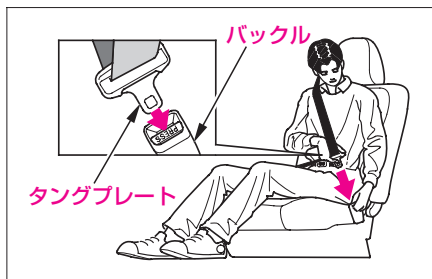
着用のしかた

●三点式シートベルト

- ①正しい運転姿勢でシートに座ります。
(→56ページ)
- ②タングプレートをつかみ、ゆっくり引き出します。



- ③ベルトにねじれがないようにし、タングプレートをバックルの中へ“カチリ”と音がするまで差し込みます。



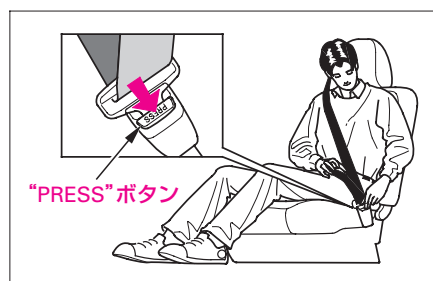
- ④ベルトがねじれたり、引っかかったりしていないかを確認します。



- ⑤ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかかると引き、たるみがないように身体に密着させます。



- ⑥外すときはバックルの“PRESS”ボタンを押します。
ベルトが自動的に収納されますので、ひっかかったり、ねじれたりしていないかを確認します。



チャイルドシート固定装置

チャイルドシート固定機構 付きシートベルト(後席)

後席のシートベルトには、チャイルドシート固定機構がついています。シートベルトを引き出し方向に動かないようにできるため、チャイルドシートを固定することができます。

取り付けかたは、チャイルドシートの形状、取り付け方法によって異なります。チャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り付けてください。

⚠ 警告

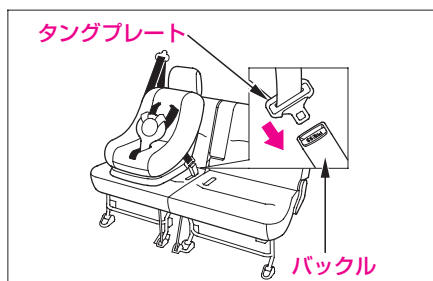
- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
固定機構が作動するとベルトがゆるまなくなり、窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。万一ベルトをゆるめることができなかった場合は、はさみなどでベルトを切断してください。

🎓 知識

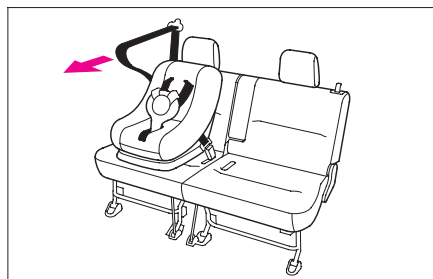
- 車両限定型ISOFIXチャイルドシートを取り付けるとき
車両限定型ISOFIX
取付装置 →80ページ

●チャイルドシートを取り付けるとき

- ①チャイルドシートをリヤシートに置きます。
- ②ベルトにねじれがないことを確認し、タングプレートをバックルの中へ“カチリ”と音がするまで差し込みます。



- ③ベルトをゆっくりと引き出します。すべて引き出すと、チャイルドシート固定機構が作動します。



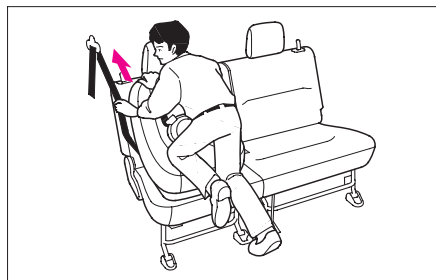


- ④ベルトを少し巻き取らせませす。その後、ベルトをゆっくりと引き、ベルトが引き出し方向に動かないことを確認します。ベルトが引き出し方向に動く場合は、再度ベルトをすべて引き出しててください。

⚠ 注意

- 必ずベルトが引き出し方向に動かないことを確認してください。ベルトが引き出し方向に動く状態では、チャイルドシート固定機構が作動していないので、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

- ⑤チャイルドシートに体重をかけてリヤシートに押しつけながら、ベルトを巻き取らせ、しっかりと固定します。

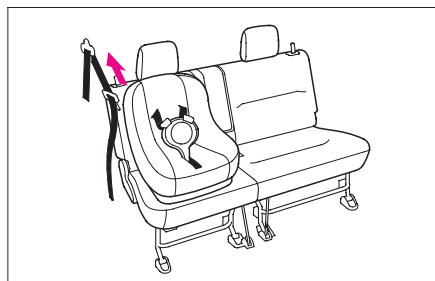


⚠ 注意

- チャイルドシートを前後左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないとブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

●解除のしかた

- ①チャイルドシートからベルトを外します。
- ②ベルトをいっぱいまで巻き取らせると、チャイルドシート固定機構は解除されます。



車両限定型ISOFIX取付装置

後席には、車両限定型**ISOFIX**チャイルドシートを固定するためのロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジ(アンカープレートアタッチメント)を取り付けるナットが装備されています。

この車用に認可を取得した車両限定型**ISOFIX**チャイルドシートのみ固定し、使用することができます。

チャイルドシートを前向きに取り付けるときは、ロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジを用いて固定します。

後ろ向きに取り付けるときは、トップテザーアンカレッジは使用しません。

チャイルドシートはシートベルトで固定する必要はありません。

アンカープレートアタッチメント(トップテザーストラップ取り付け金具)は、**Honda**販売店で取り付けてください。

Honda純正品のチャイルドシートをご用意しています。

ご購入、ご使用に際しては**Honda**販売店にご相談ください。

知識

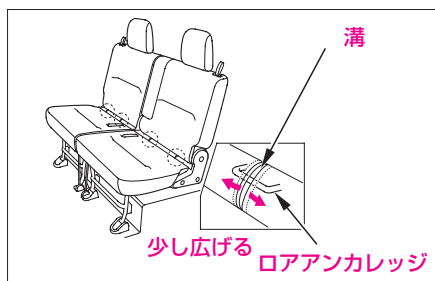
- チャイルドシート固定機構付きシートベルトを使って取り付けるとき

チャイルドシート固定機構付き
シートベルト →78ページ

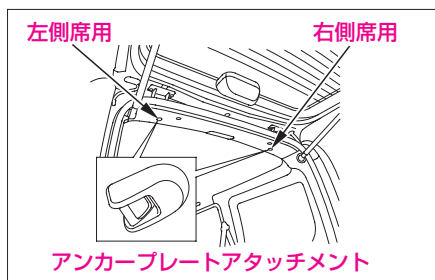


●チャイルドシートを取り付けるとき

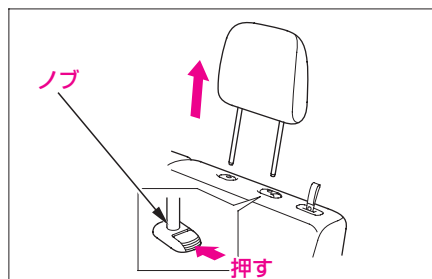
- ①シートクッション後方の溝の中にあるロアアンカレッジの位置を確認します。



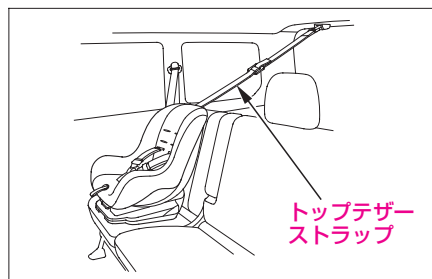
- ②アンカープレートアタッチメントの位置を確認します。



- ③ノブを押してヘッドレストを外します。



- ④チャイルドシートとトップテザーストラップをチャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り付けます。



⚠ 注意

- シートが確実に固定されているのを確認してからチャイルドシートを取り付けてください。

確実に固定されていないとブレーキや衝突のときなどにシートといっしょにチャイルドシートが動き傷害を受けるおそれがあります。

- 車両限定型ISOFIXチャイルドシートを取り付けるときは、ロアアンカレッジ周辺に異物がないこと、シートベルトなどのかみ込みがないことを確認してください。

異物やシートベルトなどのかみ込むとチャイルドシートが確実に固定されず、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

- チャイルドシートを前後左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。

確実に固定されていないとブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

● 取り外すとき

チャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り外します。



車を運転するときに

●メーター84

●表示灯88

●警告灯94

警告灯の電球切れの点検101

●スイッチの使いかた

エンジンスイッチ102

ライトスイッチ104

フォグライトスイッチ106

方向指示器(ウィンカー)

スイッチ106

非常点滅表示灯(ハザード)

スイッチ107

ワイパー/ウォッシャー

スイッチ108

リヤデフロスタースイッチ110

ホーンスイッチ111

●運転のしかた

エンジンのかけかた112

パーキングブレーキ114

チェンジレバーの操作116

セレクトレバーの操作118・122

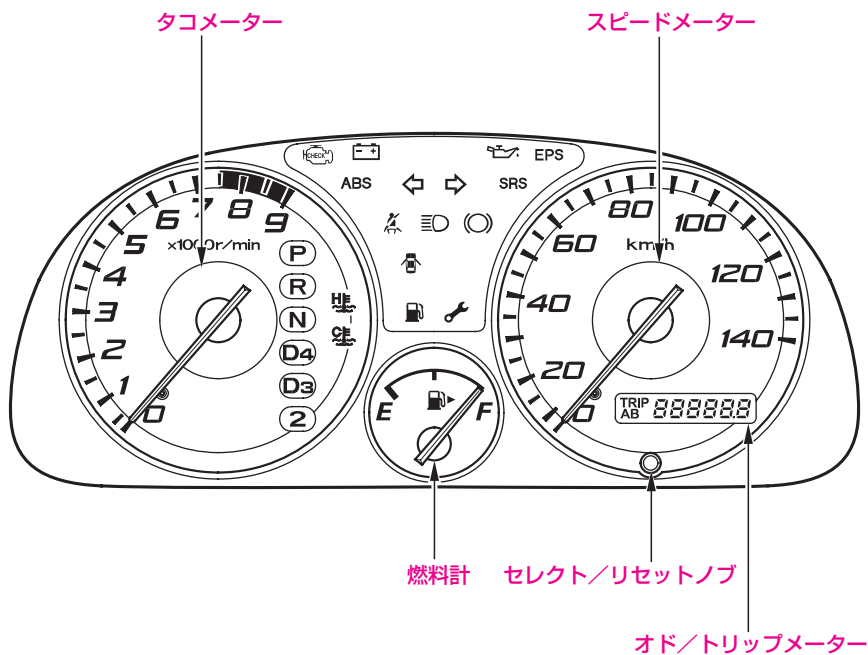
オートマチック車の運転の

しかた125

2

メーター

イラストは代表例を掲載しています。





スピードメーター

走行速度をkm/hで示します。

タコメーター

1 分間あたりのエンジン回転数を示します。

アドバイス

- エンジン故障の原因となりますので、下表の限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。特に高速走行時、変速(シフトダウン)するときには注意してください。

タイプ	限界回転数 (rpm)
マニュアル車	7,200
3速オートマチック車	7,500
4速オートマチック ターボ非装備車	7,300
4速オートマチック ターボ装備車	7,000

● オートマチック車

停車中の空ぶかしは、エンジン回転数が規定値以上になると燃料供給が停止されます。

タイプ	燃料供給停止 回転数(rpm)
3速オートマチック車	4,000
4速オートマチック車	5,000

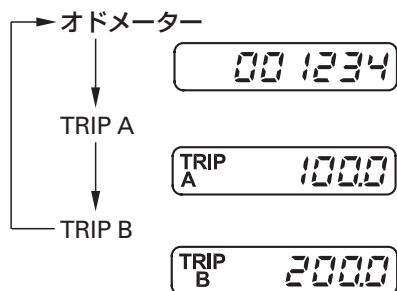
オド／トリップメーター

エンジンスイッチを“II”にするとオドメーターまたはトリップメーターが表示されます。



表示の切り換え

セレクト／リセットノブを押すごとに表示が切り換わります。



オドメーター

走行距離の累計をkmで示します。

トリップメーター

リセットしてからの走行距離をkmで示します。“TRIP A”と“TRIP B”でそれぞれ別の走行距離を知ることができます。

・リセットのしかた

- ①セレクト／リセットノブを押して“TRIP A”または“TRIP B”を選びます。
- ②セレクト／リセットノブをメーター表示が“0”になるまで押して、リセットします。

知 識

- 走行距離が999.9kmを超えると0 kmに戻ります。

**燃料計**

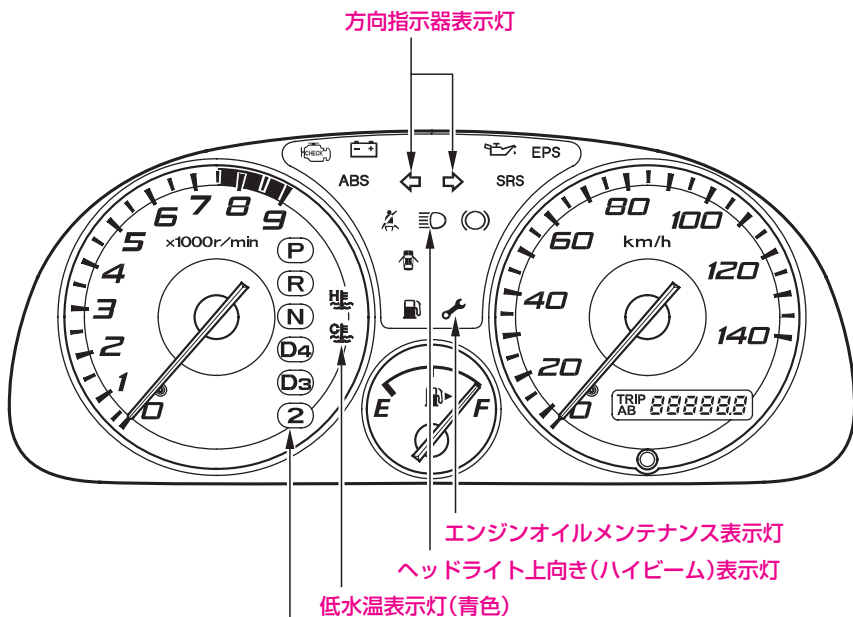
エンジンスイッチが“II”のとき、燃料の残量を示します。

“E”に近づいたら早めに補給してください。

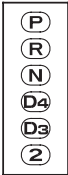
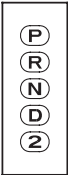
燃料の補給 →46ページ

表示灯

イラストは代表例を掲載しています。

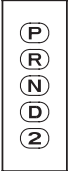


セレクトポジション表示灯
(3速オートマチック車) (4速オートマチック車)





表示灯はタイプ等により、装備の有無があります。下表の装備一覧をご覧ください。

表示灯	タイプ			
	M	L	M TURBO	L TURBO
 方向指示器表示灯	○	○	○	○
 ヘッドライト上向き (ハイビーム)表示灯	○	○	○	○
 (3速オートマチック車) セレクト ポジション 表示灯※	○ (2WD車)	○ (2WD車)	—	—
	○ (4WD車)	○ (4WD車)	○	○
 低水温表示灯(青色)	○	○	○	○
 エンジンオイルメンテナンス 表示灯	—	—	○	○

○：標準装備

※：オートマチック車



方向指示器表示灯

方向指示器のランプの点滅状態を表示します。

知 識

- 電球が切れたときや、ワット(W)数の違った物を使ったときは、表示灯の点滅周期が異常になります。

電球(バルブ)の交換

→242、244ページ

電球(バルブ)のワット数

→290ページ

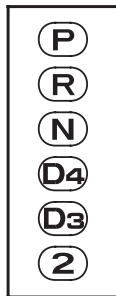
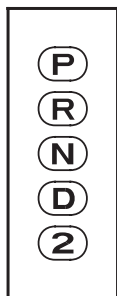


ヘッドライト上向き(ハイビーム)表示灯

ヘッドライトが上向きのときに点灯します。



(3速オートマチック車) (4速オートマチック車)



セレクトポジション表示灯

オートマチック車

使用中のセレクトレバー位置が表示されます。



低水温表示灯(青色)

エンジン冷却水の温度が低いときに点灯します。



アドバイス

- 暖機を十分にした状態で、表示灯が点灯したままのときは、温度センサーなどの異常が考えられます。

Honda販売店で点検を受けてください。



エンジンオイルメンテナンス表示灯

ターボ装備車

リセットしてからの走行距離に応じて、エンジンオイルの交換時期を表示灯の点滅(または点灯)でお知らせします。



リセットしてからの走行距離が4,500km未滿のとき

エンジンスイッチを“II”にしたときに数秒間点灯して消えるのが正常です。

リセットしてからの走行距離が4,500kmから5,000km未滿のとき

エンジンスイッチを“II”にしたときに数秒間点灯したのち、約10秒間点滅してから消灯します。

リセットしてからの走行距離が5,000km以上のとき

エンジンスイッチを“II”にすると点灯します。すみやかにエンジンオイルの交換を行ってください。

エンジンオイル交換後に、走行距離をリセットしてください。

知識

- エンジンオイル交換後、走行距離をリセットするまで、エンジンオイルメンテナンス表示灯が点灯しつづけます。また、次の交換時期の表示が正しく行われません。
- この表示灯は、走行距離のみを積算してエンジンオイルの交換時期をお知らせします。
前回エンジンオイル交換後、リセットしてからの走行距離が5,000km未滿であっても、6ヶ月が経過した場合にはエンジンオイルを交換してください。

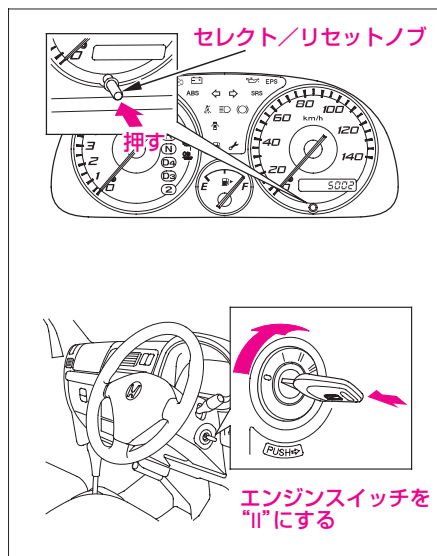
エンジンオイル、
オイルフィルターの交換時期

→32ページ

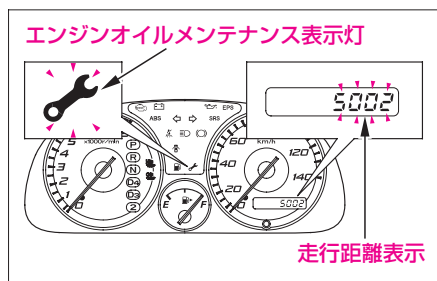


・リセットのしかた

- ①セレクト／リセットノブを押したまま、エンジンスイッチを“II”にします。

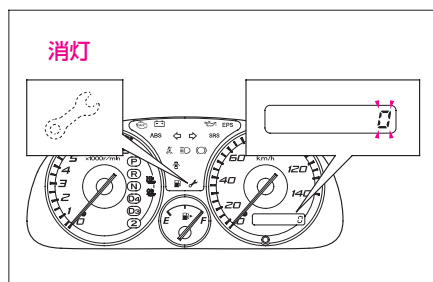


- ②そのままセレクト／リセットノブを押し続けると、通常表示(オドメーター、TRIP A、TRIP B)から、前回リセットからの走行距離表示に切り換わり点滅します。そのとき、エンジンオイルメンテナンス表示灯も同時に点滅します。



- ③走行距離表示とエンジンオイルメンテナンス表示灯が点滅を始めたら、いったんセレクト／リセットノブから手を離し、もう一度押しなおしてから走行距離表示が“0”になるまで押しつづけます。

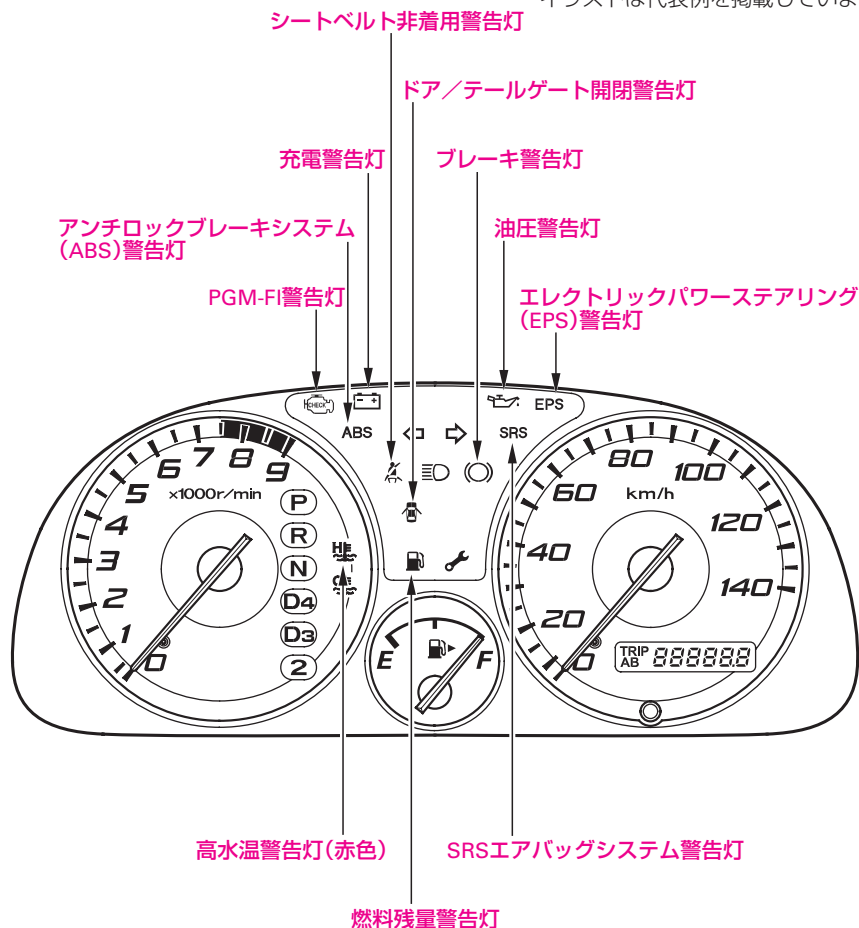
走行距離表示が“0”になると、エンジンオイルメンテナンス表示灯は消灯します。



- ④セレクト／リセットノブから手を離すと、通常表示に戻ります。

警告灯

イラストは代表例を掲載しています。





警告灯はタイプ等により、装備の有無があります。下表の装備一覧をご覧ください。

警告灯	タイプ			
	M	L	M TURBO	L TURBO
 油圧警告灯	○	○	○	○
 ブレーキ警告灯	○	○	○	○
 充電警告灯	○	○	○	○
 PGM-FI警告灯	○	○	○	○
 シートベルト非着用警告灯	○	○	○	○
 燃料残量警告灯	○	○	○	○
 ドア／テールゲート 開閉警告灯	○	○	○	○
 高水温警告灯(赤色)	○	○	○	○
 SRSエアバッグシステム 警告灯	○	○	○	○
 アンチロックブレーキ システム(ABS)警告灯	△	○	○	○
 エレクトリックパワー ステアリング(EPS)警告灯	○	○	○	○

○：標準装備

△：注文装備



油圧警告灯

エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。



点灯したときは

エンジン回転中に点灯した場合は、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、エンジンオイル量を点検してください。

エンジンオイルが減っていないのに点灯しているときや、エンジンオイルを補給しても点灯するときは、ただちにHonda販売店へご連絡ください。



アドバイス

- 点灯したまま走行しないでください。エンジンが破損するおそれがあります。



ブレーキ警告灯

パーキングブレーキが完全に解除されていないときやブレーキ液量がいちじるしく減少しているときに点灯します。
ABS装備車は、ABSが異常のときにもABS警告灯と同時に点灯します。



点灯したときは

走行中点灯したときやパーキングブレーキを解除しても消灯しないときは、

- ①ブレーキ液量を点検します。
- ②下限より下がっていたらただちにHonda販売店へご連絡ください。

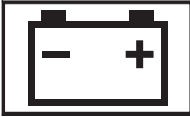
ブレーキ液量が下限以下になっていないのに点灯するときや、パーキングブレーキをかけても点灯しないときは、お早めにHonda販売店で点検を受けてください。

ABS警告灯と同時に点灯したときは

ABS装備車

ブレーキ液量が正常で、同時に点灯したときは、ABSの異常が考えられます。高速走行や急ブレーキを避けて、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

ABS警告灯 →145ページ



充電警告灯

充電系統が異常のときに点灯します。



点灯したときは

運転中に点灯した場合は、電気の消費を減らすため、エアコンスイッチ、リヤデフロスタースイッチを“OFF”にして、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。



PGM-FI警告灯

エンジン制御システムが異常のときに点灯します。



点灯したときは

運転中に点灯した場合は、高速走行を避けて、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。



シートベルト非着用警告灯

エンジンスイッチを“II”にすると、運転席シートベルトを着用するまでシートベルトリマインダー(非着用警報装置)が作動し、点灯し続けます。

また、エンジンスイッチを“II”にしたときや走行したときは、運転席シートベルトを着用するまで、数秒間ブザーが鳴ります。

(ブザーが鳴っている間は、警告灯が点滅します。)

知識

- 運転席シートベルトを着用していない場合でも、停車すると、ブザーは止まります。また、走行しているときでも、一定回数を超えるとブザーは止まります。



燃料残量警告灯

燃料タンク内のガソリン残量が下表になったときに点灯します。

燃料の補給 →46ページ

タイプ	警告灯点灯時の ガソリン残量
マニュアル車 3速オートマチック車 4速オートマチック・2WD車	7 ℓ 前後
4速オートマチック・4WD車	6 ℓ 前後



ドア／テールゲート開閉警告灯

ドア、テールゲートが完全に閉まっていないときに点灯します。



ドア、テールゲートを完全に閉めてください。



高水温警告灯(赤色)

エンジン冷却水の温度が上がると点滅し、さらに上がると点灯します。



点滅したときは

運転中に点滅した場合は、ゆっくり走行してください。

点灯したときは

運転中に点灯した場合は、オーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停めてエンジンを冷やしてください。



アドバイス

- 点灯したまま走行しないでください。エンジンが破損するおそれがあります。

オーバーヒートしたとき

→230ページ

知識

●ターボ装備車

高速走行や山道走行などの高負荷で走行したあとの再始動時に、高水温警告灯が点滅または点灯することがありますが、機能的に問題はありません。約1分間アイドリングをするか、走行すると消灯します。

SRS

SRSエアバッグシステム警告灯 (シートベルトプリテンショナー 警告灯兼用)

SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。

SRSエアバッグシステム →141ページ

シートベルトプリテンショナー

→143ページ

ABS

アンチロックブレーキシステム (ABS)警告灯

ABS装備車

ABSが異常のときに点灯します。

→145ページ

EPS

エレクトリックパワーステアリング (EPS)警告灯

EPSが異常のときに点灯します。



点灯したときは

運転中に点灯したとき(安全な場所に停車してからエンジンを再始動し、その後走行中に消灯していれば正常です。)は、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。



知 識

- 警告灯が点灯しているときは、パワー装置のはたらきを制限するので、ハンドル操作が重くなります。
- 停車中にエンジンの空ぶかしを行うと、警告灯が点灯しハンドル操作が重くなる場合があります。このときは、エンジンを再始動すると警告灯が消灯します。
- 停車中または極低速でハンドル操作をくり返したときなどシステムの温度が上昇すると、システム保護のためパワー装置のはたらきを制限するので、ハンドル操作が徐々に重くなります。
システムの温度が下がると復帰します。
システム保護がはたらくような使いかたを連続的にくり返すと、システム破損の原因となります。

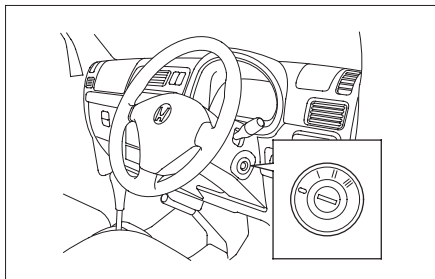
警告灯の電球切れの点検

エンジンスイッチを“II”にしたとき、下記の警告灯類が点灯するのが正常です。点灯しないときは、Honda販売店へご連絡ください。

- 油圧警告灯
(エンジン始動後消灯)
- ブレーキ警告灯
(パーキングブレーキが解除されているときは数秒後消灯)
(パーキングブレーキをかけているときは完全に解除すると消灯)
- 充電警告灯
(エンジン始動後消灯)
- PGM-FI警告灯
(数秒後消灯)
- 高水温警告灯(赤色)
(数秒後消灯)
- SRSエアバッグシステム警告灯
(約6秒後消灯)
- アンチロックブレーキシステム
(ABS)警告灯
(数秒後消灯)
- エレクトリックパワーステアリング
(EPS)警告灯
(エンジン始動後消灯)

スイッチの使いかた

エンジンスイッチ



0

キーを抜き差しする位置です。

I

エンジンをかけずにラジオなどのアクセサリを使用するときの位置です。

II

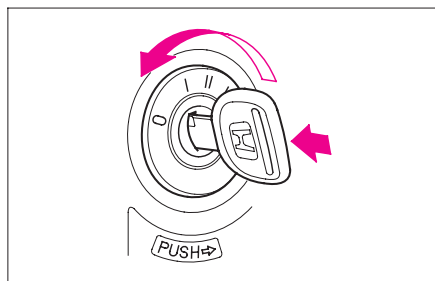
運転するときの位置です。

III

エンジン始動位置です。始動したら、キーから手を離してください。自動的に“II”に戻ります。

キーを抜くとき

- ・オートマチック車は、セレクトレバーを回に入れます。
- ・“I”でキーを押し込んで“0”まで回してキーを抜きます。



知 識

- キーを抜くとハンドルがロックされます。
- **オートマチック車**
セレクトレバーが回以外のときは、エンジンスイッチが“0”まで回らないので、キーを抜くことができません。

“0”から“I”にキーが回らないとき (ハンドルロックの解除)

ハンドルを左右に回しながらキーを回せば容易に回ります。



⚠ 警告

- 走行中はエンジンを止めないでください。
マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを“0”にするとキーが抜けることがあり、ハンドルがロックされ、思わぬ事故につながります。

🎓 知識

- エンジンを止めた状態で“1”または“II”のまま、長時間放置しないでください。
バッテリー容量が低下し、エンジンがかからなくなることがあります。
- 車から離れるときは、バッテリー保護のため必ず“0”にしてください。

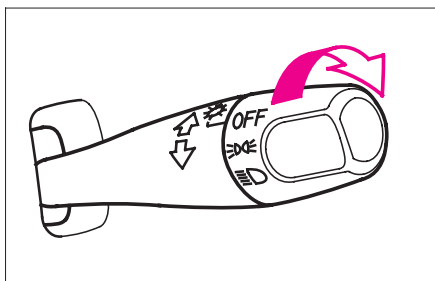
●キー抜き忘れ警告ブザー

エンジンスイッチが“1”または“0”でキーを差し込んだまま車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)、ブザーが鳴りキーの抜き忘れを知らせます。

ライトスイッチ

●ライトの点灯・消灯

エンジンスイッチの位置に関係なく次のように点灯、消灯します。



スイッチの位置	点灯	消灯
ヘッドライト	—	点灯
計器類照明灯 車幅灯・尾灯 番号灯	点灯	点灯

知 識

- エンジンが止まっている状態で、ライト類を点灯したままにしないでください。バッテリーあがりの原因となります。

●ライト消し忘れ警告ブザー

ライトを点灯したままエンジンスイッチからキーを抜いて、車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)、ブザーが鳴りライトの消し忘れを知らせます。

●ヘッドライトの上向き(ハイビーム)と下向き(ロービーム)の切り換え

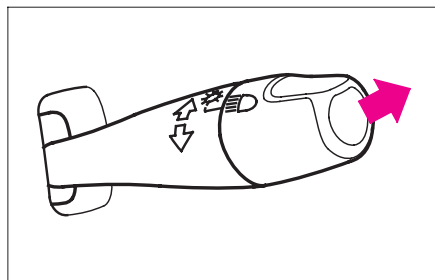
レバーを前方へ押すと上向きになります。戻すと下向きになります。

上向きのときは、メーター内の表示灯が点灯します。

ヘッドライト上向き(ハイビーム)

表示灯

→90ページ

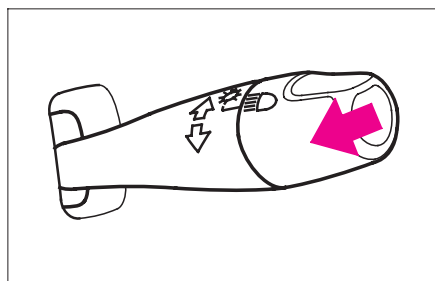


知 識

- 対向車のあるときや市街地走行など、上向きが不適切なときは下向きにします。

●追越合図(パッシング)

レバーを手前に引いている間、上向きが点灯します。





●ヘッドライトレベリングダイヤル

エンジンスイッチが“II”のとき、ヘッドライトの照らす方向(光軸)を下向きに調節することができます。

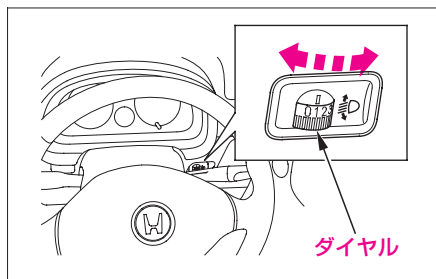
乗員や荷物が多いときなど、ヘッドライトが通常より上を向いているときは、ヘッドライトの光軸を下向きにしてください。



光軸の調節はダイヤルを回して行います。

左方向へ回すとヘッドライトの光軸は下向きに変わります。

ダイヤルの数字が大きいほど光軸は下向きになります。



乗員の人数や荷物の量に応じて、下記の表を目安にダイヤル位置を調節してください。

《ダイヤル位置の目安》

乗員やカーゴスペースの積載状況	ダイヤル位置
運転席のみ乗車時	0
運転席と助手席に乗車時	
4名乗車時	1
4名乗車でカーゴスペース満載時	2
運転席のみ乗車でカーゴスペース満載時	3

🎓 知識

- 車検などで光軸調整をするときは、ダイヤルを“0”の位置に戻してから行ってください。

フォグライトスイッチ

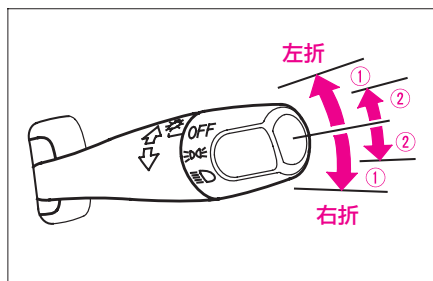
注文装備

ライトスイッチが“OFF”以外のときスイッチを押すとフォグライトが点灯します。同時にスイッチ内の表示灯が点灯します。もう一度押すと消灯します。



方向指示器(ウィンカー)スイッチ

エンジンスイッチが“II”のとき使えます。ふだんは①の位置で使います。この位置ではハンドルの切り角が小さいときには戻らない場合もあります。戻らないときは手で戻してください。車線変更などでは②の位置に軽く手で押さえながら使います。

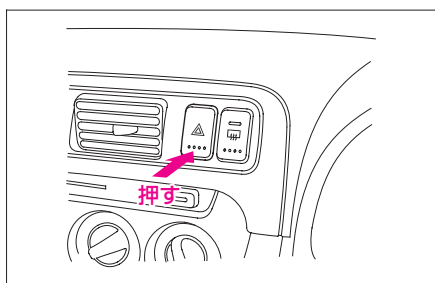




非常点滅表示灯(ハザード) スイッチ

スイッチを押すとすべての方向指示器のランプが点滅します。

故障でやむをえず路上駐車するときに使います。



知識

- 非常時にのみお使いください。
完全充電の新しいバッテリーでも約2時間以上使うとバッテリー容量が低下し、エンジンの始動ができなくなります。

ワイパー／ウォッシャー スイッチ

⚠ 注意

- 寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。
ウォッシャー液が凍りついて視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓 知識

- 乾拭きをしないでください。ガラス面に傷をつけたり、ブレード（ゴム部）を傷めたりします。
- ウォッシャー液が出ないときはウォッシャースイッチを切ってください。
ウォッシャー液がないまま動かすとポンプの故障の原因となります。
- 寒冷時、ブレード（ゴム部）がガラス面に張りつくことがありますのでデフロスターを使ってフロントガラスを暖めてください。
凍りついたまま動かすとブレード（ゴム部）を傷めたり、ワイパーモーターの故障の原因となります。

デフロスター →155ページ

🎓 知識

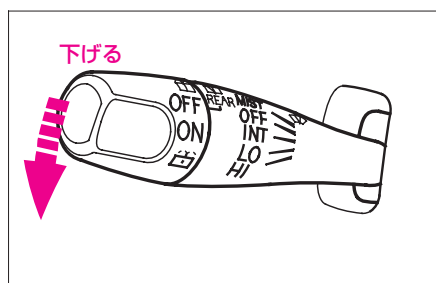
- ワイパーを作動中にガラスに雪などがたまりワイパーが停止したときは、安全な場所に停車してワイパースイッチを“OFF”、エンジンスイッチを“0”または“1”にしてワイパーが作動できるように雪などの障害物を取り除いてください。
- フロントワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。
モーターの負荷が大きい状態が続いたときなどには、ブレーカーが作動し、一時的にモーターが止まることがあります。
数分ほどすると、ブレーカーが復帰して通常通り使用できるようになります。



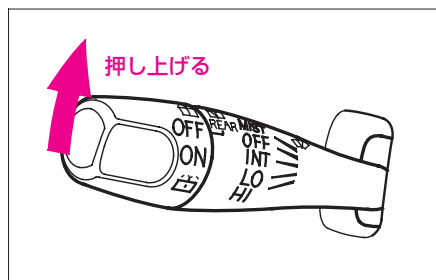
エンジンスイッチが“II”のとき使えます。

●フロントガラス

ワイパースイッチ



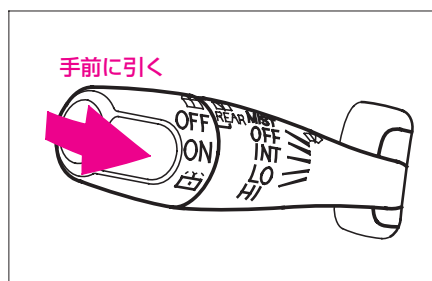
OFF …………… 停止
 INT(間欠) …………… 雨量の少ないとき
 LO(低速) …………… 普通雨量のとき
 HI(高速) …………… 雨量の多いとき



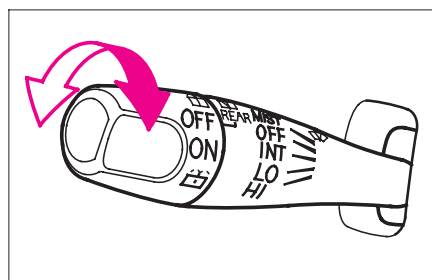
MIST ……………
 レバーを押し上げている間、低速で作動します。
 霧や小雨のときなどに使うと便利です。

ウォッシャースイッチ

レバーを手前に引くとウォッシャー液が噴射します。



●リヤガラス



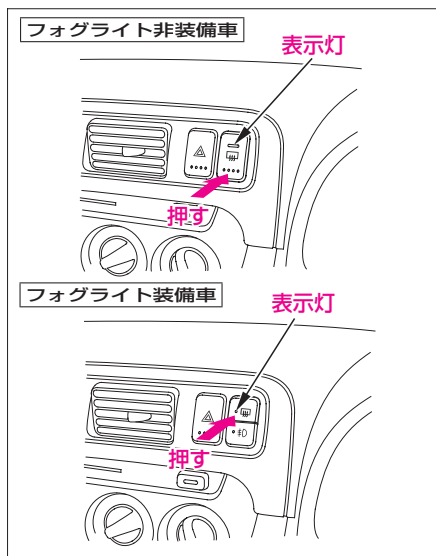
OFF …………… 停止
 ON …………… ワイパーが作動します。
 …………… スイッチを回している間、ウォッシャー液が噴射します。

リヤデフロスタースイッチ

リヤガラスを暖め、曇りを取ることができます。



エンジンスイッチが“II”のときスイッチを押すと“ON”になり、同時に作動表示灯が点灯します。もう一度スイッチを押すと“OFF”になり、作動表示灯は消灯します。



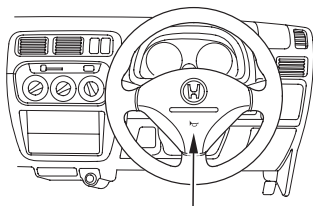
知識

- この装置は消費電力が大きいので曇りが取れたら“OFF”にしてください。また、エンジンの回転が低いとき長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。
- リヤガラスの内側に電熱線が装着されています。電熱線は傷つきやすいので清掃のときは電熱線に沿ってやわらかい布で拭いてください。また、手荷物などで傷つけないようにしてください。

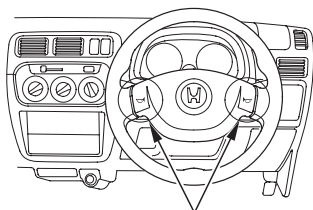


ホーンスイッチ

ハンドルのパッドを押すとホーンが鳴ります。



パッド



パッド

運転のしかた

エンジンのかけかた

⚠ 警告

- バッテリー液が不足しているときは、エンジンの始動をしないでください。
バッテリーが破裂するおそれがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところでは、エンジンをかけたままにしないでください。
車内や屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

⚠ 注意

- エンジンを始動するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。



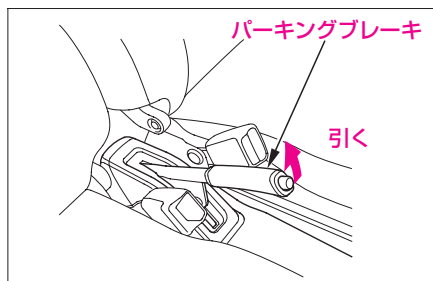
アドバイス

- 排気音が変わったり、車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えない場合は、排気系や燃料系の異常が考えられますので、必ずHonda販売店で点検を受けてください。

- ① パーキングブレーキがかかっていることを確認します。

パーキングブレーキの操作

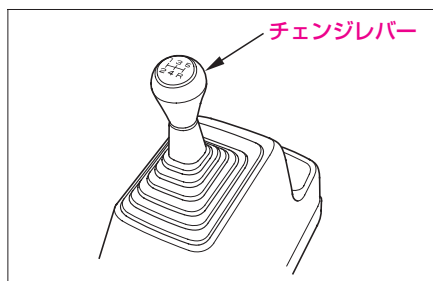
→114ページ



- ② **マニュアル車**

チェンジレバーをN(ニュートラル)にしてください。

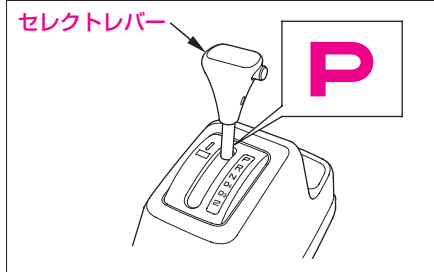
チェンジレバーの操作 →116ページ



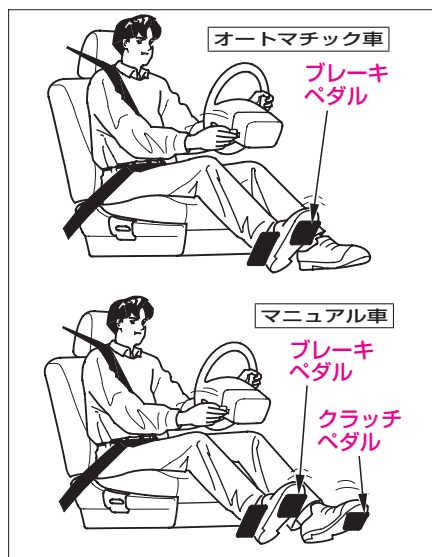
**オートマチック車**

セレクトレバーがPの位置にあることを確認してください。

セレクトレバーの操作 →118、122ページ



- ③ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
マニュアル車は、クラッチペダルもいっぱいに踏み込んで行います。
- ④アクセルペダルを踏まずに、エンジンスイッチをゆっくりと“III”まで回し、エンジンが始動したら手を離してください。自動的に“II”に戻ります。



・クラッチ・スタートシステム

マニュアル車

思わぬ事故を防ぐため、クラッチペダルをいっぱいに踏み込まないとスターターが回らないようになっています。

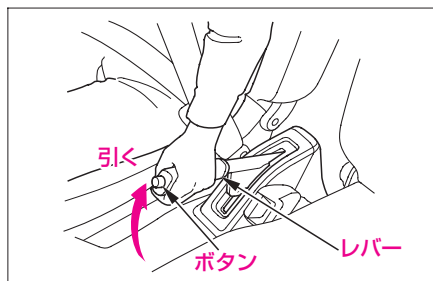
知識

- 消費電力の大きいライト類、エアコン、リヤデフロスターのスイッチは“OFF”にした方が始動は容易になります。
- バッテリーあがりを防ぐため、スターターは連続して15秒以上回さないでください。15秒回してもエンジンが始動しなかったときは、一度エンジンスイッチを“I”に戻して10秒以上待ってから再始動してください。
- 始動時にアクセルペダル操作が必要な場合は、始動後、右足でブレーキペダルを踏んでください。
- エンジンがあたたまっていると始動に時間がかかることがあります。アクセルペダルを半分程度踏み込んだまま、エンジンスイッチを回してください。エンジンが始動したらアクセルペダルを徐々に戻してください。
- エンジン始動後は、エンジン制御システムの働きによりエンジン回転が高くなりますが、自動的に適正回転に下がります。

パーキングブレーキ

かけるとき

ボタンを押さずにレバーをいっぱいに引きします。

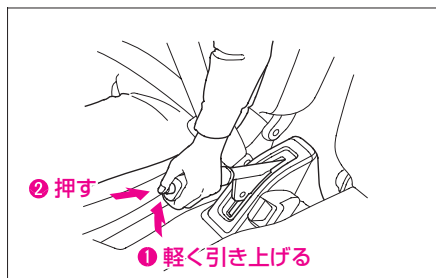


後輪ブレーキが効きます。

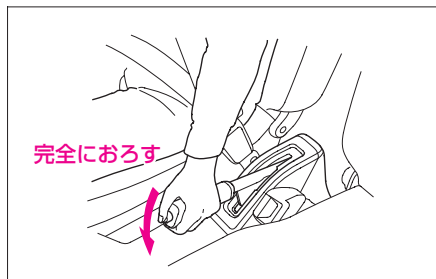


解除するとき

- ①レバーを軽く引き上げながら、ボタンを押します。



- ②ボタンを押したまま、レバーを下に完全におろします。



⚠ 注意

- パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

🎓 知識

- 駐車するときは、車が動き出さないように必ずパーキングブレーキをかけてください。

寒冷時のパーキングブレーキの

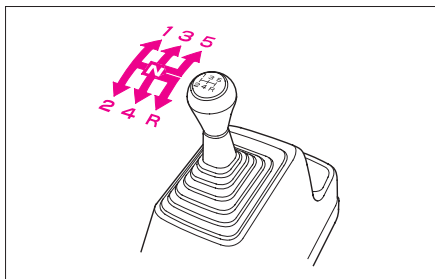
取り扱い

→274ページ

チェンジレバーの操作

マニュアル車

●チェンジレバー



変速するときは、クラッチペダルをいっばいに踏み込んで、チェンジレバーを確実に操作します。

Rに入れるとき

誤操作を防ぐために、5 からRへは直接入れられません。一度Nへ戻してからRに入れてください。



アドバイス

- 車が完全に止まらないうちはRに入れないでください。
トランスミッション破損の原因となります。

●速度範囲

エンジンを過回転させないために、下表の各チェンジレバー位置での速度範囲を参考に、シフトダウンしてください。

2WD車

チェンジレバーの位置	速度範囲
1	0～30km/h
2	15～45km/h
3	20～70km/h
4	30km/h～
5	40km/h～

4WD車

チェンジレバーの位置	速度範囲
1	0～25km/h
2	10～45km/h
3	20～65km/h
4	30km/h～
5	40km/h～



⚠ 注意

- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。シフトダウンする際の車速には十分注意してください。

アドバイス

- エンジン故障の原因となりますので、限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。特に高速走行時、変速(シフトダウン)するときには注意してください。

限界回転数 …………… 7,200 rpm

知識

- 法定速度を守って走行してください。
- 1,000km走行するまではエンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け控えめな運転をしてください。
- エンジンの回転をあやまって限界回転数以上(レッドゾーン)で運転した場合、エンジン保護装置により、燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じる場合がありますが、異常ではありません。

セレクトレバーの操作

3速オートマチック車

●それぞれの位置のはたらき

P

パーキング

駐車およびエンジンを始動する位置。
キーを抜く位置。



知 識

- セレクトレバーが回以外のときは、エンジンスイッチが“0”まで回らないので、キーを抜くことができません。

R

リバース

車を後退(バック)させる位置。
ブザーが鳴り、セレクトレバーが回に入っていることを運転者に知らせます。

N

ニュートラル

中立位置。
(エンジン始動できますが、安全のため回で行ってください。)

D

ドライブ

通常の走行をする位置。
(1速から3速まで自動的に変速されます。)

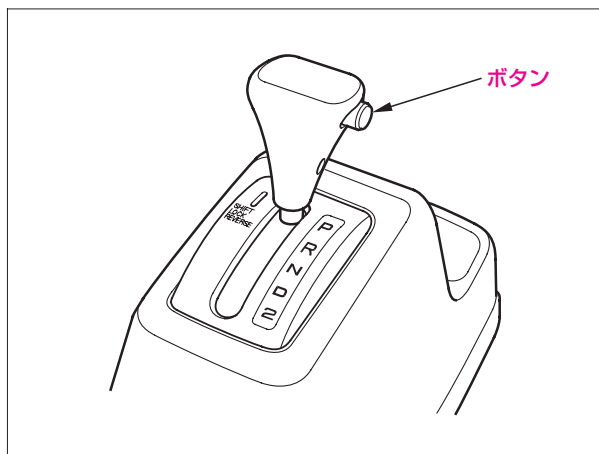
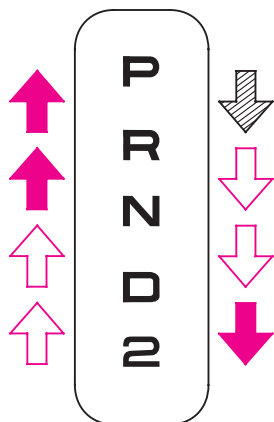
2

セカンド

エンジンブレーキが必要なときや、雪道などの滑りやすい路面での発進に使う位置。
(2速のままで変速されません。)



●セレクトレバーの動かしかた



ブレーキペダルを踏んだまま、ボタンを押してレバーを操作します。



ボタンを押さずにレバーを操作します。



ボタンを押してレバーを操作します。

知 識

- セレクトレバーの操作は誤操作防止のため各位置ごとに節度をつけ、確実に行ってください。
- のときは、ボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- エンジンスイッチが“1”または“0”のときは、ブレーキペダルを踏んでもから他の位置に切り換えられません。
- いつもボタンを押して操作すると意に反してに入れてしまうおそれがあります。

の操作は、ボタンを押さずに動かす習慣をつけてください。

●速度範囲

エンジンを過回転させないために、下表の各セレクトレバー位置での速度範囲内で切り換えを行ってください。

セレクトレバーの位置	速 度 範 囲	変 速 範 囲
①	0 km/h～	1 ↔ 2 ↔ 3 速
②	0 ～75km/h	2 速固定

⚠ 注意

- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。シフトダウンする際の車速には、十分注意してください。

🎓 知 識

- 法定速度を守って走行してください。
- 1,000km走行するまではエンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け控えめな運転をしてください。
- エンジンの回転をあやまって限界回転数以上(レッドゾーン)で運転した場合、エンジン保護装置により、燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じる場合がありますが、異常ではありません。

2.車を運転するときに

運転のしかた



セレクトレバーの操作

4速オートマチック車

●それぞれの位置のはたらき

P

パーキング

駐車およびエンジンを始動する位置。
キーを抜く位置。

知 識

- セレクトレバーが回以外のときは、エンジンスイッチが“0”まで回らないので、キーを抜くことができません。

R

リバース

車を後退(バック)させる位置。
ブザーが鳴り、セレクトレバーが回に入っていることを運転者に知らせます。

N

ニュートラル

中立位置。
(エンジン始動できますが、安全のため回で行ってください。)

D₄

ドライブ

通常の走行をする位置。
(1速から4速まで自動的に変速されます。)

D₃

上り坂、下り坂に使う位置。
(1速から3速まで自動的に変速されます。)

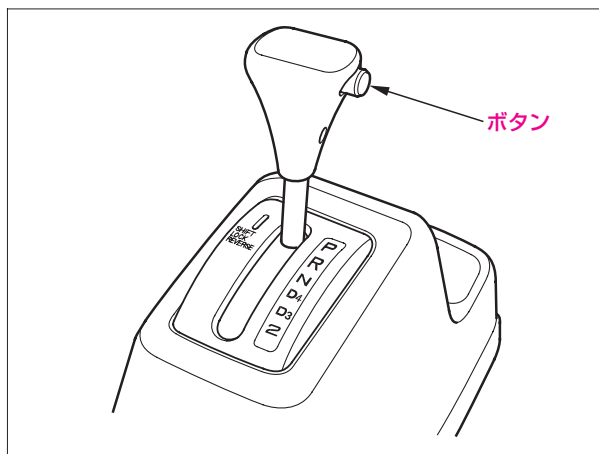
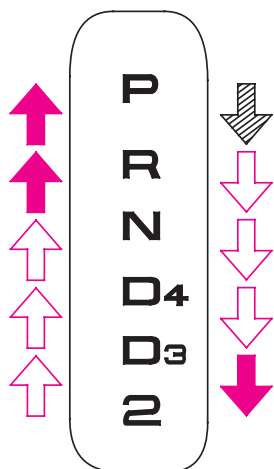
2

セカンド

エンジンブレーキが必要なときや、雪道などの滑りやすい路面での発進に使う位置。
(2速のままで変速されません。)



●セレクトレバーの動かしかた



ブレーキペダルを踏んだまま、ボタンを押してレバーを操作します。



ボタンを押さずにレバーを操作します。



ボタンを押してレバーを操作します。

知 識

- セレクトレバーの操作は誤操作防止のため各位置ごとに節度をつけ、確実に行ってください。
- のときは、ボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- エンジンスイッチが“1”または“0”のときは、ブレーキペダルを踏んでも $\square$ から他の位置に切り換えられません。
- いつもボタンを押して操作すると意に反して $\square\square\square$ に入れてしまうおそれがあります。

の操作は、ボタンを押さずに動かす習慣をつけてください。

●速度範囲

エンジンを過回転させないために、下表の各セレクトレバー位置での速度範囲内で切り換えを行ってください。

セレクトレバーの位置	速 度 範 囲	変 速 範 囲
D ₄	0 km/h～	1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4 速
D ₃	0 ～95km/h	1 ↔ 2 ↔ 3 速
2	0 ～60km/h	2 速固定

⚠ 注意

- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。シフトダウンする際の車速には、十分注意してください。

🎓 知 識

- 法定速度を守って走行してください。
- 1,000km走行するまではエンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け控えめな運転をしてください。
- エンジンの回転をあやまって限界回転数以上(レッドゾーン)で運転した場合、エンジン保護装置により、燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じる場合がありますが、異常ではありません。

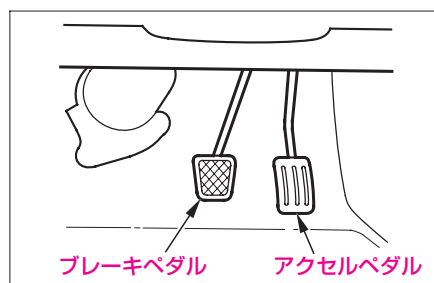


オートマチック車の 運転のしかた

オートマチック車は、クラッチ操作とギヤの切り換えを自動化したもので、その分、操作の負担が軽くなり、運転が楽になりますが、運転の基本を十分理解し、正しく操作する習慣をつけてください。

エンジンをかける前に

正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。



知識

- ペダルの踏みまちがいを防ぐため、ペダルの位置を実際に踏んでみて足におぼえさせておくことが重要です。
また、不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。
- 車を少し移動させるときにもペダルが確実に踏めるように、正しい運転姿勢をとりましょう。

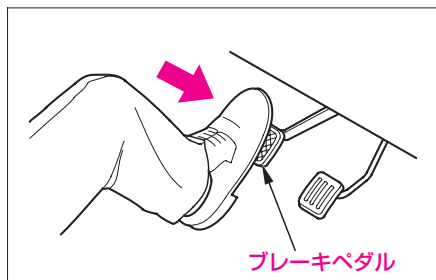
エンジン始動

- ① パーキングブレーキがかかっていることを確認。
- ② セレクトレバーが回に入っていることを確認。

知 識

- 回でも始動できますが、安全のため駆動輪が固定される回で行ってください。

- ③ ブレーキペダルを右足で踏んで始動。

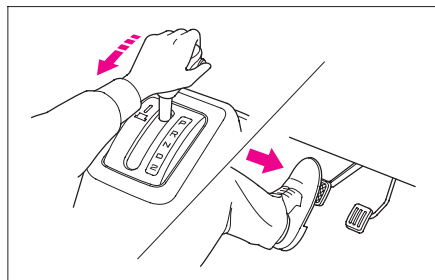


知 識

- 始動時にアクセルペダル操作が必要な場合は、始動後、右足でブレーキペダルを踏んでください。

発進

- ① 右足でブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを前進は回(3速オートマチック車は回)、後退は回に入れる。



⚠ 注意

- アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。急発進して思わぬ事故の原因になります。

- ② レバーの位置を目で再確認。
- ③ パーキングブレーキを解除する。
- ④ ブレーキ警告灯が消灯したことを確認。
(→96ページ)
- ⑤ ブレーキペダルを徐々に離して、アクセルペダルをゆっくりと踏む。



知 識

- セレクトレバーを R 以外に入れると、クリーブ現象により、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。ブレーキペダルを踏んでください。
- エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がり、クリーブ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかり踏んでください。
- セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- オートマチック車は、発進時の速度をアクセル操作のみで調節するので、アクセル操作は慎重に行ってください。

知 識

- 万一、ブレーキペダルを踏んでも R から他の位置に切り換えられないときは、エンジンスイッチからキーを抜き、シフトロック解除穴にキーを差し込み、押しながらレバーを操作してください。



急な坂道での発進

セレクトレバーの位置を目で確認し、

- ・パーキングブレーキをかけたままブレーキペダルから足を離し、
- ・アクセルペダルをゆっくり踏んで、
- ・車が動き出す感触を確認しながら、
- ・パーキングブレーキを解除して発進。

走行

走行中はセレクトレバーをDにしないでください。

知識

- Dにするとエンジンブレーキが全く効かなくなるため思わぬ事故の原因になります。
またDにしても燃費の差はほとんどありません。



注意

- フットブレーキを使いすぎると、ブレーキが過熱して効が悪くなるおそれがあります。長い下り坂や急な下り坂では、必ずエンジンブレーキを併用してください。

エンジンブレーキ →18ページ

アドバイス

- 高速走行中にDに入れないでください。急激なエンジンブレーキがかかり、エンジンが過回転になり故障することがあります。

**3速オートマチック車****通常走行**

セレクトレバーをⅡにして走行します。アクセルペダルの踏み加減と走行速度により、1速から3速まで自動的に変速されます。

急加速したいとき

アクセルペダルをいっぱい踏み込むと、キックダウンして急加速します。

上り坂走行

坂の勾配に応じ、セレクトレバーをⅡにしておくと、2速で固定され、より力強い走行ができます。

下り坂走行

下り坂をⅡのまま走行すると、エンジンブレーキの効きが弱く、速度が出すぎてしまうことがあります。このようなときには、セレクトレバーをⅢにします。

4速オートマチック車**通常走行**

セレクトレバーをⅣにして走行します。アクセルペダルの踏み加減と走行速度により、1速から4速まで自動的に変速されます。

急加速したいとき

アクセルペダルをいっぱい踏み込むと、キックダウンして急加速します。

上り坂走行

坂の勾配に応じ、セレクトレバーをⅣまたはⅢにしておくと、エンジン回転数の変化が少ない、なめらかな走行ができます。

下り坂走行

下り坂をⅣのまま走行すると、エンジンブレーキの効きが弱く、速度が出すぎてしまうことがあります。このようなときには、セレクトレバーをⅢにします。さらに強力なエンジンブレーキが必要なときには、Ⅱにします。

停車

①  (3速オートマチック車は)のままブレーキペダルをしっかりと踏んでおく。

必要に応じてパーキングブレーキをかける。



アドバイス

- アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂で以外に入れた状態で、アクセルをふかしながら車を停止させたりしないでください。

トランスミッションが過熱し、故障の原因となります。



知識

- 急な上り坂での停車はクリーブ現象で前へ進もうとする力よりも車が後退しようとする力の方が大きくなり、車が後退することがあります。ブレーキペダルを踏み、パーキングブレーキをかけてください。
- セレクトレバーが以外でエアコンスイッチが入っている場合などは、エンジン回転数が断続的に高くなりクリーブ現象が強まります。ブレーキペダルを特にしっかりと踏み込んでください。

② 停車時間が長くなるときはセレクトレバーをに入れる。

注意

- 停車中、空ぶかしをしないでください。
万一、セレクトレバーが以外
のとき、思わぬ急発進の原因になります。



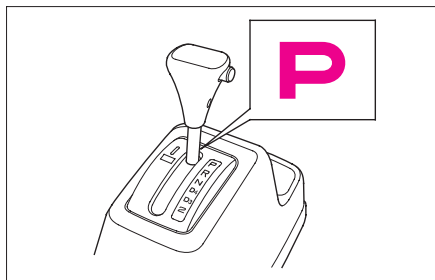
知識

- 停車後、再発進するときは、思い違いのないようセレクトレバーがまたはにあることを確認してください。
- セレクトレバーがでもエンジンが冷えているときは、トランスミッションオイルの粘性により車がわずかに動き出すことがありますので、ブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。



駐車

- ①車を完全に止める。
- ②ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかける。
- ③セレクトレバーをPに入れる。



知識

- 駐車の際は、セレクトレバーが必ずPに入っていることを確認してください。セレクトレバーがPのときは、駆動輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。

- ④エンジンを止める。

注意

- エンジンをかけたままにしておくと、万一、セレクトレバーがP以外に入っていたとき、クリープ現象で車がひとりでに動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み急発進するおそれがあります。

アドバイス

- 車が完全に止まらないうちにPに入れないでください。トランスミッション破損の原因となります。

知識

- 環境保護のため駐車時にはエンジンを止めましょう。

ほかに気をつけたいこと

注意

- セレクトレバーは正しい位置で使用してください。

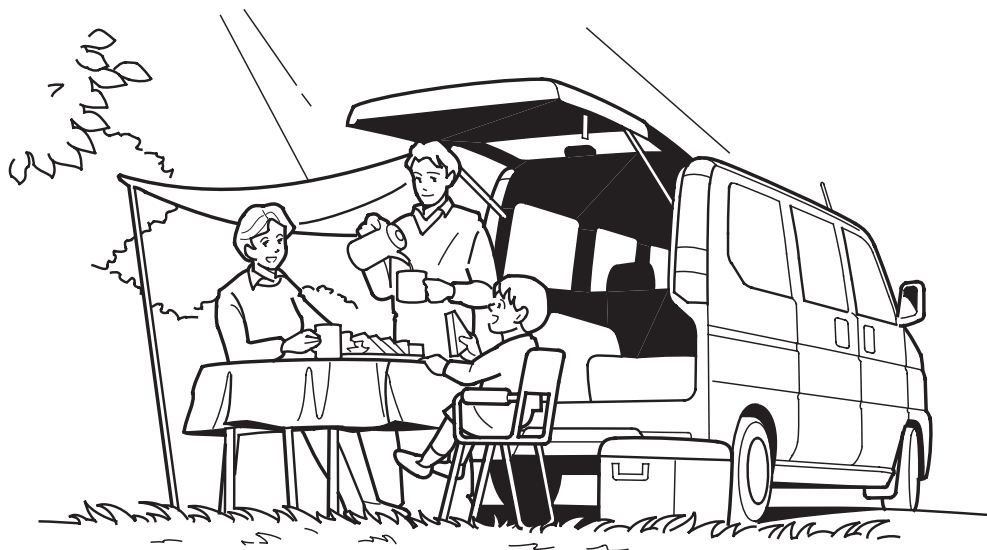
坂道などで、前進(Ⅱ、Ⅲ、ⅣまたはⅠ、Ⅱ)の位置にしたまま惰性で後退したり、後退(Ⅰ)の位置にしたまま前進したりすると、エンジンが停止してブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が重くなり、思わぬ事故の原因となるおそれがあります。

車を少し移動させるとき

このような場合でも、正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。

車を後退させるとき

この場合、体をうしろにひねった姿勢になり、ペダルの操作がしにくくなります。ブレーキペダルは確実に踏めるよう注意してください。



安全装備

3

●SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグシステムの

- しくみ 134
- 作動するとき 136
- 作動しないとき 137

SRSエアバッグシステムの

- 効果を十分に発揮させる
ために 138
- お子さまを乗せるときは 139
- 取り扱いについて 140

●シートベルト

プリテンショナー

シートベルトプリテンショナー

- のしくみ 142
- 取り扱いについて 143

●アンチロックブレーキシステム (ABS)

- ABSのしくみ 144
- 運転のしかた 144
- 取り扱いについて 145

●四輪駆動機構(4WD)

- 運転するときは 146
- 取り扱いについて 146

●その他の安全装備 147

SRSエアバッグシステム

(運転席／助手席用シートベルト補助乗員保護装置)

SRSエアバッグシステムのしくみ

●SRSエアバッグシステムとは

前方向からの衝突により、SRSエアバッグが膨らんで運転者および助手席同乗者の顔面への衝撃を緩和する装置です。

SRSエアバッグシステムはシートベルトに代わるものではありません。
必ず、シートベルトを着用してください。

⚠警告

- SRSエアバッグシステム装備車であっても、必ずシートベルトを着用してください。
シートベルトを正しく着用し、正しい乗車姿勢をとらないと衝突などのときSRSエアバッグの効果が十分に発揮されず、重大な傷害や死亡などの危険性が高くなります。

*SRS：サプリメンタルレストRAINTシステム(Supplemental Restraint System)の略でシートベルトの補助拘束装置の意味

●どのように作動するか

エンジンスイッチが“II”のとき、前方向からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃(正しくシートベルトを着用していてもハンドルに顔面があたり、けがをするような場合)を感知するとシステムが作動し、SRSエアバッグが膨らんで運転者および助手席同乗者の顔面への衝撃を緩和します。

⚠注意

- SRSエアバッグが膨らんだ直後は、SRSエアバッグ構成部品に触れないでください。
構成部品が熱くなっているため、やけどなど思わぬけがをすることがあります。



知 識

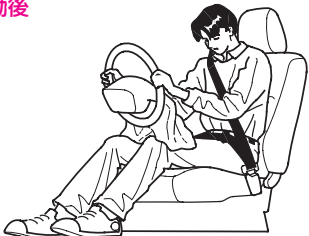
- 車体が衝撃を十分に吸収できた場合、システムは作動しません。
- SRSエアバッグは非常に速い速度で膨らむため、SRSエアバッグとの接触によりすり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。
- 膨らんだSRSエアバッグはすぐにしぼみます。視界を妨げません。
- SRSエアバッグが膨らむと白煙が出ますが、火災ではありません。また、人体への影響もありません。ただし、残留物(カスなど)が目や皮膚などに付着したときには、できるだけ早く水で洗い流してください。
皮膚の弱い人などは、まれに皮膚を刺激することがあります。
- SRSエアバッグは一度膨らむと再使用できません。
Honda販売店で交換してください。

運転席用SRSエアバッグシステム

作動時



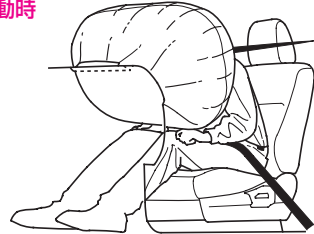
作動後



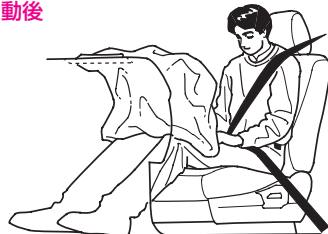
助手席用SRSエアバッグシステム

助手席用SRSエアバッグシステムは、同乗者がいなくても作動します。

作動時



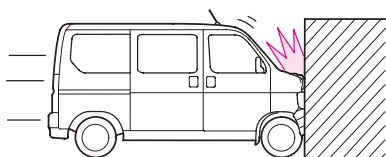
作動後



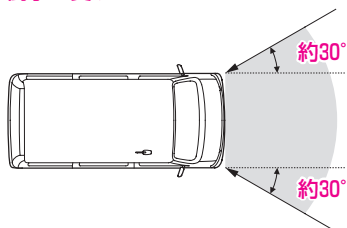
作動するとき

次のような場合に作動します。

20～30km/h以上の速度で、きわめて厚い固定されたコンクリートの壁に真正面から衝突したときと同等か、それ以上の衝撃を受けたとき



車両の前方左右約30度以内の方向から強い衝撃を受けたとき

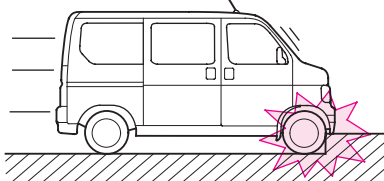


知 識

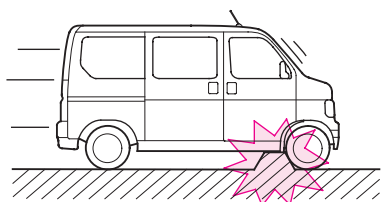
- 衝撃を吸収できる物(車やガードレールのように変形する物)に衝突した場合、SRSエアバッグが作動するときの速度(車速)は高くなります。

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受けたとき作動することがあります。車両に衝撃を受けないように十分に速度を落とし障害物をさけて走行してください。

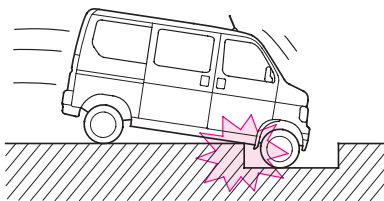
縁石などに衝突したとき



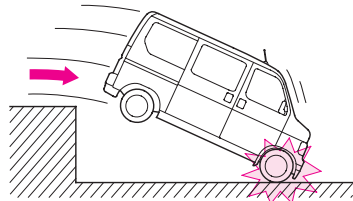
突起物などに衝突したとき



深い穴や溝などに落ちたとき



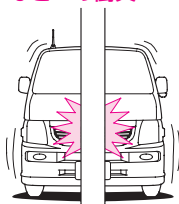
高いところから落ちたとき



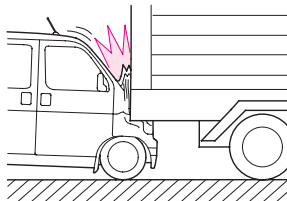


衝突の位置、衝撃の度合い、角度によって、作動しないことがあります。

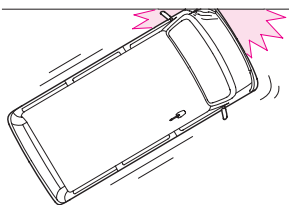
電柱、立木などへの衝突



トラックなどへの潜り込み



部分的な衝突や斜め方向からの衝突



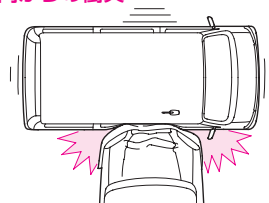
知 識

- 車体の部位によって衝撃の吸収度合いが異なりますので、損傷状態の大小とSRSエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

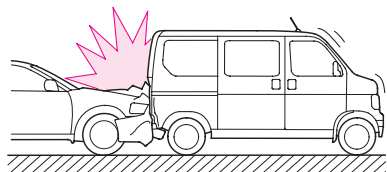
作動しないとき

シートベルトだけで乗員を保護できるような低い速度での衝突や次のような場合、乗員保護の効果がないので作動しません。

横方向からの衝突



後部からの衝突



横転または転覆



知 識

- 事故の状況、形態によっては、SRSエアバッグが作動することがあります。

SRSエアバッグシステムの効果を十分に発揮させるために

●正しい乗車姿勢で

運転席

正しい運転姿勢(シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる状態)がとれる範囲で、シートを後ろに下げます。



⚠ 警告

- ハンドルに顔や胸などを近づけていると、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。

助手席

シートを後ろに下げて深く腰かけ、背中を背もたれから離さないようにします。



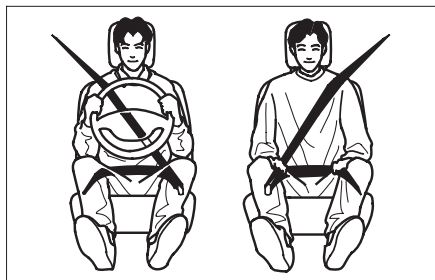
⚠ 警告

- インストルメントパネルに顔や胸などが近づかないようにシートを後ろに下げてください。また、インストルメントパネルに手や足などを置かないでください。
SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。



●シートベルトは必ず着用

このシステムは、シートベルトと併用することでその効果を発揮します。必ず、シートベルトを着用してください。



お子さまを乗せるときは

お子さまは、後席に乗せ必ずシートベルトを着用させてください。

正しく着用できない小さなお子さまは、体格に合わせてチャイルドシートをお使いください。

●チャイルドシートの取り付けについて

⚠ 警告

- 助手席には乳児用シートを取り付けないでください。また、幼児用シートを後ろ向きに取り付けないでください。SRSエアバッグが膨らむ際、乳児用シートや、幼児用シートの背面に強い衝撃を受け、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。

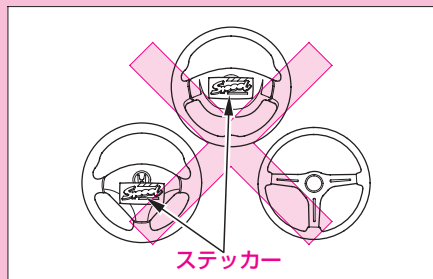
また、やむをえず幼児用シートを前向きに取り付ける場合は、SRSエアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。



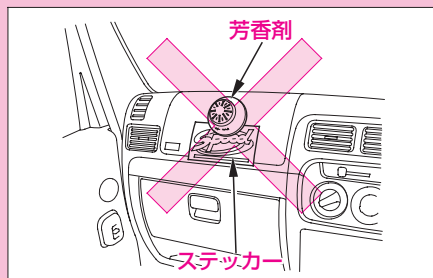
取り扱いについて

⚠ 注意

- SRSエアバッグの取り外し、分解などはしないでください。
不適切に扱うと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。
- ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりすると正常に機能しなくなります。



- インストルメントパネル上面にステッカー類を貼ったり、アクセサリーや芳香剤など物を置かないでください。
フロントガラスにアクセサリーなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。
また、SRSエアバッグと乗員との間にテレビなどの用品を取り付けたり、物を置いたりしないでください。
正常に機能しなくなったり、作動時にこれらの物が飛ぶことがあります。



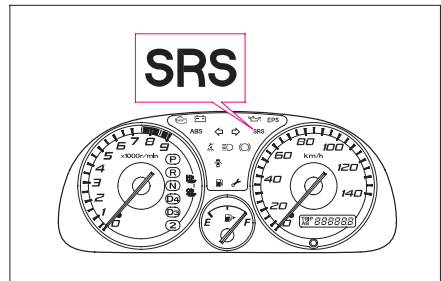


知 識

- ハンドルまわり、インストルメントパネルまわりやセンターコンソール付近の修理、オーディオ等用品の取り付けおよびダッシュボード周辺の板金塗装および修理をする場合は、**SRSエアバッグシステム**に影響を及ぼすおそれがありますので、必ず**Honda**販売店にご相談ください。
- **SRSエアバッグシステム**装備車を廃棄するときは必ず**Honda**販売店にご相談ください。正しく取り扱わないと**SRSエアバッグシステム**が思いがけなく作動することがあります。
- サスペンションの改造をしないでください。車高やサスペンションの硬さが変わると**SRSエアバッグ**の誤作動につながります。(Honda純正品を除く)

●SRSエアバッグシステム警告灯

メーター内に組み込まれており、**SRS**ユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかに**Honda**販売店で点検を受けてください。
 - ・ 運転中に点灯したとき。
 - ・ エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき。必要なときに**SRSエアバッグ**が膨らまないおそれがあります。

シートベルトプリテンショナー

シートベルトプリテンショナーのしくみ

●シートベルト プリテンショナーとは

前方向からの衝突により、前席シートベルトを瞬間的に引き込み、シートベルトの拘束効果をいっそう高める装置です。

●どのように作動するか

エンジンスイッチが“II”のとき、前方向からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃を感知するとシステムが作動し、前席シートベルトを瞬間的に引き込み、シートベルトの拘束効果をいっそう高めます。



⚠ 注意

- シートベルトを着用するときは、必ず次のことをお守りください。守らないとプリテンショナーが十分に効果を発揮しません。

- ・ シートベルトを正しく着用してください。

シートベルト →70ページ

- ・ 正しい運転(乗車)姿勢をとってください。

正しい運転姿勢 →56ページ

🎓 知識

- シートベルトプリテンショナーは一度作動すると、再使用できません。作動すると、シートベルトを引き出すことも巻き取ることもできなくなります。Honda販売店で交換してください。

なお、シートベルトを着用していなくても作動しますので、助手席側も同時に交換してください。



取り扱いについて

⚠ 注意

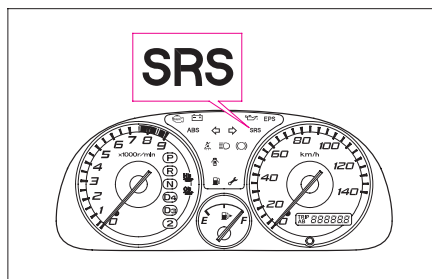
- シートベルト引き込み装置の取り外し、分解などはしないでください。
不適切に扱おうと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。

🎓 知識

- シートベルト引き込み装置やセンターコンソール付近の修理、オーディオ等用品の取り付けおよび修理をする場合は、プリテンショナーに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずHonda販売店にご相談ください。
- シートベルトプリテンショナー装備車を廃棄するときは、必ずHonda販売店にご相談ください。正しく取り扱わないとプリテンショナーとSRSエアバッグシステムが思いがけなく作動することがあります。

● シートベルトプリテンショナー 警告灯(SRSエアバッグシステム 警告灯兼用)

メーター内に組み込まれており、SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

🚗 アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
 - ・運転中に点灯したとき。
 - ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき。
 必要なときにシートベルトが引き込まれないおそれがあります。

アンチロックブレーキシステム (ABS)

タイプ別装備

ABSのしくみ

●ABSとは

急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとする装置です。

●作動について

- ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルが小刻みに動くことがあります。これはABSが作動しているときの現象で異常ではありません。そのまま、ブレーキペダルを強く踏み続けてください。



- 低速(車速約10km/h以下)ではABSは作動せず、普通のブレーキと同じ動作になります。

📖 知 識

- エンジン始動後、最初の発進時に、フロントコンパートメントからモーター音等が聞こえることがありますが、これはシステムの動作チェックをしている音で異常ではありません。

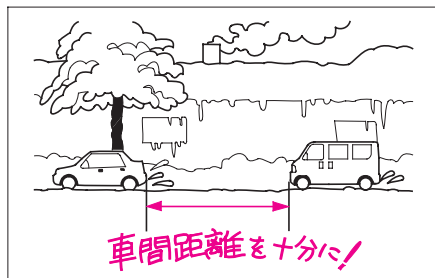
運転のしかた

- この装置は制動距離を短くするためのものではありません。ABSを装備していない車両と同様に、路面が滑りやすくなるほど長い制動距離が必要になります。

また、ABSが作動した状態でも車両の姿勢やハンドルの効きには限界がありますので、ハイドロプレーニング現象が起こりやすい雨天時の高速走行などにおいても過信せず、安全運転に心がけてください。

- 悪路、砂利道、深い新雪などの路面では、ABSの装備されていない車両に比べて制動距離が長くなる場合があります。

このような道路条件では速度は控えめにして車間距離を十分にとって運転してください。





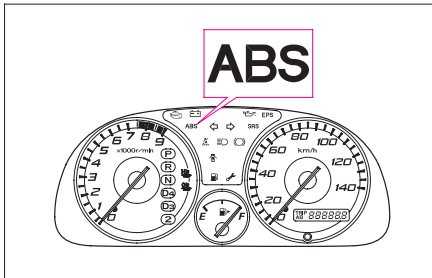
取り扱いについて

知 識

- タイヤは必ず四輪とも同一指定サイズのものをお使いください。サイズ(外径)の異なるタイヤを混用すると、ABSが正常に機能しなくなることがあります。

●アンチロックブレーキシステム (ABS)警告灯

メーター内に組み込まれており、ABSが異常のときに点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたとき点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。また、運転中に数秒間点灯してもすぐ消灯し、その後走行中に点灯しなければ正常です。

アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
 - ・運転中に点灯したとき。
 - ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないとき。
 なお、この場合でも通常のブレーキとしての性能は確保されています。(ABSとしての作動はしません)
- 警告灯がブレーキ警告灯と同時に点灯したときは、ブレーキ力の配分機能も作動しないため、急ブレーキ時に車両が不安定になる可能性があります。高速走行や急ブレーキを避けて、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

四輪駆動機構(4WD)

タイプ別装備

運転するときは

四輪駆動車(4WD車)は積雪地、砂地、ぬかるみ、急坂路など滑りやすい路面において二輪駆動車(2WD車)に比べて走破性にすぐれていますが、万能ではありません。アクセル、ハンドル、ブレーキの操作は一般の車と同じく慎重に行い、常に安全運転を心がけてください。

4WD車は、オフロードやラリー走行を目的とした車ではありません。必ず、次のことをお守りください。

- ・砂地、ぬかるみ等、後輪が空転しやすいところでの連続走行はしないでください。
- ・渡河などの水中走行はしないでください。
- ・ブレーキ性能は2WD車と比べてほとんど差がないので、滑りやすい路面での走行には十分車間距離をとってください。

取り扱いについて

アドバイス

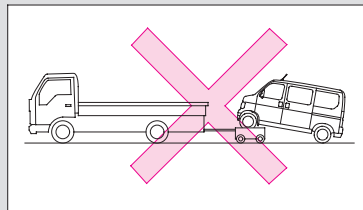
- 4WD車は、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。

サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用すると動力伝達装置に悪影響をあたえます。

- けん引される場合、前輪または後輪を台車に載せた(車輪が回転できない)状態でのけん引は、絶対に行わないでください。

駆動装置が破損したり、車輪が台車からとび出すおそれがあります。

けん引 →216ページ





その他の安全装備

ほかに、次のような安全装備を採用しています。

●シフトロック装置

セレクトレバーの誤操作防止を助けます。
(→25ページ)

●ハイマウントストップランプ

ストップランプを高い位置にも設置し、後方から見やすくしています。

●後席三点式シートベルト

上半身も拘束する三点式シートベルトを後席にも採用しています。
(→73ページ)

●シートベルトリマインダー (非着用警報装置)

シートベルトの未着用にランプとブザーで知らせ、ベルトの着用を促します。
(→73ページ)

●ブレーキアシスト

ABS装備車

緊急制動時に、より大きい制動力を発生させ運転者のブレーキ操作を補助する装置です。
ブレーキペダルを強く踏み込んだときに、ブレーキがより強く効くようになります。

●ドアビーム

側面から外力が加わったときに、ドアの変形を抑える効果があります。

●ロールオーバーバルブ

車が転倒したとき、燃料タンクからの燃料流出を防止します。

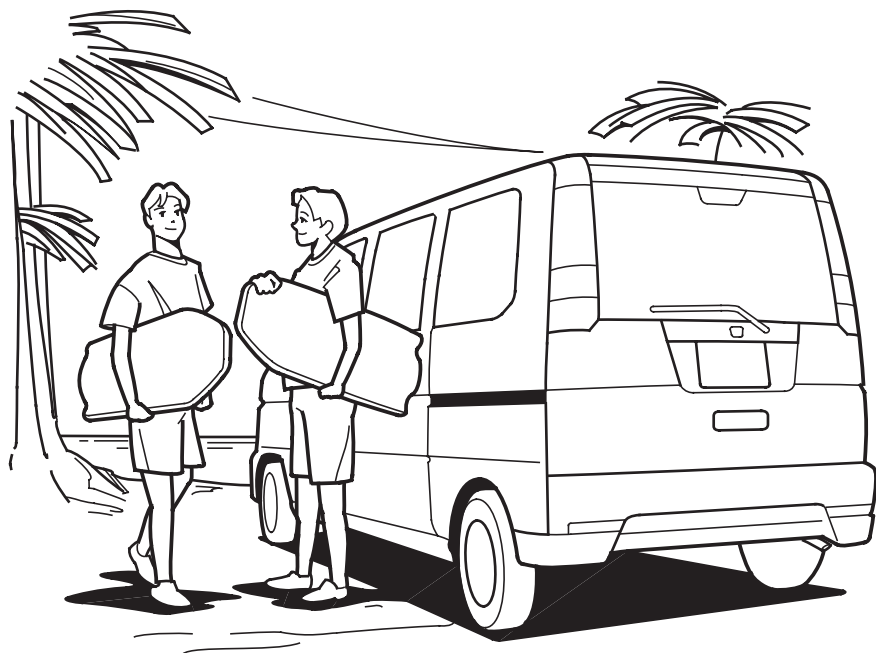
●難燃性材料使用の内装

フロアカーペットやシートなどには、燃え広がりにくい素材を採用しています。

●リヤワイパー

雨天時の後方視界の確保に効果があります。

(→109ページ)



ドライブを快適にする装備

●エアコン

吹き出し風の調節	151
エアコンインデックス	151
ヒーター・マニュアル式	
エアコン	152
リヤヒーター	157

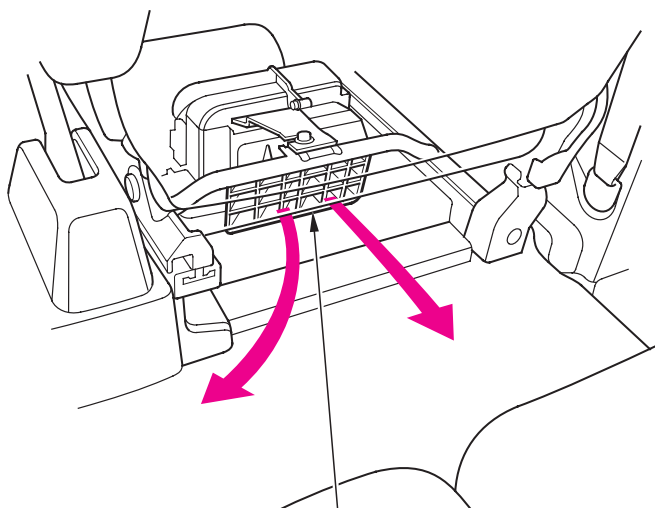
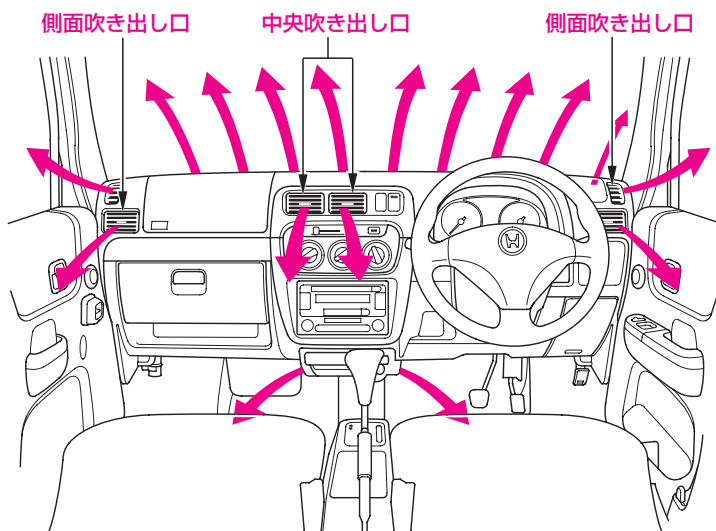
●オーディオ

上手な使いかた	158
アンテナ	160
オーディオインデックス	161
FM/AMラジオ一体式	
CD/MDステレオ	162
FM/AMラジオ一体式	
CDステレオ	184

●室内装備品

室内灯／	
テールゲート照明灯	202
マップランプ	203
灰皿	203
シガレットライター	204
サンバイザー	205
小物入れ	205
コンビニフック	206
シートバックポケット	207
カップホルダー	207

エアコン



リヤヒーター吹き出し口

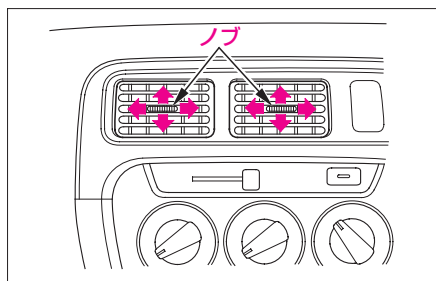
タイプ別装備



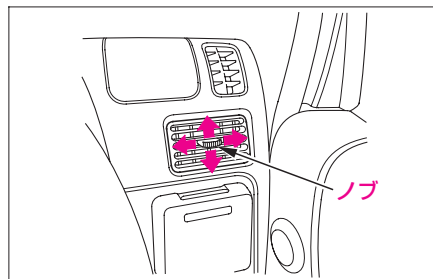
吹き出し風の調節

ノブを上下または左右に動かして、吹き出し風の向きを調節します。

・中央吹き出し口

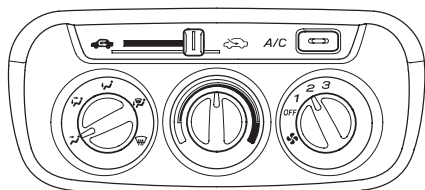


・側面吹き出し口



エアコンインデックス

ヒーター・マニュアル式エアコン



- ・暖房するとき 154
- ・急速に車内を暖めたいとき 154
- ・曇り止め暖房をしたいとき 154
- ・前面／側面ガラスの霜や曇りを
取りたいとき(デフロスター) 155
- ・急速に霜を取りたいとき 155
- ・梅雨時など湿度の高いとき 155
- ・冷房するとき 156
- ・急速に車内を冷やしたいとき 156
- ・エアコンを常用しないとき 157

リヤヒーター

タイプ別装備



- ・使うとき 157

ヒーター・マニュアル式エアコン

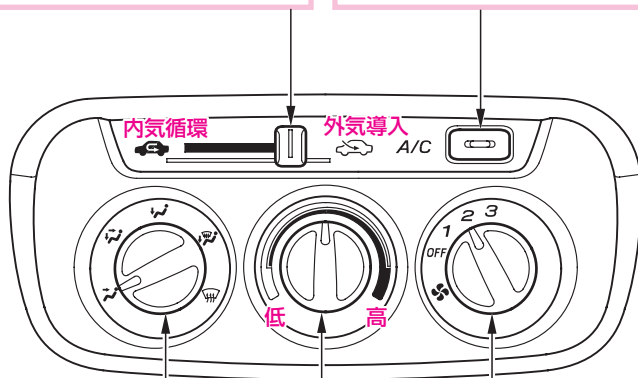
エンジンをかけた状態で使います。

内外気切り換えレバー

通常の暖房時はガラスの曇りを防ぐため外気導入で使い、トンネルや渋滞地域などで外気が汚れているときは一時的に内気循環にしてください。

エアコンスイッチ

ファンスピード切り換えダイヤルが“OFF”以外のとき、スイッチを押すとエアコンが作動します。(表示灯点灯)
冷房や除湿暖房をするときに使います。



吹き出し口切り換えダイヤル

ダイヤルを回すと吹き出し口が切り換わります。(右ページ参照)

ファンスピード切り換えダイヤル

ダイヤル位置	風量
OFF	停止
1	弱
2	中
3	強

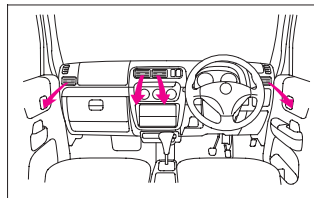
温度調節ダイヤル

ダイヤルを回して吹き出し風の温度を調節します。

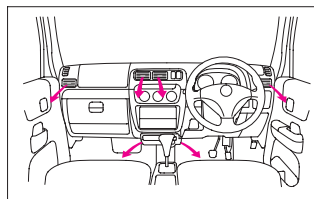


吹き出し口切り換えダイヤル

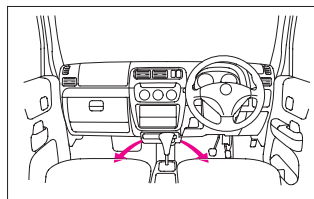
上半身に送風したいとき



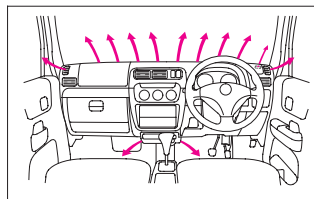
上半身、足元に送風したいとき



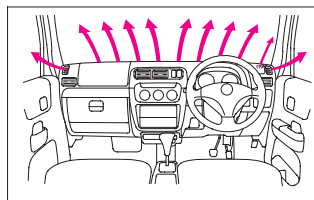
足元に送風したいとき



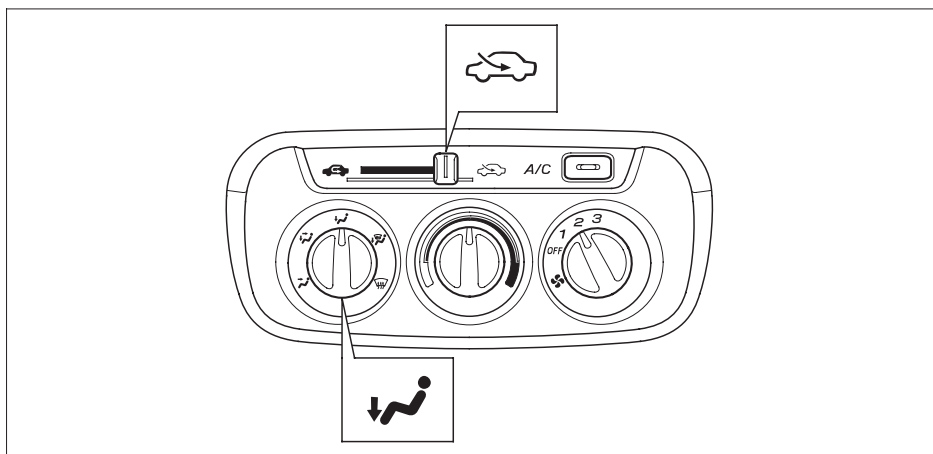
足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき



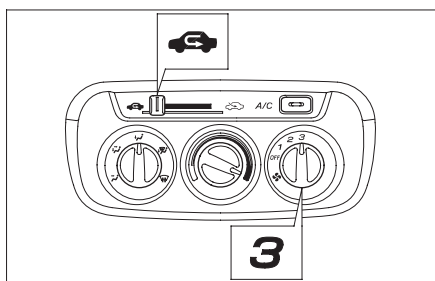
窓ガラスの曇りを取りたいとき



●暖房するとき



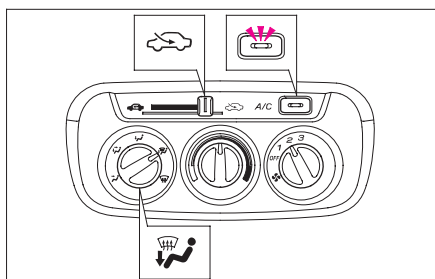
急速に車内を暖めたいとき



知 識

- 内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界の妨げになります。一度暖めた後は外気導入で使ってください。

曇り止め暖房をしたいとき

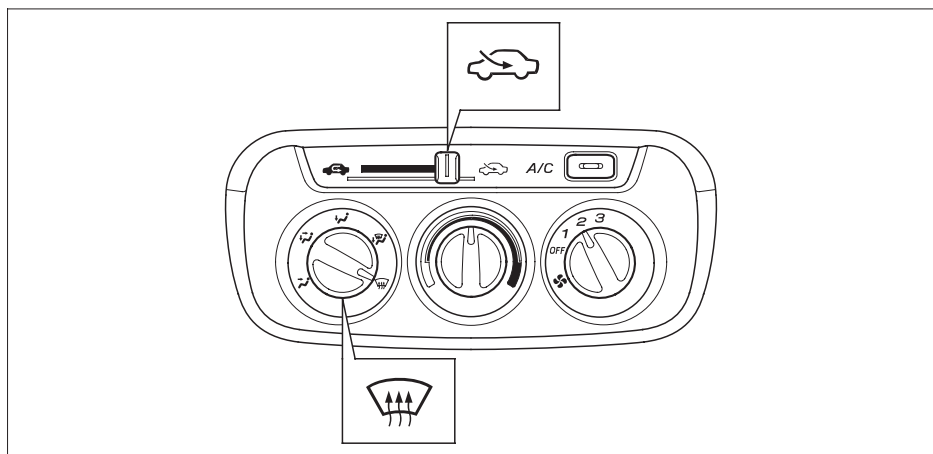


エアコンスイッチを入れると除湿暖房ができます。

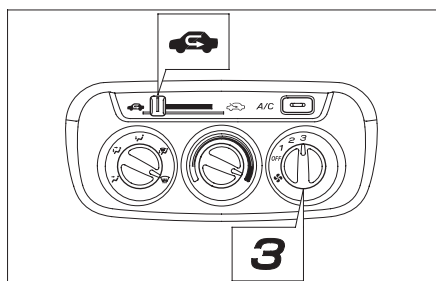
春、秋などの雨天でガラスが曇りやすいときに使います。外気が除湿され、乾燥した空気で暖めますので、曇り止めに役立ちます。



●前面／側面ガラスの霜や曇りを取りたいとき(デフロスター)



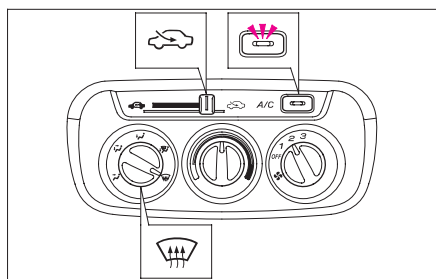
急速に霜を取りたいとき



知識

- 内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界の妨げになります。一度霜を取った後は外気導入で使ってください。

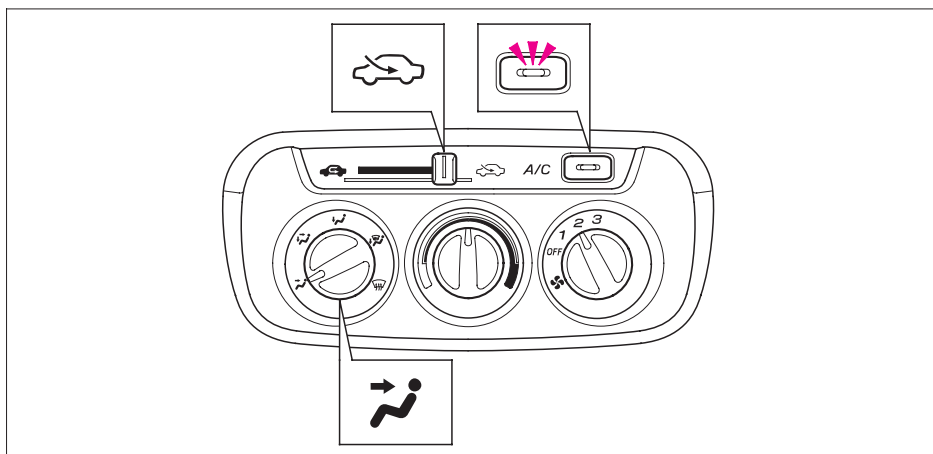
梅雨時など湿度の高いとき



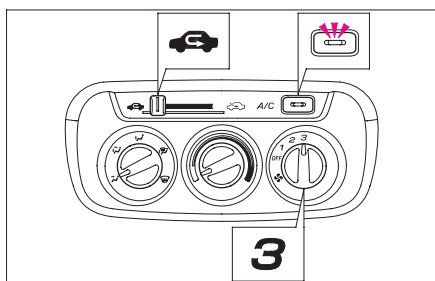
知識

- エアコンスイッチを入れているときは、温度調節ダイヤルを左端(最大冷房)付近にしないでください。冷風が前面ガラスにあたるとガラスの外側が曇り、視界の妨げになります。

●冷房するとき



急速に車内を冷やしたいとき



🎓 知識

- 急速冷房で車内が冷えたら外気導入にしてください。内気循環のまま長時間使うと車内の空気が汚れます。

🎓 知識

- 炎天下に駐車していたときは、熱気を追い出すため窓を開け、冷房を開始してください。
- 長時間、冷風を直接体に当てないでください。冷やしすぎは健康上良くありません。



●エアコンを常用しないとき

装置各部のオイルをさらさないために、ときどきエンジンを低回転させた状態で数分間冷房または除湿暖房をしてください。

知識

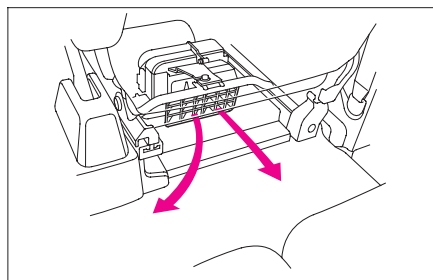
- 室内の温度が低い場合は、エアコンが作動しないことがあります。このような場合には、内気循環で室内を暖めてからエアコンスイッチを入ると作動します。

リヤヒーター

タイプ別装備

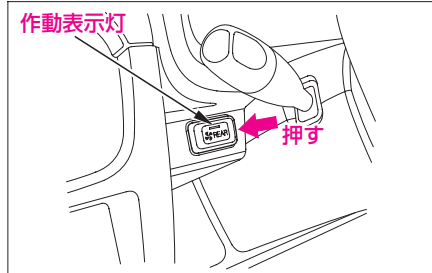
運転席下にある後席用足元吹き出し口から温風が吹き出し、リヤシート足元を暖めることができます。

・後席吹き出し口



エンジンをかけた状態で使います。スイッチを押すと作動し、同時に作動表示灯が点灯します。もう一度スイッチを押すと停止し、作動表示灯は消灯します。

作動表示灯



知識

- 温度と風量の調節はできません。

オーディオ

上手な使いかた

知 識

- 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態では安全運転の妨げとなります。また、運転中のオーディオ操作は、安全運転に支障がないようにしてください。
- 車内や車の近くで携帯電話や無線機を使うとオーディオに雑音が入ることがあります。

●ラジオについて

ラジオの受信については、車の走行にともない受信状態が刻々と変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

●CD/MDについて

ディスクの変形を避けるため、直射日光や高温多湿を避けてケースに入れ保管してください。

悪路走行などで激しく振動した場合、音とびすることがあります。

寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内部に露(水滴)が生じ、正しく作動しなくなることがあります。その場合、ディスクを取り出し、換気または除湿をしてからお使いください。

CD

ディスクの信号面は直接手で触れないでください。指紋等の汚れが付くと、音とびなどをすることがあります。下記マークのついていないディスクおよび円形以外のディスクは使えません。

・オーディオトラック



・MP3/WMAトラック(ファイル)



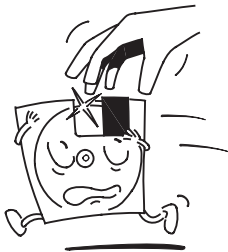
知 識

- ディスクは必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因となります。

**MD**

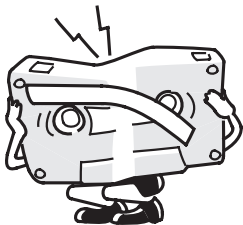
シャッターを無理にあげないでください。
こわれることがあります。

また、ディスクの信号面は直接手で触れないでください。指紋等の汚れが付くと、音とびなどをすることがあります。

**●カセットについて**

次のようなカセットテープは、故障の原因になりますので、ご使用はお避けください。

- ・ラベルがはがれかけていたり変形したカセットテープを使用すると、回転不良を起こしたりテープが取り出せなくなる場合があります。

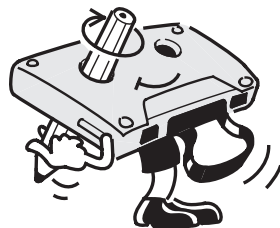


- ・120分以上のテープは非常に薄いため、伸びたり、プレーヤーに巻き付いたりする場合があります。

カセットテープは、変形したり録音が消えてしまわないようにほこり、直射日光や磁気のあるものの近くを避けてケースに入れ保管してください。



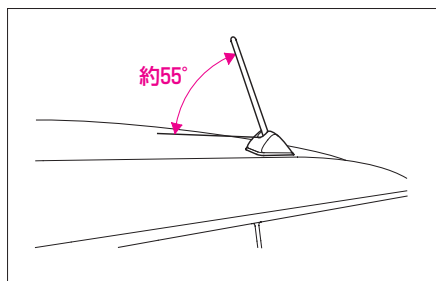
カセットテープは、プレーヤーにテープが巻き込まれたりしないように鉛筆などでたるみをとってから差し込んでください。



音が歪んだり高音が出にくくなった場合は、市販のクリーニングテープなどでプレーヤーの手入れをしてください。

アンテナ

アンテナは、後方約55° の位置にしてください。



自動洗車機を使った場合など、アンテナが倒れてしまった場合は、元の位置(後方約55°)に戻してください。

知識

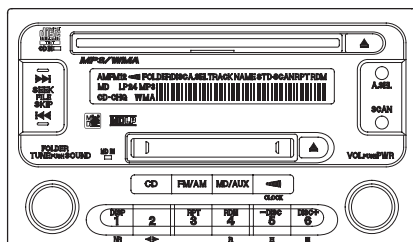
- アンテナの角度は、後方約55° にしてください。55° 以外の角度では正常に受信できないことがあります。
- アンテナを前方に倒したまま、自動洗車機にかけないでください。アンテナが破損するおそれがあります。



オーディオインデックス

FM/AMラジオ一体式CD/MDステレオ

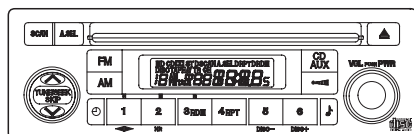
タイプ別装備



- 電源の入れかた 162
- 音量調節のしかた 162
- 音質、バランス調節のしかた 163
- オーディオモードの切り換え 163
- ラジオの使いかた 164
- CD/MP3/WMAプレーヤーの
 使いかた 168
- MDプレーヤーの使いかた 175
- CDチェンジャーコントローラーの
 使いかた※ 179
- エラーコードについて 182
- 時計 183

FM/AMラジオ一体式CDステレオ

タイプ別装備



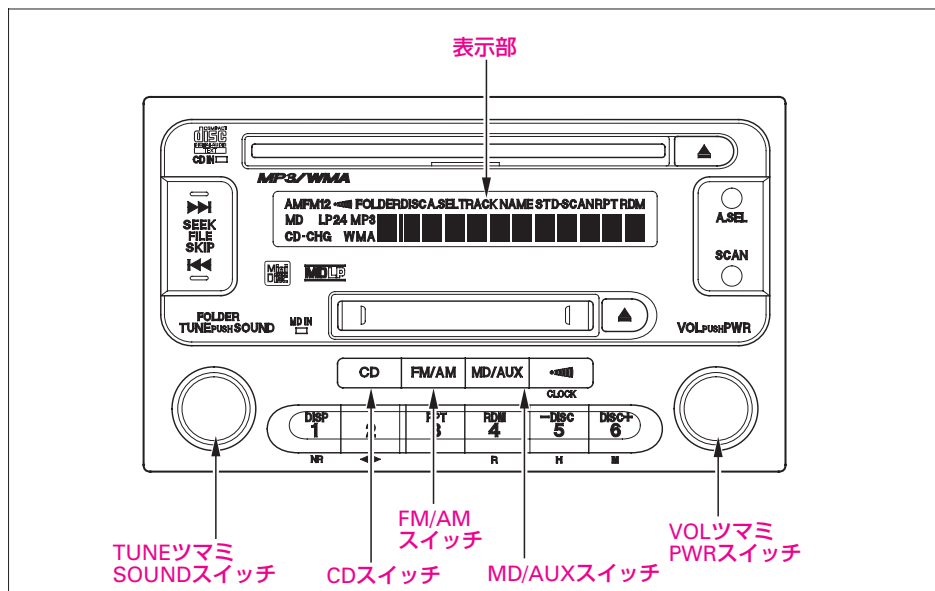
- 電源の入れかた 184
- 音量調節のしかた 184
- 音質、バランス調節のしかた 185
- オーディオモードの切り換え 185
- ラジオの使いかた 186
- CDプレーヤーの使いかた 190
- CDチェンジャーコントローラー等の
 使いかた※ 192
- エラーコードについて 200
- 時計 201

※：Honda純正のオーディオを接続し、操作することができます。詳しくはHonda販売店にご相談ください。

FM/AMラジオ一体式CD/MDステレオ

タイプ別装備

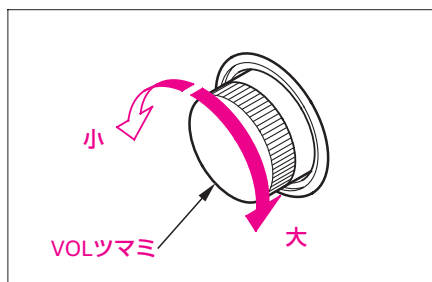
エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のときに使えます。



●電源の入れかた

PWRスイッチを押して、電源を入れます。押すたびに“ON”⇔“OFF”になります。また、FM/AMスイッチ、CDスイッチまたはMD/AUXスイッチを押して、電源を“ON”にすることもできます。

●音量調節のしかた

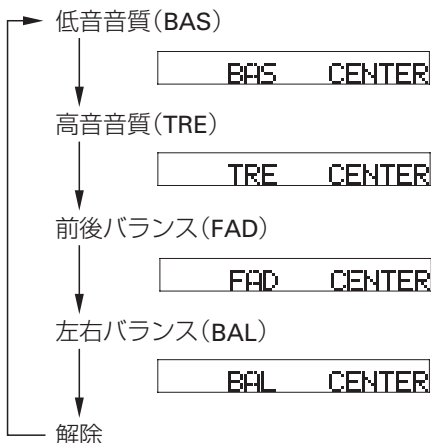
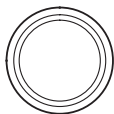




●音質、バランス調節のしかた

SOUNDスイッチを押して切り換え、TUNEツマミ(SOUNDスイッチ兼用)を回して調節します。

FOLDER
TUNE/PUSH SOUND



SOUNDスイッチを押すたびに切り換わります。

(リヤ用スピーカーは装備していません。)



知 識

- 調節後約5秒すぎると自動的に解除されます。
- 調節位置が中央のときに表示部に“CENTER”(センター)を表示します。

●オーディオモードの切り換え

・FM/AMスイッチ

FM/AM

ラジオに切り換わります。

・CDスイッチ

CD

ディスクが入っているときに押すと、CD/MP3/WMA演奏に切り換わります。また、オーディオトラックとMP3/WMAトラック(ファイル)の両方を記録したディスクを演奏しているときに押すとオーディオトラックとMP3/WMAトラックが切り換わります。

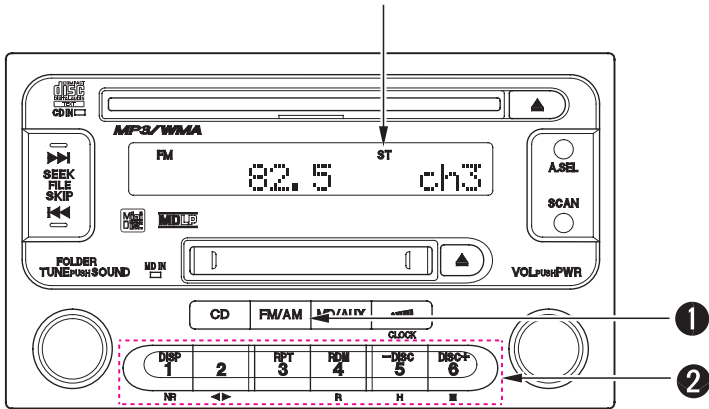
・MD/AUXスイッチ

MD/AUX

MD(ミニディスク)が入っているときに押すと、MD演奏に切り換わります。Honda純正のオーディオを接続しているときに押すと、それらの演奏に切り換わります。

ラジオ放送のききかた

FMステレオ放送が感度よく受信できたときは、“ST”が点灯します。



①ラジオに切り換え、バンドを選ぶ(FM/AMスイッチ)

スイッチを押して、FM1/FM2/AMを選びます。

②選局する(ワンタッチ選局スイッチ)

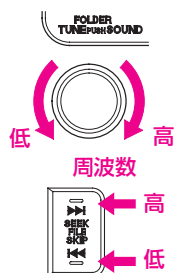
あらかじめ放送局をセットしておくと、ワンタッチで選局できます。

FM12局(FM1、FM2それぞれ6局)、AM6局まで記憶できます。



ワンタッチ選局のセットのしかた

- ① FM/AMスイッチでFM1/FM2、AMを選びます。
- ② TUNEツマミ、SEEK/FILE/SKIPスイッチで選局します。



- TUNEツマミを回すと、受信周波数が少しずつ変わります。
- SEEK/FILE/SKIPスイッチを押すと、自動選局になり放送を受信すると止まります。

知 識

- 受信電波が弱いときは、自動選局できないことがあります。このようなときは手動で選局してください。

- ③ ワンタッチ選局スイッチのいずれか一つを“ピッ”という電子音がするまで(約2秒間)押し続けます。

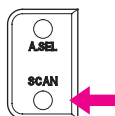
知 識

- 一度電源が切れた場合(車両のバッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど)、記憶が消去されます。そのときは再度記憶操作をしてください。

自動で放送局を数秒ずつ聞きたいときは(スキャン)

放送局でどんな番組を放送しているかを知りたいときに、操作します。

A.SEL/SCANスイッチのSCANを押します。(“SCAN”が点滅)



電波の強い放送局が周波数の低い順から選局され、約5秒間つぎつぎと受信します。

解除するときは、スイッチをもう一度押します。他のモードに切り換えたときも解除されます。

自動で放送局を記憶するには(オートセレクト)

放送局の違う地域へ出かけたときなど、セットされた放送局が聞けなくなった場合に操作します。

A.SEL/SCANスイッチのA.SELを押します。 (“A.SEL” が点滅)



自動選局された電波の強い放送局が、周波数の低い順からワンタッチ選局スイッチにFM12局、AM 6 局まで自動的に記憶され “A.SEL” が点滅から点灯に変わります。

解除するときは、スイッチをもう一度押します。解除すると、ワンタッチ選局スイッチの記憶は、オートセレクトをする前の状態に戻ります。

知 識

- 放送局が12局または 6 局にみえない場合、残りのスイッチには何も記憶されません。記憶されていないスイッチを押すと、周波数が “0” と表示されます。
- オートセレクトされた放送局を個別に変更することもできます。



交通情報をきくとき

・⋮⋮⋮ スイッチを押すと、ワンタッチで交通情報を受信できます。（“”が点灯）
周波数を切り換えるとき（1620kHz↔1629kHz）



…TUNEツマミまたはSEEK/FILE/SKIPスイッチで切り換えます。

解除するとき

・⋮⋮⋮ スイッチをもう一度押します。他のモードに切り換えたとときも解除されます。



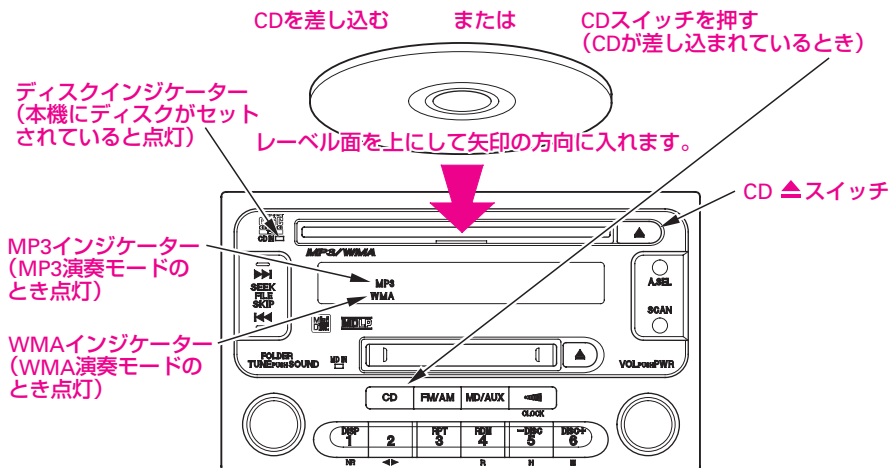
知 識

- ⋮⋮⋮ スイッチにあらかじめセットされている受信周波数を変えることはできません。
- ⋮⋮⋮ スイッチを使って交通情報を聞いているときは、ワンタッチ選局スイッチによる選局はできません。

●CD/MP3/WMAプレーヤーの使いかた

オーディオトラック、MP3トラック(ファイル)演奏のききかた

音楽CDやCD-R、CD-RWに記録したオーディオトラック、MP3/WMAトラック(ファイル)を再生できます。



知識

- 8 cm CDを使用するときはアダプターを使用しないでください。故障の原因になることがあります。
- ディスクやプレーヤーをゴミやほこりから保護するため、ディスクが押し出されたままで約10秒経過すると、自動的に内部に引き込まれます。
- MP3/WMA(ISO[®]9660のLevel 1、Level 2、Joliet、Romeoで録音されたディスクで、ファイル名の最後に拡張子“mp3”、“wma”が付いているもの)に対応しています。
- オーディオトラックとMP3/WMAトラック(ファイル)の両方を記録したディスクは、オーディオトラック、MP3/WMAトラックの順に再生します。また、CDスイッチを押して再生するトラックを切り換えることができます。(オーディオトラック↔MP3/WMAトラック)
- CD-RおよびCD-RWは録音に使用したレコーダーやディスクの状態によって再生できない場合があります。
- セッションの追加が可能なディスクも再生できます。

※：ISO(国際標準化機構)



CDを取り出すとき

CD ▲ スイッチを押して、CDを取り出します。



エンジンスイッチを“0”にした場合でも、CD ▲ スイッチを押せばディスクを取り出すことができます。

オーディオトラック再生時

早送り／早戻し、スキップ／リプレイをするとき

SEEK/FILE/SKIPスイッチを押します。



早送り
スキップ
早戻し
リプレイ

- ・押し続けると、早送り／早戻しになります。
- ・短く押すと、スキップ(先の曲の頭出し)／リプレイ(演奏中や前の曲の頭出し)になります。

ききたい曲を探すとき(スキャン)

A.SEL/SCANスイッチのSCANを押します。(“SCAN”が点灯し、トラックナンバーが点滅します)

各トラックの曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。



ききたい曲のところでスイッチをもう一度押すと、スキャン演奏の機能は解除されます。



知識

- すべての曲をスキャン演奏し終ると、スキャン演奏を開始した曲から通常の演奏になります。

演奏中の曲を繰り返すとき(リピート)

RPTスイッチを押します。(“RPT”が点灯)



リピート機能を解除するときは、スイッチをもう一度押します。

1枚のディスクの曲順をランダムに演奏するとき

RDMスイッチを押します。（“RDM”が点灯）

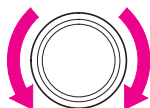


ランダム演奏の機能を解除するには、スイッチをもう一度押します。

演奏中の曲名、ディスクの名称を表示するとき

DISPスイッチを押します。（トラックまたはディスクの名称が約5秒間表示）

トラックまたはディスクの名称は12文字まで表示されます。



表示する項目を切り換えるとき

- ① DISPスイッチを“ピッ”と電子音がするまで（約2秒間）押します。
- ② TUNEツマミを回して表示する項目を切り換えます。
（“DISC NAME” ↔ “TRACK NAME”）
- ③ DISPスイッチを押します。

知識

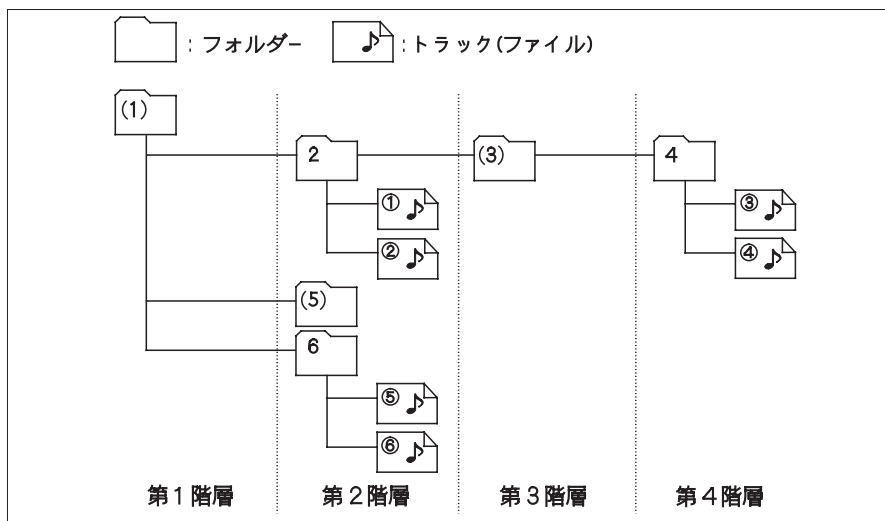
- CD-TEXTのデータが含まれるCDを再生時、トラック、ディスクの名称を表示できます。
- ディスクにトラックまたはディスクの名称がない場合は“NO TITLE”を表示します。
- 入力されている名称が13文字以上のときはDISPスイッチを押すたびに12文字ずつ表示されます。
- 表示切り換え後、約5秒すぎると自動的に解除されます。
- 入力されている名称が全角文字（英、数、カタカナ）やひらがな、漢字の場合は“……”で表示されます。



MP3/WMAトラック(ファイル)再生時

MP3/WMAトラック(ファイル)の演奏順序について

フォルダーおよびMP3/WMAトラック(ファイル)の再生順序は図の通りです。



ディスク内のすべてのフォルダーにフォルダー番号を付けます。

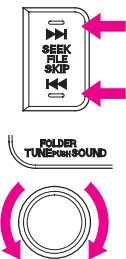
図のようなフォルダー／トラック(ファイル)構成のディスクの場合、(1)、(3)、(5)のフォルダーはMP3/WMAトラック(ファイル)を含まないため、フォルダー番号は表示されません。

知識

- 同一階層内のフォルダーやトラック(ファイル)はライティングソフトによってディスクに書き込まれた順序で再生します。
- 最大15階層、合計255トラック(ファイル)まで再生できます。
- ディスクの構成によっては読み込み時間が長くなることがあります。
- 著作権が保護されたWMAトラック(ファイル)は再生することができません。

演奏している曲を換えるとき(トラック／フォルダーの切り換え)

SEEK/FILE/SKIPスイッチ、TUNEツマミを操作して切り換えます。



トラック(ファイル)を選ぶ

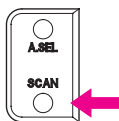
SEEK/FILE/SKIPスイッチの ►► / ◄◄ を押すとトラック(ファイル)が切り換わります。

フォルダーを選ぶ

TUNEツマミを回すとフォルダーが切り換わります。

ききたい曲を探すとき(トラックスキャン、フォルダースキャン)

A.SEL/SCANスイッチのSCANを押します。



- 短く押すとトラックスキャンになります。(“SCAN”が点灯し、トラックナンバーが点滅します)
演奏中のフォルダーの、各トラック(ファイル)の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。
ききたい曲のところでもう一度短く押すとトラックスキャン演奏の機能は解除されます。
- “ピツ”という電子音がするまで押すとフォルダースキャンになります。(“D-SCAN”が点灯し、フォルダーナンバーが点滅します)
各フォルダーの先頭の曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。
ききたいフォルダーのところでもう一度“ピツ”という電子音がするまで押すとフォルダースキャン演奏の機能は解除されます。

知識

- すべての曲またはフォルダーをスキャン演奏し終ると、スキャン演奏を開始した曲またはフォルダーから通常の演奏になります。

**演奏中の曲を繰り返しきくとき(トラックリピート、フォルダーリピート)**

RPTスイッチを押します。



- 短く押すとトラックリピートモードになります。
("RPT" が点灯)
演奏中の曲を繰り返し演奏します。
機能を解除するには、スイッチをもう一度短く押します。
- "ピッ"という電子音がするまで押すとフォルダーリピートモードになります。("D-RPT" が点灯)
演奏中のフォルダー内のトラック(ファイル)を繰り返し演奏します。
機能を解除するには、スイッチをもう一度"ピッ"という電子音がするまで押します。

ディスクの曲順をランダムに演奏するとき

RDMスイッチを押します。



- 短く押すとフォルダーランダムモードになります。
("RDM" が点灯)
演奏中のフォルダー内のトラック(ファイル)をランダムに演奏します。
機能を解除するには、スイッチをもう一度短く押します。
- "ピッ"という電子音がするまで押すとディスクリンダムモードになります。("D-RDM" が点灯)
ディスク内のすべてのフォルダーをランダムに演奏します。
機能を解除するには、スイッチをもう一度"ピッ"という電子音がするまで押します。

演奏中の曲の情報を表示するとき

DISPスイッチを押します。(フォルダーまたはトラック名称、ID3/WMA TAG (曲の情報)が約 5 秒間表示)

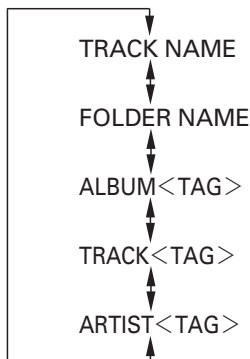


フォルダーまたはトラック(ファイル)の名称、ID3/WMA TAG (曲の情報)は12文字まで表示されます。

表示する項目を切り換えるとき

①DISPスイッチを“ピッ”という電子音がするまで(約 2 秒間)押します。

②TUNEツマミを回して表示する項目を切り換えます。



③DISPスイッチを押します。

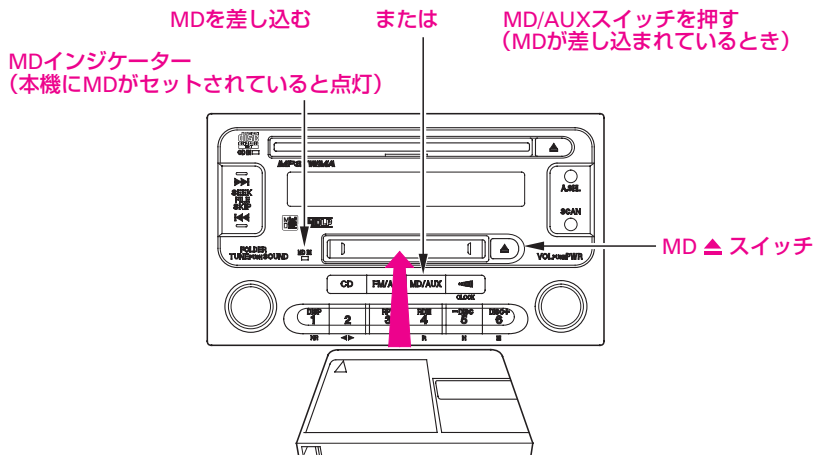
知識

- ディスクにフォルダーまたはトラック名称が入力されていない場合は“NO TITLE”を表示します。
- ディスクにID3/WMA TAG (曲の情報)が入力されていない場合は“NO TITLE”を表示します。
- 入力されている名称が13文字以上のときはDISPスイッチを押すたびに12文字ずつ表示されます。
- ファイル名、フォルダー名は最大32文字(Jolietは16文字)まで表示されます。
- ID3 TAG (曲の情報)のVer 1.x、2.xに対応しており、最大32文字まで表示できます。
- WMA TAG (曲の情報)は、最大32文字まで表示できます。
- 入力されている名称が全角文字(英、数、カタカナ)やひらがな、漢字の場合は“……”で表示されます。



●MDプレーヤーの使いかた

MD演奏のききかた



レーベル面を上にして矢印の方向に入れます。

知識

- MDLP(長時間ステレオ録音)モードに対応しています。
- グループ機能には対応していません。グループ編集されたMDをグループ別に演奏することはできません。

MDを取り出すとき

MD ▲ スイッチを押して、MDを取り出します。



エンジンスイッチを“0”にした場合でも、MD ▲ スイッチを押せばディスクを取り出すことができます。

早送り／早戻し、スキップ／リプレイをするとき

SEEK/FILE/SKIPスイッチを押します。



早送り
スキップ

早戻し
リプレイ

- 押し続けると、早送り／早戻しになります。
- 短く押すと、スキップ(先の曲の頭出し)／リプレイ(演奏中や前の曲の頭出し)になります。

ききたい曲を探すとき(スキャン)

A.SEL/SCANスイッチのSCANを押します。("SCAN"が点灯し、トラックナンバーが点滅します)

各トラックの曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。



ききたい曲のところでスイッチをもう一度押すと、スキャン演奏の機能は解除されます。



知識

- すべての曲をスキャン演奏し終ると、スキャン演奏を開始した曲から通常の演奏になります。

**演奏中の曲を繰り返しきくとき(リピート)**

RPTスイッチを押します。("RPT" が点灯)



リピート機能を解除するときは、スイッチをもう一度押します。

ディスクの曲順をランダムに演奏するとき

RDMスイッチを押します。("RDM" が点灯)



ランダム演奏の機能を解除するには、スイッチをもう一度押します。

演奏中の曲名、ディスクの名称を表示するとき

DISPスイッチを押します。(トラックまたはディスクの名称が約 5 秒間表示)



トラックまたはディスクの名称は12文字まで表示されま
す。



表示する項目を切り換えるとき

- ① DISPスイッチを“ピッ”と電子音がするまで(約 2 秒間)押します。
- ② TUNEツマミを回して表示する項目を切り換えます。
 (“DISC NAME” ↔ “TRACK NAME”)
- ③ DISPスイッチを押します。



知 識

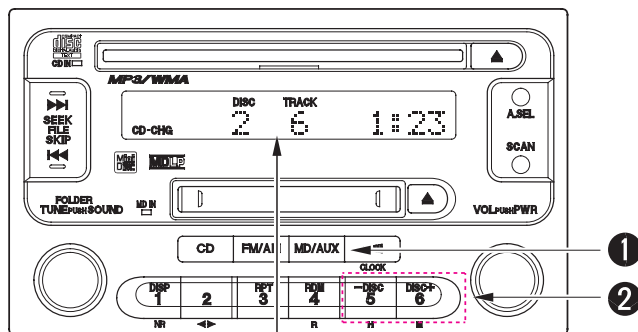
- ディスクにトラックまたはディスクの名称が入力されていない場合は“NO TITLE”を表示します。
- グループ編集されたMDを再生してもグループタイトルの表示はしません。
- 入力されている名称が13文字以上のときはDISPスイッチを押すたびに12文字ずつ表示されます。
- MDLPで録音されたトラックは、トラック名称の先頭に“LP2”または“LP4”が表示されます。
また、トラックタイトルが記録されていない場合は“LP2”または“LP4”のみ表示されます。
(記録状態によっては“LP2”または“LP4”を表示しない場合があります。)
- 表示切り換え後、約 5 秒すぎると自動的に解除されます。



●CDチェンジャーコントローラーの使いかた

Honda純正のCDチェンジャー接続時

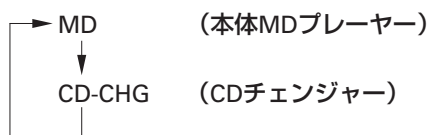
ディスク演奏のききかた



演奏中はディスク、トラックナンバーを表示

①切り換える(MD/AUXスイッチ)

スイッチを押して、切り換えます。
スイッチを押すたびに接続されているCDチェンジャー、本機のCDプレイヤーに切り換わります。



(本体MDプレーヤー)

(CDチェンジャー)

②ディスクを選ぶ(DISC-/DISC+スイッチ)

DISC-スイッチまたはDISC+スイッチを押すごとに、ディスクが切り換わります。

早送り／早戻し、スキップ／リプレイをするとき

SEEK/FILE/SKIPスイッチを押します。



早送り
スキップ

早戻し
リプレイ

- 押し続けると、早送り／早戻しになります。
- 短く押すと、スキップ(先の曲の頭出し)／リプレイ(演奏中や前の曲の頭出し)になります。

ききたい曲を探すとき(トラックスキャン、ディスクスキャン)

A.SEL/SCANスイッチのSCANを押します。



- 短く押すとトラックスキャンになります。("SCAN"が点灯し、トラックナンバーが点滅します)
演奏中のディスクの各トラックの曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。
ききたい曲のところでスイッチをもう一度短く押すと、トラックスキャン演奏の機能は解除されます。
- "ピツ"という電子音がするまで押すとディスクスキャンになります。(D-SCANが点灯し、ディスクナンバーが点滅します)
ディスクチェンジャー内のすべてのディスクの先頭の曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。
ききたいディスクのところでスイッチをもう一度"ピツ"という電子音がするまで押すと、ディスクスキャン演奏の機能は解除されます。

知識

- すべての曲またはフォルダーをスキャン演奏し終ると、スキャン演奏を開始した曲またはフォルダーから通常の演奏になります。



演奏中の曲を繰り返しきくとき(リピート)

RPTスイッチを押します。



- 短く押すとトラックリピートモードになります。
("RPT" が点灯)
演奏中の曲を繰り返し演奏します。
機能を解除するには、スイッチをもう一度短く押します。
- "ピッ"という電子音がするまで押すとディスクリピートモードになります。("D-RPT" が点灯)
演奏中のディスクを繰り返し演奏します。
機能を解除するには、スイッチをもう一度"ピッ"という電子音がするまで押します。

ディスクの曲順をランダムに演奏するとき

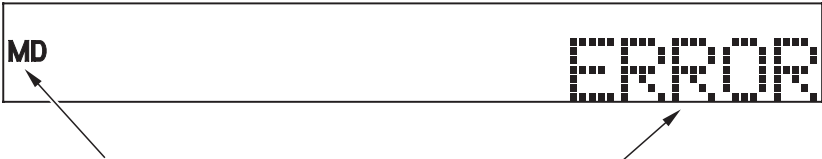
RDMスイッチを押します。



- 短く押すとトラックランダムモードになります。
("RDM" が点灯)
演奏中のディスクをランダムに演奏します。
機能を解除するには、スイッチをもう一度短く押します。
- "ピッ"という電子音がするまで押すとディスクランダムモードになります。("D-RDM" が点灯)
ディスクチェンジャー内すべてのディスクでランダムに演奏します。
機能を解除するには、スイッチをもう一度"ピッ"という電子音がするまで押します。

●エラーコードについて

表示部にエラーコードが表示されたときは、表示されているプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。点検してください。



エラーが発生しているプレーヤーを表します。 エラーコードの種類を表します。

- CD (本体CDプレーヤー)
- MD (本体MDプレーヤー)
- CD-CHG (CDチェンジャー)

エラーコード	原 因
ERROR	ディスクやディスクマガジンの装着や取り外しができない等、機械的な不具合
HOT	プレーヤー内部の温度上昇による一時停止状態
DISC	ディスクの読み込みができない(露つき、傷、汚れなど)
NO DISC	<u>CDチェンジャー</u> ディスクマガジンにディスクが入っていない
BLANK	<u>MD</u> ディスクに録音されていない



●時計

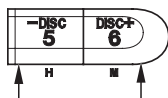
時計は、エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のときに表示されます。それぞれのスイッチを操作すると各動作状態を表示し、動作停止後、時計表示に戻ります。

表示の合わせかた

- ① (CLOCK)スイッチを時計表示が点滅するまで押します。



- ②「時」の調整… 5 -DISC(H)スイッチを押します。
「分」の調整… 6 DISC+(M)スイッチを押します。



5 -DISC(H)スイッチ 6 DISC+(M)スイッチ

- ③ (CLOCK)スイッチをもう一度押します。

時報合わせ…時計表示が点滅しているときに、時報と同時に 4 RDM(R)スイッチを押します。

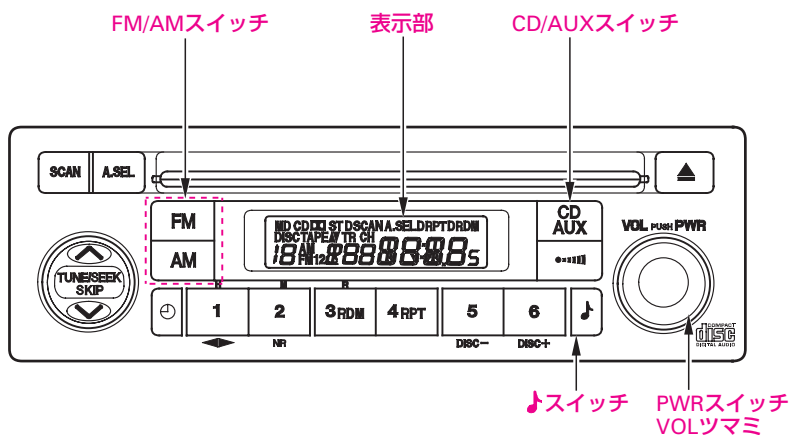


(例) 1:01 ~ 1:29の場合… 1:00
1:30 ~ 1:59の場合… 2:00

FM/AMラジオ一体式CDステレオ

タイプ別装備

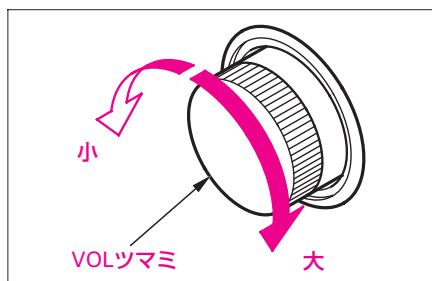
エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のときに使えます。



●電源の入れかた

PWRスイッチを押して、電源を入れます。押すたびに“ON”⇔“OFF”になります。また、FM/AMスイッチ、CD/AUXスイッチを押して、電源を“ON”にすることもできます。

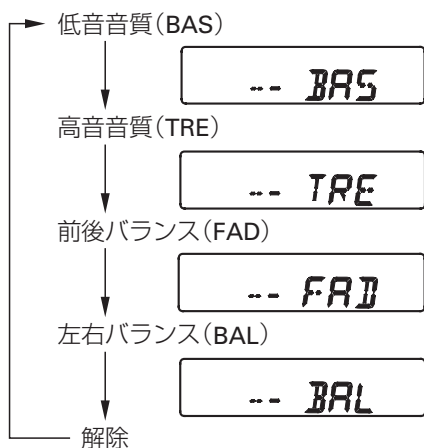
●音量調節のしかた





●音質、バランス調節のしかた

♪ スイッチを押して切り換え、VOLツマミで調節します。



♪ スイッチを押すたびに切り換わります。
(リヤ用スピーカーは装備していません。)

🎓 知識

- 調節後約 5 秒すぎると自動的に解除されます。
- 調節位置が中央のときに表示部に “--” (センター) を表示します。

●オーディオモードの切り換え

各モードスイッチで切り換えます。

- ・ FM/AMスイッチ



ラジオに切り換わります。

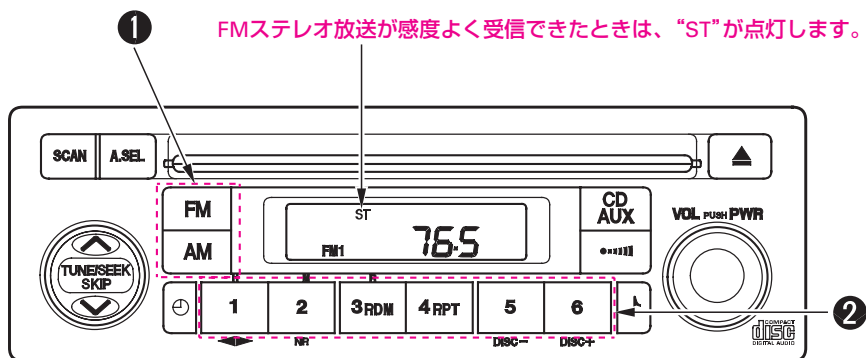
- ・ CD/AUXスイッチ



ディスクが入っているときに押すと、CD演奏に切り換わります。
Honda純正のオーディオを接続しているときに押すと、それらの演奏に切り換わります。

●ラジオの使いかた

ラジオ放送のききかた



①ラジオに切り換え、バンドを選ぶ(FM/AMスイッチ)

スイッチを押して、FM1/FM2/AMを選びます。

②選局する(ワンタッチ選局スイッチ)

あらかじめ放送局をセットしておく、ワンタッチで選局できます。

FM12局(FM1、FM2それぞれ6局)、AM 6局まで記憶できます。



ワンタッチ選局のセットのしかた

①FM/AMスイッチでFM1/FM2/AMを選びます。

②TUNE/SEEK SKIPスイッチで選局します。



高

周波数

低

- ・短く押すと、押すたびに受信周波数が少しずつ変わります。(手動選局)
- ・“ピッ”という電子音がするまで押すと、自動選局になり放送を受信すると止まります。



知識

- 受信電波が弱いときは、自動選局できないことがあります。このようなときは手動で選局してください。

③ワンタッチ選局スイッチのいずれか一つを“ピッ”という電子音がするまで(約2秒間)押し続けます。



知識

- 一度電源が切れた場合(車両のバッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど)、記憶が消去されます。そのときは再度記憶操作をしてください。

自動で放送局を数秒ずつ聞きたいときは(スキャン)

放送局でどんな番組を放送しているかを知りたいときに、操作します。

SCANスイッチを押します。(“SCAN”が点灯)

SCAN

電波の強い放送局が周波数の低い順から選局され、約5秒間つぎつぎと受信します。

解除するときは、スイッチをもう一度押します。他のモードに切り換えたときも解除されます。

自動で放送局を記憶するには(オートセレクト)

放送局の違う地域へ出かけたときなど、セットされた放送局が聞けなくなった場合に操作します。

A.SELスイッチを押します。 (“A.SEL” が点滅)



自動選局された電波の強い放送局が、周波数の低い順からワンタッチ選局スイッチにFM12局、AM 6 局まで自動的に記憶され“A.SEL” が点滅から点灯に変わります。

解除するときは、スイッチをもう一度押します。解除すると、ワンタッチ選局スイッチの記憶は、オートセレクトをする前の状態に戻ります。

知 識

- 放送局が12局または 6 局にみえない場合、残りのスイッチには何も記憶されません。記憶されていないスイッチを押すと、周波数が“0”と表示されます。
- オートセレクトされた放送局を個別に変更することもできます。



交通情報をきくとき

- スイッチを押すと、ワンタッチで交通情報を受信できます。



周波数を切り換えるとき(1620kHz↔1629kHz)

…TUNE/SEEK SKIPスイッチで切り換えます。

解除するとき

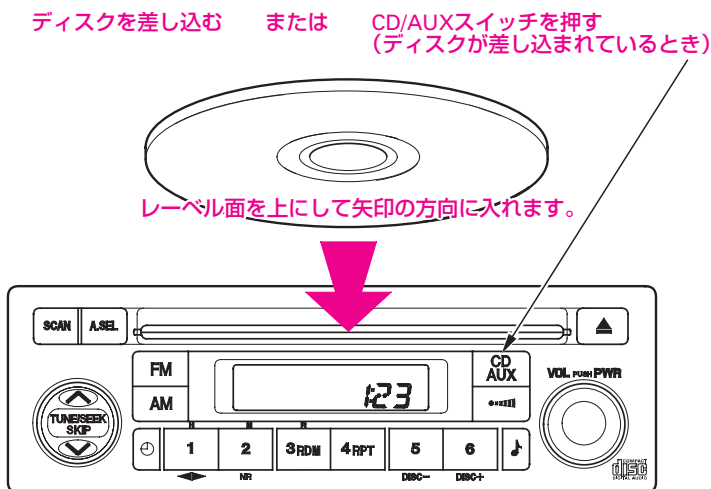
- スイッチをもう一度押します。他のモードに切り換えたときも解除されます。



知 識

- ●●●● スイッチにあらかじめセットされている受信周波数を変えることはできません。

●CDプレーヤーの使いかた ディスク演奏のききかた



🎓 知 識

- このCDプレーヤーは12cm CD専用です。8 cm CDは使わないでください。(CDアダプターを付けても使わないでください。)故障の原因になることがあります。
- ディスクやプレーヤーをゴミやほこりから保護するため、ディスクが押し出されたままで約15秒経過すると、自動的に内部に引き込まれます。
- CD-RおよびCD-RWは再生できない場合があります。

ディスクを取り出すとき

- ▲ スイッチを押して、ディスクを取り出します。



ディスク演奏中にエンジンスイッチを“0”にした場合でも、▲ スイッチを押せばディスクを取り出すことができます。

**早送り／早戻し、スキップ／リプレイをするとき**

TUNE/SEEK SKIPスイッチを押します。

**早送り
スキップ****早戻し
リプレイ**

- ・押し続けると、早送り／早戻しになります。
- ・短く押すと、スキップ(先の曲の頭出し)／リプレイ(前の曲の頭出し)になります。

ききたい曲を探すとき(スキャン)

SCANスイッチを押します。("SCAN"が点灯し、トラックナンバーが点滅します)
各トラックの曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。



ききたい曲のところでスイッチをもう一度押すと、スキャン演奏の機能は解除されます。

**知 識**

- すべての曲をスキャン演奏し終ると、スキャン演奏を開始した曲から通常の演奏になります。

演奏中の曲を繰り返すとき(リピート)

RPTスイッチを押します。("RPT"が点灯)



リピート機能を解除するときは、スイッチをもう一度押します。

ディスクの曲順をランダムに演奏するとき

RDMスイッチを押します。("RDM"が点灯)



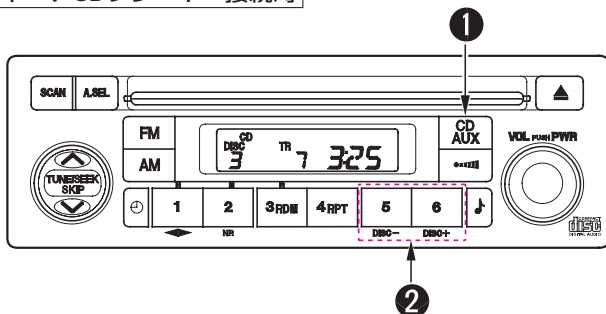
ランダム演奏の機能を解除するには、スイッチをもう一度押します。

●CDチェンジャーコントローラー、CD/MD/カセットプレーヤーの使いかた

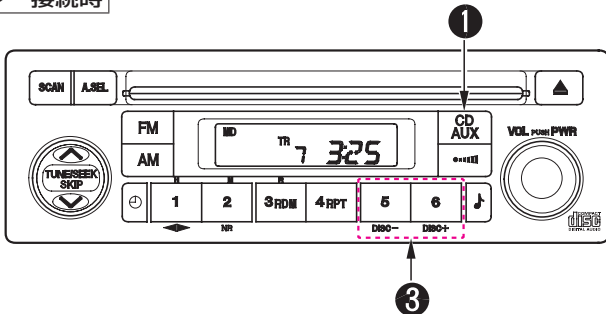
Honda純正のCDチェンジャー、CD/MD/カセットプレーヤー接続時

演奏のききかた

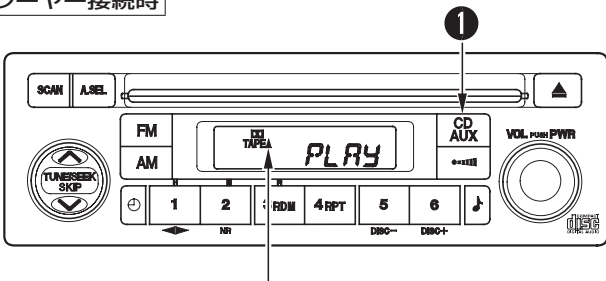
CDチェンジャー、CDプレーヤー接続時



MDプレーヤー接続時



カセットプレーヤー接続時



テープ演奏中は“▲”または“▼”のテープ走行表示灯が点灯



①切り換える(CD/AUXスイッチ)

スイッチを押して、切り換えます。
スイッチを押すたびに接続されているCDチェンジャー、CD/MD/カセットプレーヤーなどに切り換わります。



②ディスクを選ぶ(DISC-/DISC+スイッチ)

CDチェンジャー接続時

DISC-、DISC+スイッチを押すごとに切り換わります。

DISC-、DISC+スイッチに続けてSEEK/SKIPスイッチを押すと、トラックナンバーの指定もできます。

③グループを選ぶ(DISC-/DISC+スイッチ)

MDプレーヤー接続時

MDプレーヤーのグループ機能が“ON”のときに操作できます。

DISC-、DISC+スイッチを押すごとに切り換わります。

ディスクスイッチに続けてSEEK/SKIPスイッチを押すと、トラックナンバーの指定もできます。

CDチェンジャー、CDプレーヤー接続時

早送り／早戻し、スキップ／リプレイをするとき

TUNE/SEEK SKIPスイッチを押します。



早送り
スキップ

早戻し
リプレイ

- 押し続けると、早送り／早戻しになります。
- 短く押すと、スキップ(先の曲の頭出し)／リプレイ(前の曲の頭出し)になります。

ききたい曲を探すとき(トラックスキャン、ディスクスキャン)

SCANスイッチを押します。



- 短く押すとトラックスキャンになります。(“SCAN”が点灯し、トラックナンバーが点滅します)
演奏中のディスクの各トラックの曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。
ききたい曲のところでスイッチをもう一度短く押すと、トラックスキャン演奏の機能は解除されます。
- **CDチェンジャー接続時**
“ピッ”という電子音がするまで押すとディスクスキャンになります。(“SCAN”が点灯し、ディスクナンバーが点滅します)
ディスクチェンジャー内の全てのディスクの先頭の曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。
ききたいディスクのところでスイッチをもう一度“ピッ”という電子音がするまで押すと、ディスクスキャン演奏の機能は解除されます。

**演奏中の曲を繰り返しきくとき(トラックリピート、ディスクリピート)**

RPTスイッチを押します。

4 RPT

- 短く押すとトラックリピートモードになります。
("RPT" が点灯)
演奏中の曲を繰り返し演奏します。
機能を解除するには、スイッチをもう一度短く押します。
- "ピッ"という電子音がするまで押すとディスクリピートモードになります。("D RPT" が点灯)
演奏中のディスクを繰り返し演奏します。
機能を解除するには、スイッチをもう一度"ピッ"という電子音がするまで押します。

ディスクの曲順をランダムに演奏するとき(トラックランダム、ディスクランダム)

RDMスイッチを押します。

3 RDM

- 短く押すとトラックランダムモードになります。
("RDM" が点灯)
演奏中のディスクをランダムに演奏します。
機能を解除するには、スイッチをもう一度短く押します。
- "ピッ"という電子音がするまで押すとディスクランダムモードになります。("D RDM" が点灯)
チェンジャー内のすべてのディスクをランダム演奏します。
機能を解除するには、スイッチをもう一度"ピッ"という電子音がするまで押します。

MDプレーヤー接続時

早送り／早戻し、スキップ／リプレイをするとき

TUNE/SEEK SKIPスイッチを押します。



早送り
スキップ

早戻し
リプレイ

- 押し続けると、早送り／早戻しになります。
- 短く押すと、スキップ(先の曲の頭出し)／リプレイ(前の曲の頭出し)になります。

ききたい曲を探すとき(トラックスキャン)

SCANスイッチを押します。(“SCAN”が点灯し、トラックナンバーが点滅します。)



- MDプレーヤー側のグループ機能がOFFのとき
演奏中のディスクの各トラックの曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。

MDプレーヤー側のグループ機能がONのとき

演奏中のグループの各トラックの曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。

ききたい曲のところでスイッチをもう一度押すと、スキャン演奏の機能は解除されます。

知識

- すべての曲をスキャン演奏し終ると、スキャン演奏を開始した曲から通常の演奏になります。



演奏中の曲を繰り返しきくとき(リピート)

RPTスイッチを押します。("RPT" が点灯)

4 RPT

- ・リピート演奏の機能を解除するときは、スイッチをもう一度押します。

ディスクの曲順をランダムに演奏するとき

RDMスイッチを押します。("RDM" が点灯)

3 RDM

- ・ MDプレーヤー側のグループ機能がOFFのとき
演奏中のディスクをランダムに演奏します。
MDプレーヤー側のグループ機能がONのとき
演奏中のグループの曲をランダムに演奏します。

ランダム演奏の機能を解除するには、スイッチをもう一度押します。

カセットプレーヤー接続時

早送り／巻戻し、頭出しをするとき

TUNE/SEEK SKIPスイッチを押します。



早送り
頭出し(次の曲)

早戻し
頭出し(演奏中の曲)

- “ピッ”という電子音がするまで押すと、早送り／巻戻しになり、“FF”/“REW”が点灯します。

- 短く押すと頭出し(次の曲の最初／演奏中の曲の最初)になり、“FF”/“REW”が点滅します。

早送り／巻戻しを止めるときは、スイッチをもう一度押すか ◀▶ スイッチを押します。



知 識

- 曲間の無音部分が4秒以上ないときや雑音が入っているとき、曲の途中に無音部分があるときは、頭出し機能が動かないことがあります。



走行方向を切り換えるとき

◀▶ スイッチを押します。



テープの片面が終了したときは、自動的に切り換わりま
す。

演奏中の曲を繰り返しきくとき(リピート)

RPTスイッチを押します。(“RPT”が点灯)



リピート演奏の機能を解除するときは、スイッチをもう一度押します。

ドルビーNRについて

ドルビーNR録音されたテープを再生すると、高域雑音の少ない演奏が楽しめます。



NRスイッチで、ドルビーNR再生およびその解除を行
います。(ドルビーNR再生中は“NR”が点灯)

※ドルビーノイズリダクションシステムはドルビーラボラトリーズライセンスコーポ
レーションからの実施権に基づき製造されています。

ドルビー、DOLBY及びダブルD記号  はドルビーラボラトリーズライセンスコー
ポレーションの登録商標です。

表示部にエラーコードが表示されたときは、表示されているプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。



CD	(本機、CDプレーヤー)
CD DISC	(CDチェンジャー)
MD	(MDプレーヤー)
TAPE	(カセットプレーヤー)

200

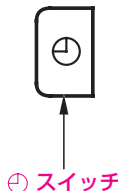


●時計

時計は、エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のときに表示されます。

表示の切り換え

オーディオ作動時の時計の表示が切り換えられます。



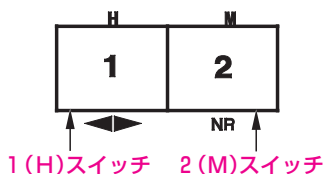
④ スイッチを押します。押すたびに時計表示のON↔OFFが切り換わります。

表示の合わせかた

①時計表示しているときに ④ スイッチを“ピツ”という電子音がするまで押します。(時計表示が点滅)

②「時」の調整… 1 (H)スイッチを押します。

「分」の調整… 2 (M)スイッチを押します。



③ ④ スイッチをもう一度押します。

時報合わせ…時計表示が点滅しているときに、時報と同時に 3 (R)スイッチを押します。



(例) 1 : 01 ~ 1 : 29の場合… 1 : 00
1 : 30 ~ 1 : 59の場合… 2 : 00

室内装備品

室内灯／テールゲート照明灯

“ON”

ドア、テールゲートの開閉に関係なく点灯します。

(中間)

ドア、テールゲートを開けると点灯し、閉めると消灯します。
また、次の場合にも点灯し、その後消灯します。

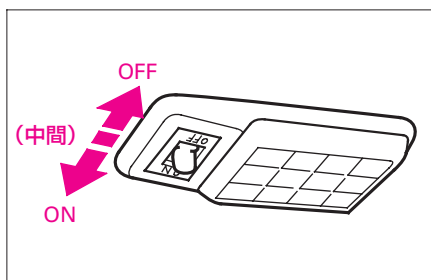
- ・運転席ドアを解錠したとき
(ウエルカムライト機能)
- ・エンジンスイッチからキーを抜いたとき

“OFF”

ドア、テールゲートの開閉に関係なく消灯します。

知識

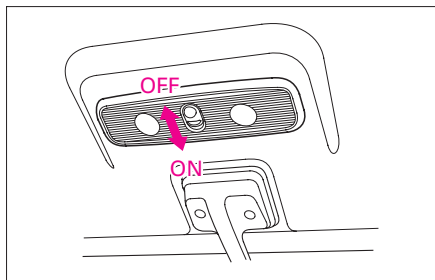
- 運転席ドアを施錠したときは、室内灯はすぐに消灯します。
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているときは、運転席ドアを解錠しても室内灯は点灯しません。
- “中間”の位置のときに、エンジンスイッチにキーを差し込んでいないときは、バッテリー保護のため、ドアを開けたままにしていると約3分後に消灯します。





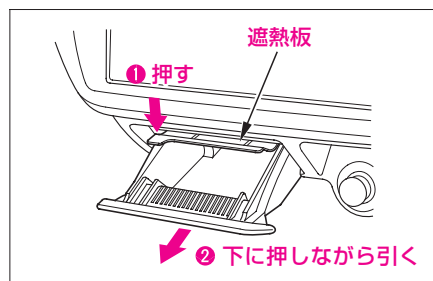
マップランプ

スイッチを“ON”にすると点灯し、“OFF”にすると消灯します。
夜間、車を止めて地図などを見るときに便利です。



灰皿

清掃するときは遮熱板を下に押さえながら外します。



⚠ 注意

- タバコ、マッチなどは確実に火を消してから灰皿に捨て、灰皿は必ず閉めてください。
また、吸いがらをためすぎたり、紙くすなどの燃えやすい物を入れないでください。
タバコなどの火が燃え広がるおそれがあります。

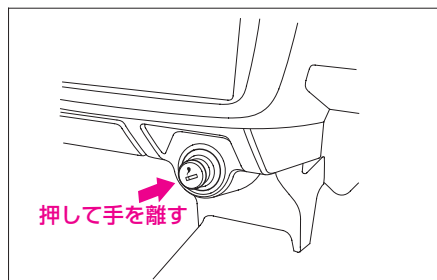
シガレットライター

エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のときだけ使えます。



ライターを押し込んで、手を離し、元の位置に戻るまで待ちます。

ヒーター部が赤熱すると自動的に戻ります。



ライター使用後は灰皿で灰を落としてからすみやかに元に戻してください。

⚠ 注意

- シガレットライターの金属部分には触れないでください。
やけどをするおそれがあります。

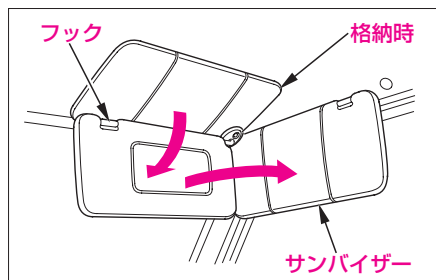
🎓 知識

- シガレットライターの損傷を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・ライターを押し込んだあと、押さえ続けしないでください。
 - ・ヒーター部に灰や異物が付着したまま使用しないでください。
 - ・ライターの差し込み口からは、**Honda**純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。
- 他の車のライターを使ったり、自車のライターを修正したりしないでください。戻らなかったり、とび出したりするおそれがあります。
- ライターを押し込んでから、30秒以上たっても戻らないときは故障のおそれがありますので手で引き出し、**Honda**販売店で点検を受けてください。



サンバイザー

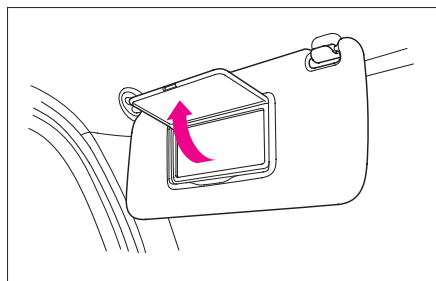
サンバイザーを横にするときは、フックから外して行います。



●バニティミラー(化粧鏡)

運転席側：標準装備
助手席側：タイプ別装備

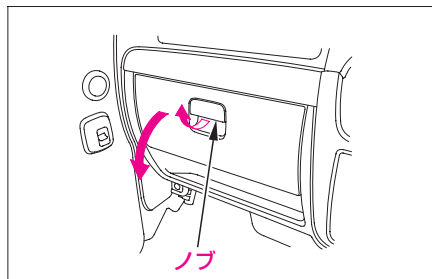
サンバイザーに鏡があります。
お化粧のときなどに便利です。



小物入れ

●グローブボックス

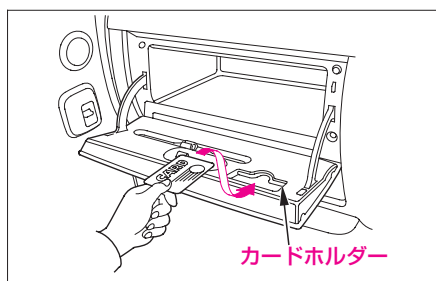
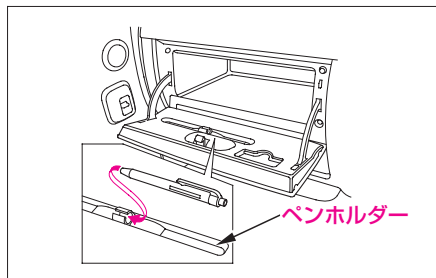
ノブを引くと開きます。



⚠ 警告

- 走行中は、グローブボックスのフタを必ず閉めてください。
グローブボックスのフタが開いていると、衝突したときなどにフタにぶつかったり、内部の物がとび出したりして思わぬ事故につながります。

グローブボックスのフタにペンホルダー、カードホルダーがあります。

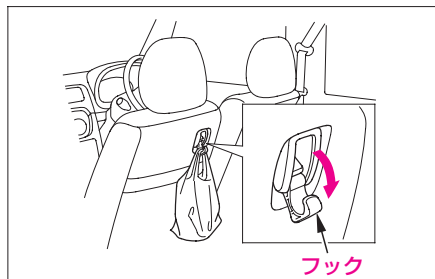


知 識

- カードホルダーには、カード以外の物を入れないでください。カード以外の物を入れると、取り出せなくなることがあります。

コンビニフック

軽い荷物をかけておくのに便利です。フックを手前に倒して使用します。使用しないときは、フックを元に戻しておいてください。



知 識

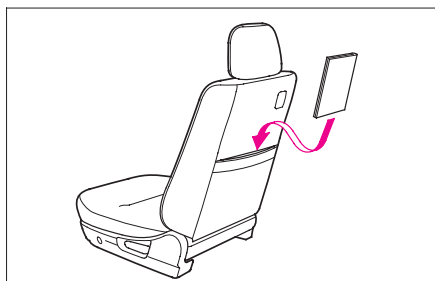
- 重い物(約 3 kg 以上)や大きな物をかけないでください。特に、重い物をかけるとフックが外れることがあります。



シートバックポケット

タイプ別装備

助手席背もたれの後ろのポケットには、ファスナー付きの内ポケットがあります。



カップホルダー

カップなどを置くときに使います。

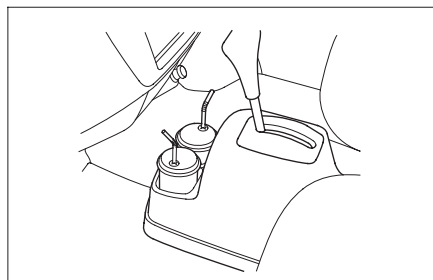
⚠ 注意

- オーディオやスイッチなどの電装品に飲み物などをこぼさないように注意してください。
故障の原因となったり、車両火災につながるおそれがあります。
万一、電装品に飲み物をこぼしたときは、Honda販売店にご相談ください。

🎓 知識

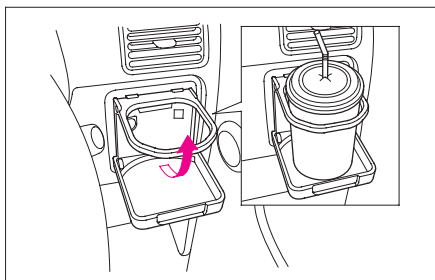
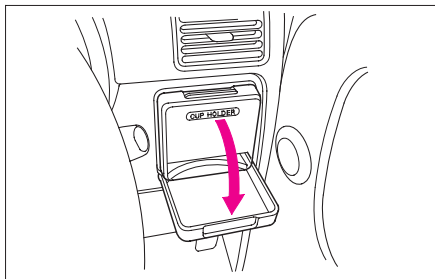
- ドアの開閉や走行中の振動、車の動きなどで飲み物がこぼれることがあります。
熱い飲み物などはやけどのおそれがありますので注意してください。

● 前席用



●運転席用

カップホルダーを展開して使用します。

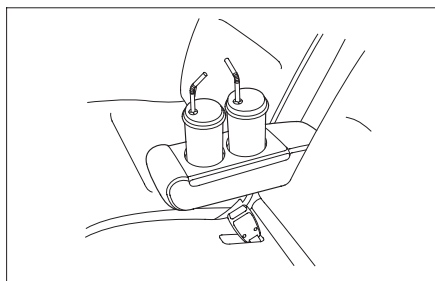
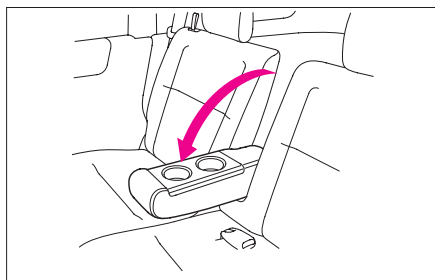


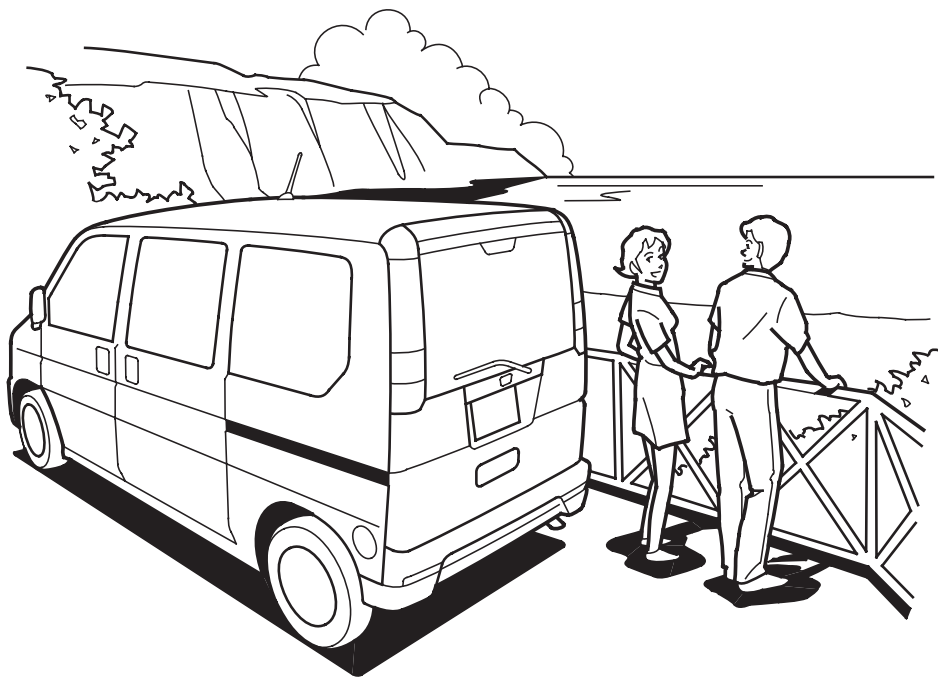
🎓 知 識

- カップホルダーには飲み物以外の物を置いたり、掛けないようにしてください。

●後席用

アームレストを引き出して使います。





万一のとき

5

●工具・スペアタイヤ・発炎筒

格納場所	210
工具の種類	211
発炎筒について	211

●故障したとき

踏切で動けなくなったとき	212
高速道路で故障したとき	212
道路で動けなくなったとき	213
故障の修理について	213

●事故が起きたとき

●けん引

けん引されるとき (ロープによるけん引)	216
-------------------------	-----

●パンクしたとき

ジャッキの取り扱い	220
スペアタイヤ	222
タイヤ交換	225

●オーバーヒートしたとき

	230
--	-----

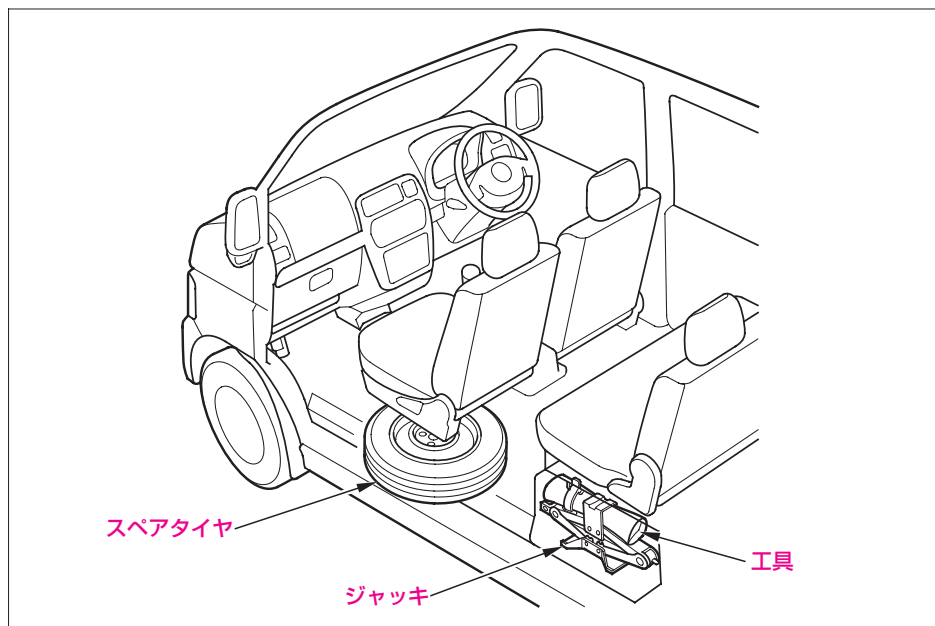
●電気系統が異常のとき

バッテリーあがりのとき	232
ライト類が点灯しないとき、 電気装置が 作動しないとき	236
キーレスエントリー用発信器の 電池が消耗したとき	247

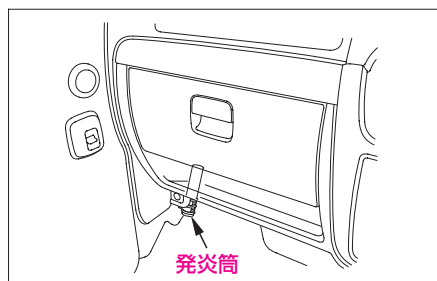
工具・スペアタイヤ・発炎筒

格納場所

●工具・スペアタイヤ



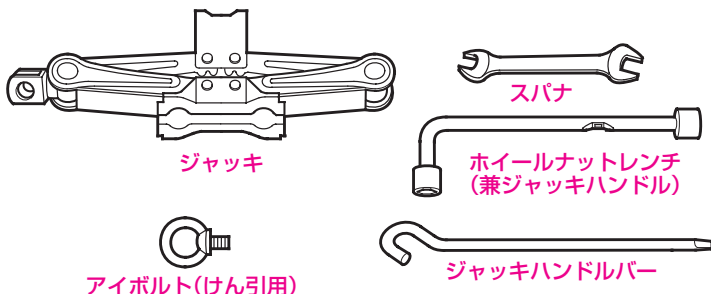
●発炎筒



発炎筒は助手席足元にあります。



工具の種類



知識

- 工具の種類、ジャッキ、発炎筒の使いかたなどは万一のとき困らないようあらかじめ確かめておきましょう。
- スペアタイヤ、ジャッキは走行中動かないように、所定の位置にしっかり固定してください。
- 高速道路で故障などにより停止するときは、停止表示器材による表示義務がありますので、停止表示板などを常時携帯するようにしましょう。

発炎筒について

高速道路、踏切などの危険な場所で故障したときに使います。発炎筒に記載されている次のことをよく読んであらかじめ確認しておいてください。

- ・ 使いかた
- ・ 使用上の注意
- ・ 発炎時間
- ・ 有効期限

警告

- ガソリンなどの燃えやすい物のそばでは使わないでください。火災や爆発のおそれがあります。

注意

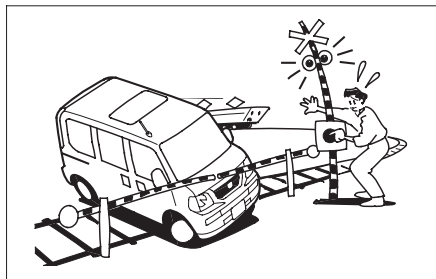
- お子さまにいじらせないでください。いたずらなどにより発炎筒が発火して思わぬ事故ややけどの原因になります。
- 発炎筒を使うとき顔や身体に向けてとやけどなどをすることがあるのでやめください。
- トンネル内では視界を悪くするので使用しないでください。トンネル内では非常点滅表示灯を使ってください。

故障したとき

車を路肩に停め、非常点滅表示灯を点滅させます。必要に応じて停止表示板(または停止表示灯)、発炎筒を使い、後続する車に故障車とわかるようにします。

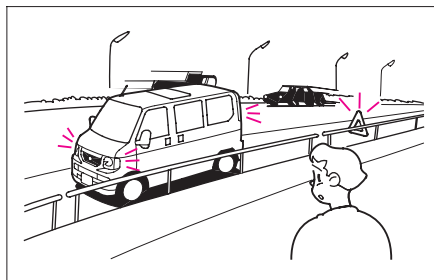
踏切で動けなくなったとき

脱輪などで踏切内で動けなくなったときは、踏切の非常ボタンを押してください。非常ボタンがわからず、緊急を要するときは、発炎筒で合図をしてください。



高速道路で故障したとき

車を路側帯に寄せ、非常点滅表示灯を点滅させ、車両後方に停止表示板(または停止表示灯)を置いて表示してください。法律で義務づけられています。



人は車からおりて、安全な場所に避難してください。



道路で動けなくなったとき

一般道路で動けなくなったときは、付近の人に安全な場所まで押しもらってください。



知識

- マニュアル車、オートマチック車ともにスターターを回して車を動かすことはできません。

クラッチ・スタートシステム

マニュアル車

→114ページ

故障の修理について

Honda販売店へお申しつけください。



お持ちこみいただければ、簡単なものはその場で修理いたします。長くかかるものは、予定をお知らせします。

お持ちこみのむずかしいときには電話でご連絡ください。

遠出などのときは全国どこでもHonda販売店へご連絡ください。

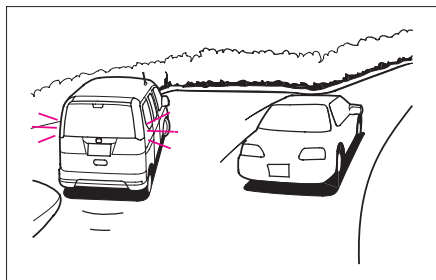
Honda販売店およびJAFの電話番号については別冊の「サービス網一覧」をご覧ください。

事故が起きたとき

あわてずに次の処置をとります。

1 事故の続発を防ぐ。

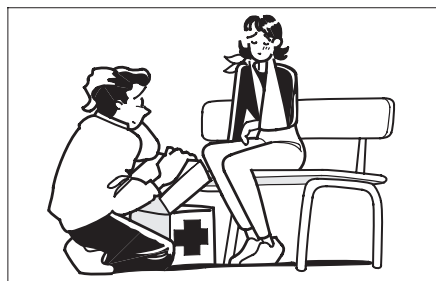
他の交通の妨げにならないような安全な場所(路肩、あき地など)に車を移動させ、エンジンを止めます。



2 負傷者がいる場合は、応急手当を行う。

医師、救急車などが到着するまでの間、可能な応急手当を行います。

この場合、とくに頭部に傷などがあるときは、そのままの姿勢で動かさないようにしますが、後続事故の心配があるときは安全な場所に移動させます。



🎓 知識

- 外傷がなくても医師の診断を受けましょう。後になってから後遺症が出るおそれがあります。



3 警察へ連絡する。

事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し、指示を受けます。



4 相手方、事故の状況をメモする。

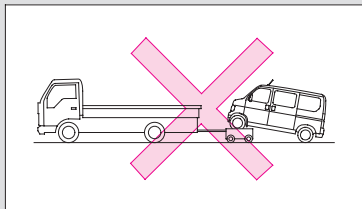
5 ご購入された販売店や保険会社へ連絡する。

けん引

けん引は専門業者に依頼し、できるだけ四輪とも持ち上げて行ってください。

アドバイス

- 車輪が動かないときなど動力伝達装置に異常があると思われるときは、必ず四輪とも持ち上げてけん引してください。
- 4WD車の場合、前輪または後輪を台車に乗せた(車輪が回転できない)状態でのけん引は、絶対に行わないでください。
駆動装置が破損したり、車輪が台車からとび出すおそれがあります。



けん引されるとき (ロープによるけん引)

やむをえず四輪を接地させてロープでけん引を行う場合は、次の方法で行ってください。

① 3速オートマチック車

エンジンルームリッドを外します。
エンジンルームリッドの取り外し

→54ページ

4速オートマチック車

メンテナンスリッドを外します。
メンテナンスリッドの取り外し

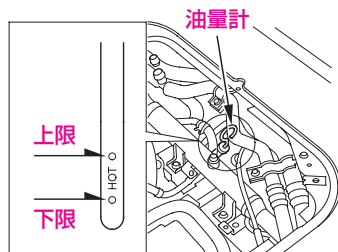
→55ページ



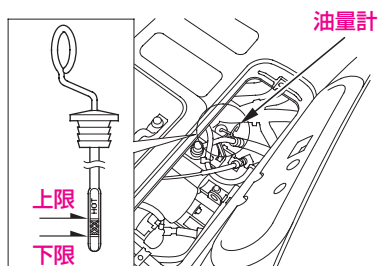
② オートマチック車

トランスミッションオイルの量が目盛り
の上限と下限の間にあるかを点検し
ます。

3速オートマチック車



4速オートマチック車

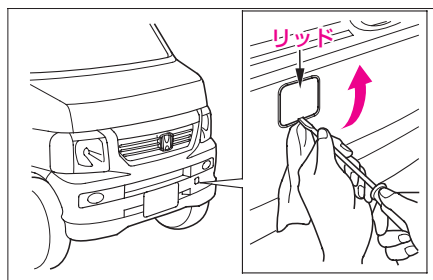


下限より下がっている場合は、四輪と
も持ち上げてけん引してください。

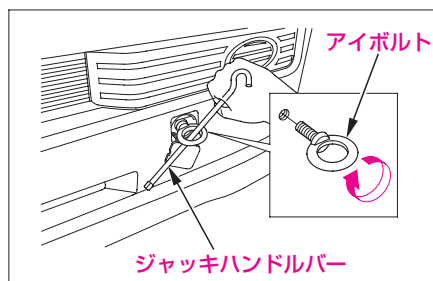
③ 工具袋からアイボルトを取り出します。

格納場所 →210ページ

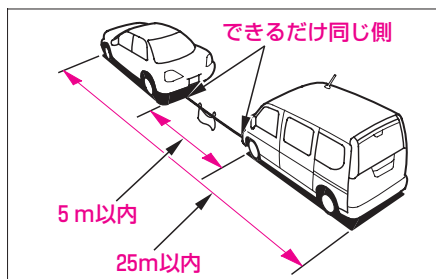
④ マイナスドライバーの先でリッドを開
けます。



⑤ アイボルトがガタつかない程度まで手
で締めつけてから、ジャッキハンドル
バーなどをかけて確実に締めつけます。



- ⑥ロープをアイボルトにかけ、ロープ中央部に白い布(0.3m平方以上)を付けます。



- ⑦エンジンをかけます。

エンジンがかからないときは、エンジンスイッチを“Ⅰ”または“Ⅱ”にします。

- ⑧ **マニュアル車**

チェンジレバーをN(ニュートラル)にします。

- 3速オートマチック車**

セレクトレバーを一度ⅡにしてからⅢ(ニュートラル)にします。

- 4速オートマチック車**

セレクトレバーをⅣ(ニュートラル)にします。

- ⑨パーキングブレーキを解除し、けん引されます。けん引中は、前の車の制動灯に注意してロープをたるませないようにしてください。

- ⑩ **オートマチック車**

速度30km/h以下、走行距離80km以内でけん引してください。



アドバイス

- アイボルトにロープをかけるときは、車体の破損・変形を防ぐために次のことに気をつけてください。
 - ・ アイボルトは確実に取り付けてください。
 - ・ アイボルト以外のところにロープをかけないでください。
 - ・ けん引時にアイボルトに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。
 - ・ けん引ロープはできるだけ伸縮性のあるロープを使用してください。



知識

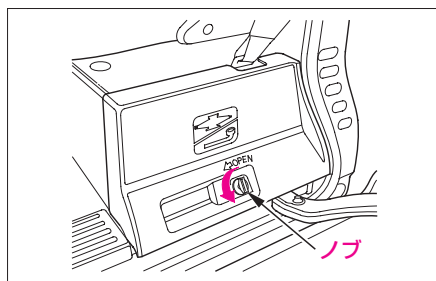
- エンジンが停止している状態でのけん引は、次のことに気をつけてください。
 - ・ ブレーキの倍力装置がはたらかなくなるので、ブレーキの効が悪くなります。
 - ・ パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなるので、ハンドル操作が重くなります。
 - ・ マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを“0”にするとキーが抜けることがあり、ハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり、事故につながるおそれがあります。
- 長い下り坂では、ブレーキ部の温度が上がってブレーキが効かなくなるおそれがあります。レッカー車にけん引してもらってください。
- 後部には、けん引用フックはありません。

パンクしたとき

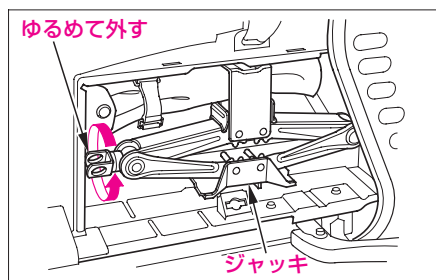
ジャッキの取り扱い

●ジャッキの取り出し方

①ノブを回してカバーを外します。



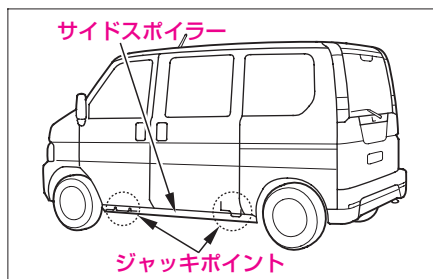
②ジャッキをゆるめて外します。



知 識

- ジャッキを格納するときはドライバーなどで無理に締めないでください。
ジャッキ取り付け部が変形するおそれがあります。

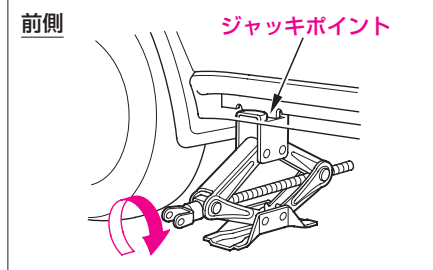
●ジャッキをかける位置

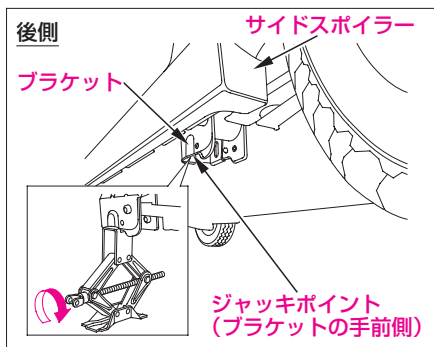


●ジャッキのかけかた

- ①地面が固い平らなところに車を停めます。
- ②パーキングブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。
- ③サイドスポイラーの下からのぞき込んでジャッキポイントを確認します。
- ④ジャッキを地面に置き、手で回してジャッキの溝がジャッキポイントに入るまで上げます。

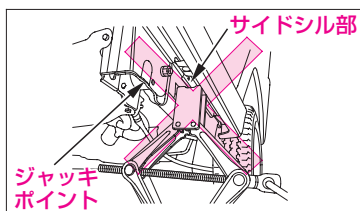
前側



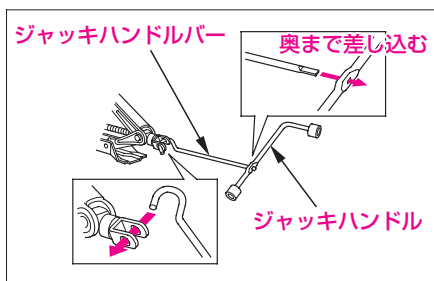


知 識

- 後側のジャッキポイントは、サイドシル部ではありません。



- ⑤ ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを使って、タイヤと地面が少し離れるまで車体を上げます。



⚠ 警告

- 車がジャッキだけで支えられているときは、不安定な状態にあるので車の下に入ったりしないでください。
万ー、ジャッキが外れると、思わぬ事故につながります。

⚠ 注意

- ジャッキを使うときは安全のため、次のことを必ず守ってください。
 - ・ エンジンをかけたままにしない。
 - ・ 地面が固い平らなところ以外では使用しない。
 - ・ 指定された位置以外にかけない。
 - ・ 人や荷物をのせたままにしない。
 - ・ ジャッキの上や下に物をいれたりしない。
 - ・ タイヤ交換やタイヤチェーン着脱以外には使用しない。

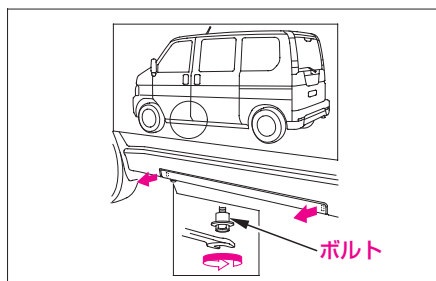
知 識

- この車に搭載されているジャッキをお使いください。他のジャッキでは支えられる重量(呼荷重)が不足したり、形状が合わないことがあります。

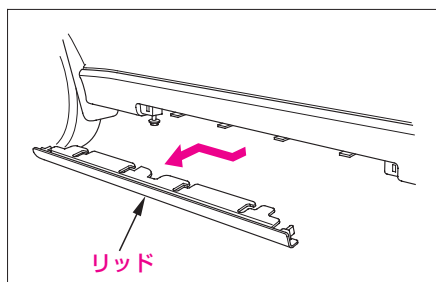
スペアタイヤ

●外しかた

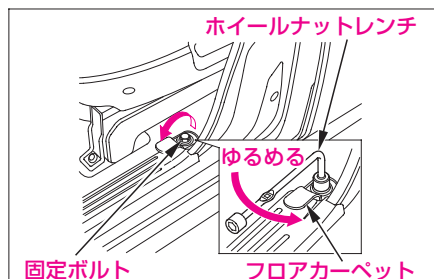
- ①スパナでボルトをゆるめ、リッドの両端を引いてクリップを外します。



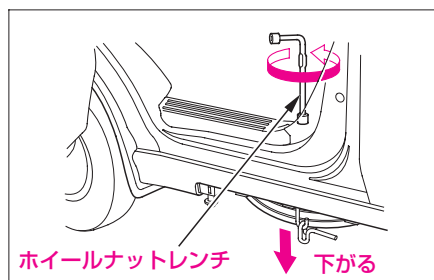
- ②リッドをずらして外します。



- ③フロアカーペットをめくりホイールナットレンチで固定ボルトを少しゆるめます。



- ④ホイールナットレンチをかけ換え、固定ボルトをゆるめます。

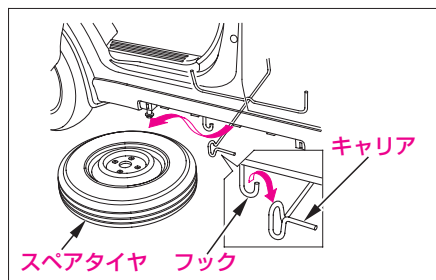


知識

- シートを中間の位置にすると固定ボルトが回しやすくなります。



- ⑤フックからキャリアを外し、スペアタイヤを引き出します。



⚠ 注意

- 固定ボルトをゆるめすぎないでください。フックが固定ボルトから外れ、キャリアが落下し、足などにけがをするおそれがあります。

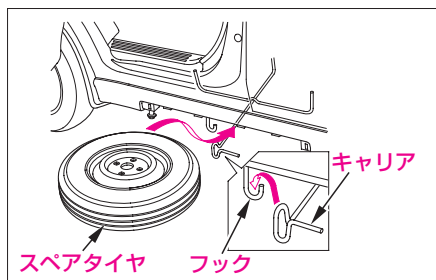
🎓 知識

● アルミホイール装備車

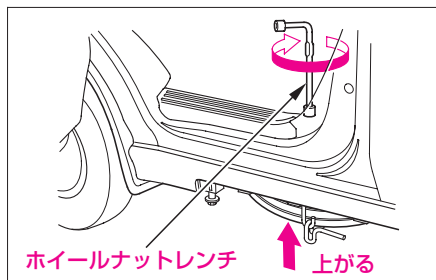
スペアタイヤ(スチールホイールを装着)を装着したときは、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。

●収納のしかた

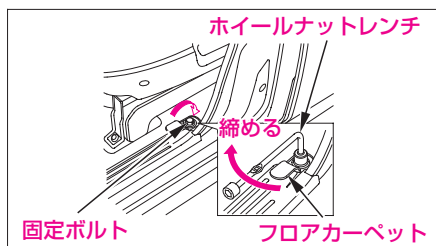
- ①タイヤを収納するときは、ホイール表面を上にして取り付けて、図のようにフックにキャリアをかけます。



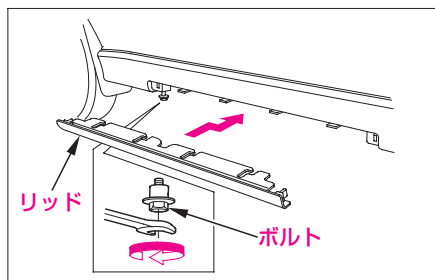
- ②ホイールナットレンチで固定ボルトを締めます。



- ③ホイールナットレンチをかけ換えて、ゆるみ、ガタがないように固定ボルトを十分に締めつけます。
フロアカーペットを戻します。



- ④リッドを元に戻し、ボルトを締めつけます。



⚠注意

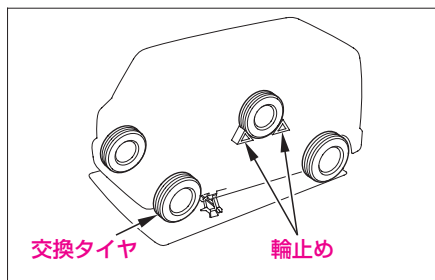
- タイヤを取り付けた後は、確実に固定されていることを確認してください。
ゆるみ等により取り付けが不安定な状態になっていると、走行中に外れるなどして思わぬ事故の原因となるおそれがあります。
- 取り外しや収納するときに、手などをはさまないように十分注意してください。



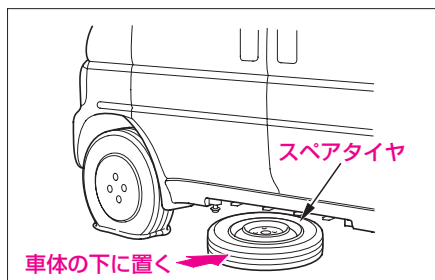
タイヤ交換

1 はじめに

- ①車を地面が固く平らで安全な場所に停め、工具類、スペアタイヤを取り出します。
- ②パーキングブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。

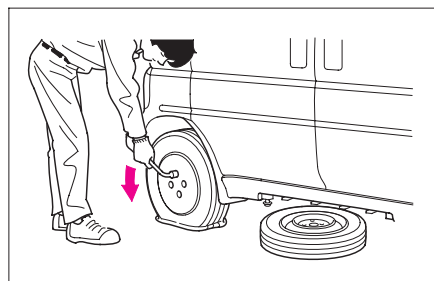


- ③スペアタイヤは交換するタイヤ近くの車体の下にホイール表面を上にして置きます。

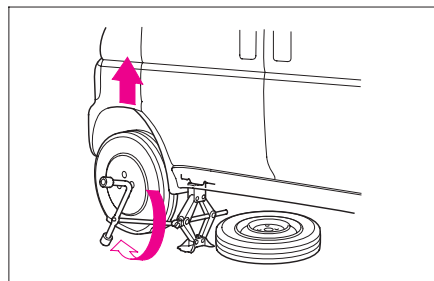


2 ジャッキで車体を上げる

- ①ジャッキをセットします。
ジャッキをかける位置 →220ページ
- ②ホイールナットをホイールナットレンチで少し(約1回転)ゆるめます。

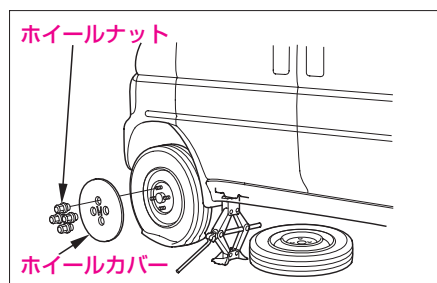


- ③タイヤと地面が少し離れるまでジャッキで車体を上げます。



3 タイヤを交換する

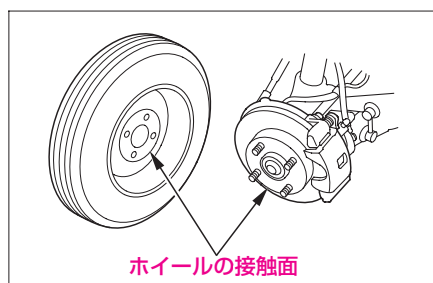
- ① ホイールナット、ホイールカバー(タイプ別装備)を外し、タイヤを外します。



知 識

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。
下にして置くと、ホイールに傷がつくおそれがあります。

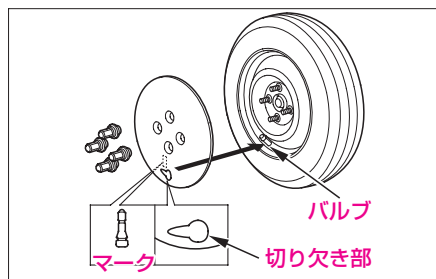
- ② スペアタイヤのホイールの接触面のよごれをふき取ります。



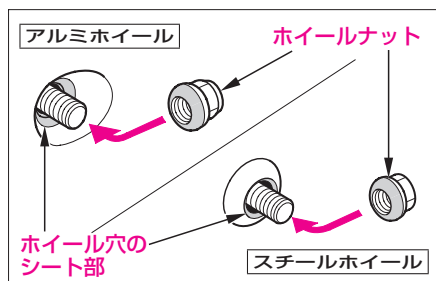


③スペアタイヤを取り付けます。

ホイールカバー(タイプ別装備)を取り付けるときは、ホイールカバーの切り欠き部(マーク部)がバルブの位置になるようにします。



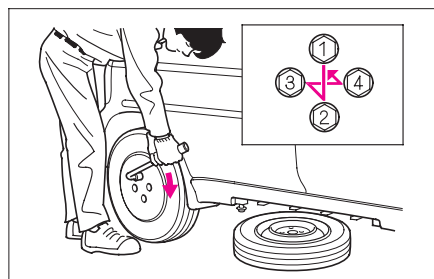
④ホイールナットがホイール穴のシート部に軽く当たり、ホイールがガタつかない程度までホイールナットを締めます。



⑤ジャッキをおろし、図の番号順に2～3度にわたり、ホイールナットをしっかり締め付けます。

ホイールナット締め付けトルク:

98－118 N・m (10.0－12.0 kgf・m)





アドバイス

- 4WD車は、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。
サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用すると動力伝達装置に悪影響をあたえます。



知 識

- この車専用のホイールをお使いください。
専用以外のホイールを使うと走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換に際しては、必ずHonda販売店にご相談ください。
- レンチを足で踏んだり、パイプなどを使って必要以上に締め付けしないでください。
トルクがかかりすぎる場合があります。
- パンク修理、タイヤの摩耗、リムの変形などでホイールバランスが狂うことがあります。車体の振動などの異常を感じたらHonda販売店で点検を受けてください。
- タイヤ交換は安全のため、地面の固い平らな場所で、他の交通に十分注意して行ってください。必要に応じて停止表示板、非常点滅表示灯を使ってください。
- 必ず同一指定サイズ、同一種類のタイヤを使ってください。指定サイズ以外のタイヤや種類の異なるタイヤを使うと安全性を損ないます。
- スペアタイヤの空気圧は使うときに調整してください。
やむをえず、未調整のまま走る場合は、速度を控えめにしてください。

タイヤの空気圧 →294ページ

● ホイールカバー装備車

ホイールカバーは、ホイールナットを外さないと取り外しができません。
ドライバーなどで無理にこじらないでください。

● アルミホイール装備車

パンク修理などでホイールを取り付け直したときには、念のため1,000km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。

5. 万ーのとき

バンクしたとき



オーバーヒートしたとき

次のようなときは、オーバーヒートです。

- ・ 高水温警告灯が点灯したり、エンジンの力が急に落ちる。
- ・ フロントコンパートメントやエンジンルームから蒸気が立ちのぼっている。

⚠ 警告

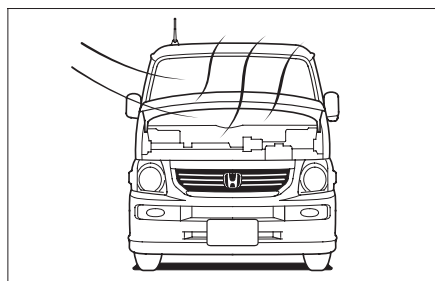
- フロントコンパートメントやエンジンルームから蒸気が出ているときは、ボンネットを開けないでください。

蒸気や熱湯がふき出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

- エンジンが十分に冷え、水温が下がるまでラジエーターキャップを外さないでください。
冷却水には圧力がかかっているため、蒸気や熱湯がふき出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

● 処置のしかた

- ① 車を安全な場所に停めます。
- ② エンジンをかけたままボンネットを開けて風通しをよくします。

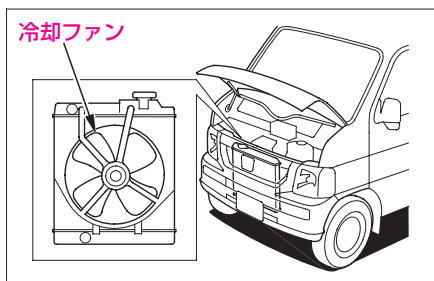


🎓 知識

- フロントコンパートメントやエンジンルームから蒸気が出ているときは、エンジンを止めます。蒸気が出なくなってからボンネットを開け、エンジンをかけてください。



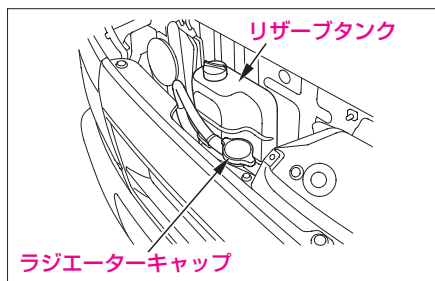
- ③冷却ファンが作動していることを確認し、高水温警告灯が消灯してからエンジンを止めます。
冷却ファンが作動していないときはすぐにエンジンを止めてください。



アドバイス

- 冷却ファンが作動していない場合は、故障が考えられますので、Honda販売店へご連絡ください。

- ④エンジンが冷えてから、冷却水量、ホースなどからの水漏れを点検します。



- ⑤冷却水量が不足していたらラジエーターとリザーブタンクに冷却水を補給します。冷却水がない場合は、応急的に水を補給します。

アドバイス

- エンジンが熱いときに冷却水を入れないでください。急に冷たい冷却水を入れると、エンジンが損傷するおそれがあります。冷却水はエンジンが冷えてからゆっくりと入れてください。

- ⑥なるべく早くHonda販売店で点検を受けてください。

電気系統が異常のとき

バッテリーあがりのとき

次のようなときは、バッテリーあがりです。

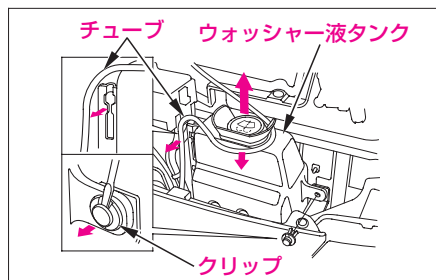
- ・ スターターが回らないか、回っても回転が弱くエンジンがかからない。
- ・ ライトがいつもより極端に暗かったり、ホーンの音が小さい。

●処置のしかた

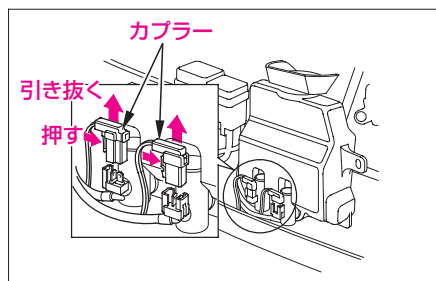
安全のため、押しがけはしないでください。

救援車のバッテリーを利用してエンジンを始動させます。

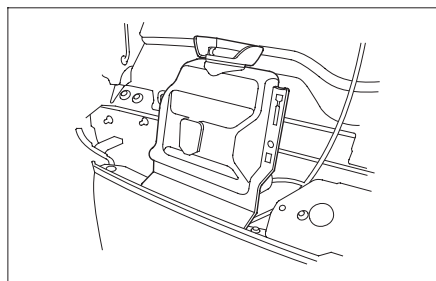
- ①チューブとクリップを外してウォッシャー液タンクを取り外します。



- ②ウォッシャー液タンクのカプラーを外します。



- ③ウォッシャー液タンクをよせます。





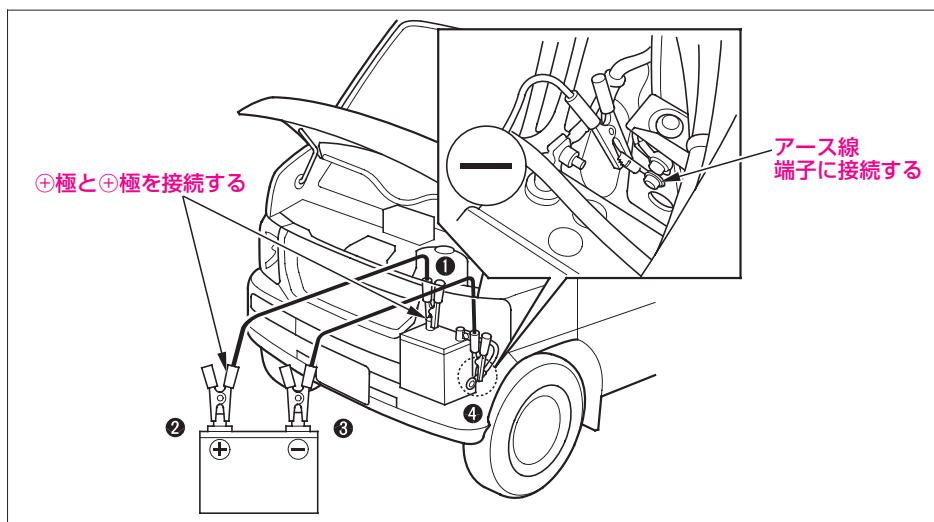
④ ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

1 本目

- ① 自車のバッテリーの⊕端子
- ② 救援車のバッテリーの⊕端子

2 本目

- ③ 救援車のバッテリーの⊖端子
- ④ 自車のアース線端子

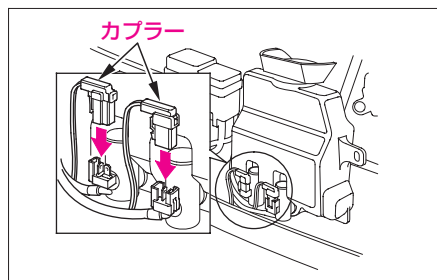


⑤ 救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにします。

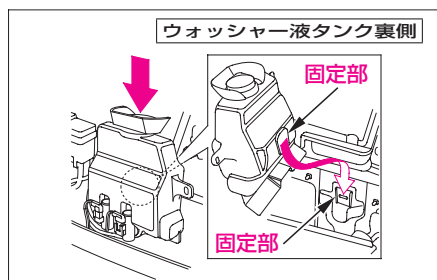
⑥ 自車のエンジンをかけます。

⑦ ブースターケーブルをつないだときと逆の順番で外します。

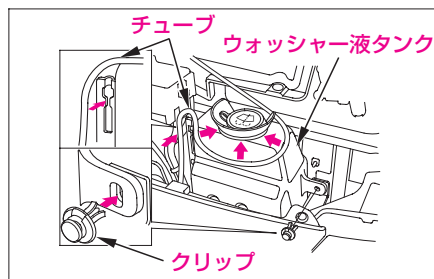
- ⑧ウォッシャー液タンクのカプラーを取り付けます。



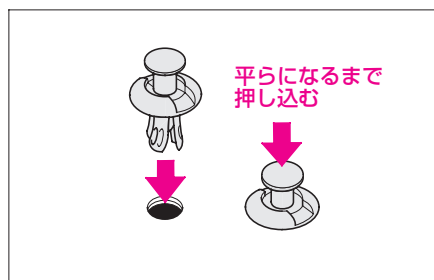
- ⑨車体の固定部に、ウォッシャー液タンクの固定部を上から差し込むようにして取り付けます。



- ⑩チューブとクリップを取り付けます。



ウォッシャー液タンクを固定するときは、クリップを中央部のピンを起こしたままウォッシャー液タンクに差し込み、ピンを平らになるまで押し込みます。



- ⑪Honda販売店や最寄りのガソリンスタンドなどで点検を受けてください。



⚠ 警告

- バッテリーを取り扱うときは次のことを必ず守ってください。
バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
 - ・ バッテリー液が不足しているときは、エンジンの始動または充電を行わないでください。
 - ・ 火気を近づけないでください。
 - ・ 帯電した身体でバッテリーに触れないでください。
 - ・ 換気に十分注意し、換気の悪い場所では充電を行わないでください。
 - ・ バッテリーを充電するときは、すべてのキャップを外してください。
- ブースターケーブルをつなぐときは次のことを必ず守ってください。火花が出て、バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
 - ・ 自車のバッテリーの⊖端子に直接ケーブルをつながないでください。
 - ・ ⊕端子と⊖端子を間違えないでください。
 - ・ ケーブルの先端どうしを接触させないでください。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮ふに付くとその部分が侵されますので十分注意してください。
万一、付着したときはすぐに多量の水で少なくとも5分間以上洗浄し、飲み込んだときはすぐに多量の飲料水を飲んでください。応急処置後は、専門医の診察を受けてください。

🎓 知識

- バッテリー液が不足しているときは、使用しないでください。
バッテリー内部の劣化が進むおそれがあります。
- ブースターケーブルのクリップは、エンジン始動時などの振動で外れたりしないように確実に固定してください。
また、ブースターケーブルが冷却ファンに巻き込まれないように十分気をつけてください。
- 救援車には、12Vのバッテリーを装着している車を使用してください。
- バッテリー交換などでバッテリーケーブルを取り外すと、ラジオにセットされた周波数が消去されます。また、バッテリーを取り付けた後は運転席パワーウィンドーのオート作動ができなくなります。その場合は、オート作動の機能を復帰させてください。

パワーウィンドーはさみ込み防止機構 →51ページ

ライト類が点灯しないとき、 電気装置が作動しないとき

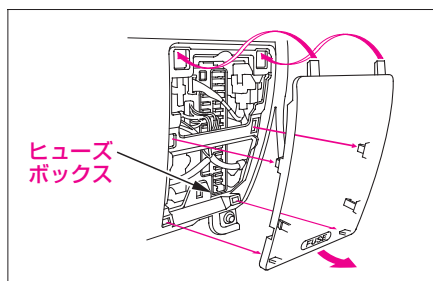
バッテリーがあがっていないときは、ヒューズ切れや電球(バルブ)切れが考えられます。

- ①エンジンスイッチを“0”の位置にします。
- ②ヒューズが切れていないかを点検します。
 - ・故障の状況から点検すべきヒューズをヒューズボックスの表示で確認し、点検します。
- ③必要に応じて、ヒューズや電球を交換します。

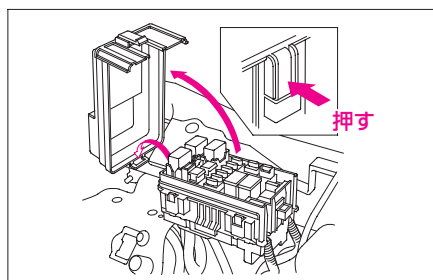
●ヒューズの点検、交換

ヒューズボックスの位置

- ・運転席足元

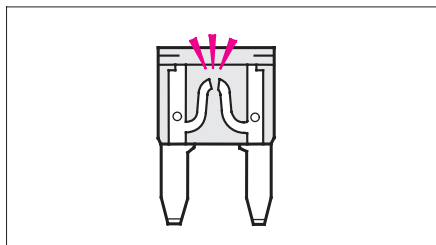


- ・フロントコンパートメント内





ヒューズが切れているとき



ヒューズボックスの表示に従い規定容量のヒューズに交換します。



アドバイス

- 規定容量のヒューズ以外の物は絶対に使わないでください。配線コードなどを焼損させる原因となります。



知 識

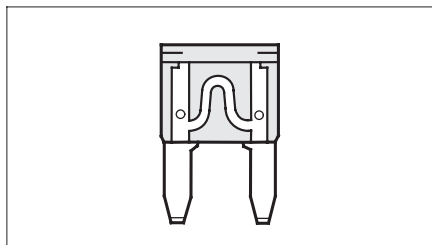
- 交換しても、またヒューズが切れる場合は、電気系統の異常が考えられますので、Honda販売店で点検を受けてください。
- オーディオのヒューズが切れると、ラジオにセットされた周波数が消去されます。
- 運転席パワーウィンドーのヒューズが切れると、ヒューズを交換した後も運転席パワーウィンドーのオート作動ができなくなります。その場合は、オート作動の機能を復帰させてください。

パワーウィンドーはさみ込み

防止機構

→51ページ

ヒューズが切れていないとき



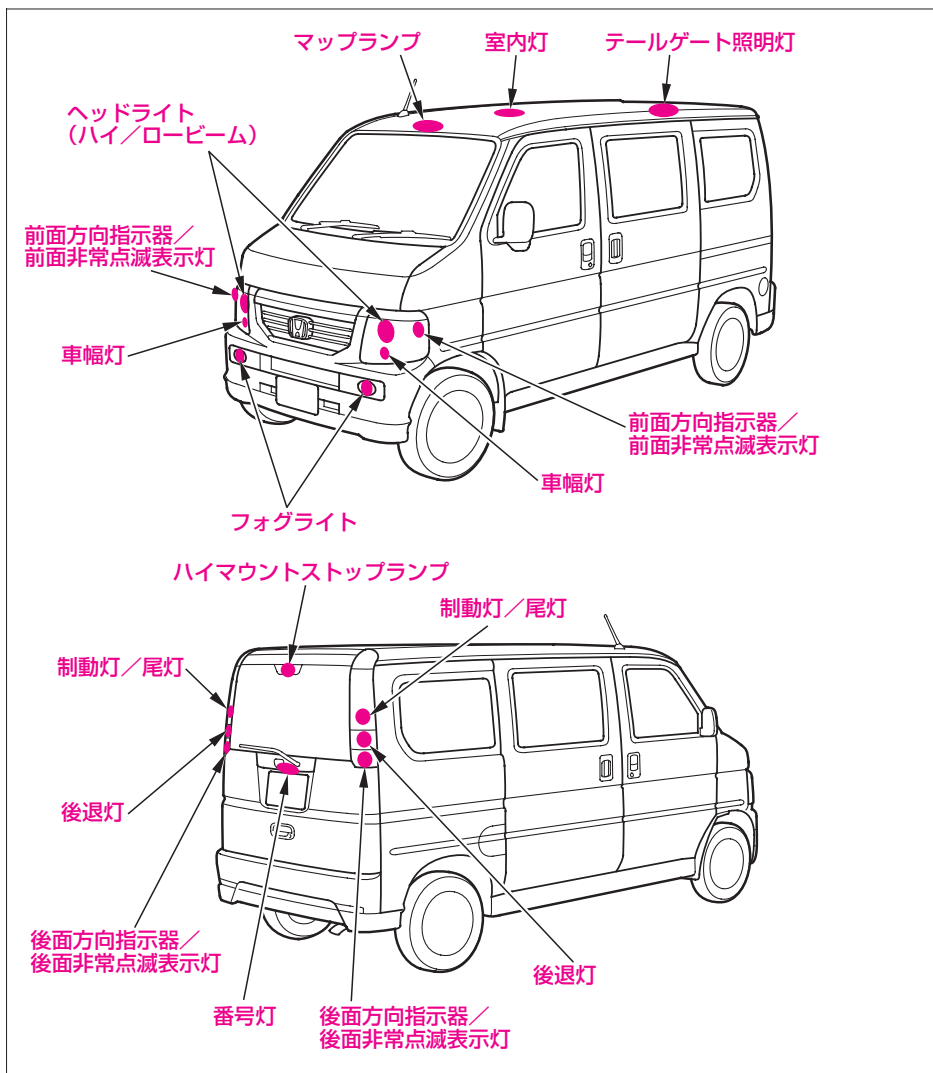
- ライト類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。電球を点検し、切れているときは交換してください。

知 識

- 電球が切れていない場合は、電気系統の異常が考えられますので、Honda販売店で点検を受けてください。
- ライト類以外の電気装置が作動しないときは、電気系統の異常が考えられますので、Honda販売店で点検を受けてください。

●電球(バルブ)の交換

ヒューズが切れていないのにライト類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。
電球を点検し、切れているときは交換してください。





知 識

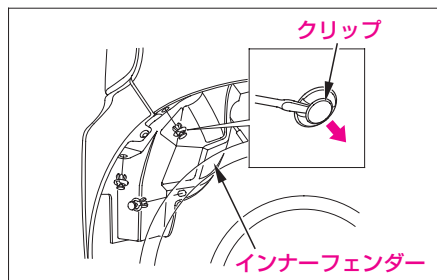
- ランプ本体やレンズを外すときは、ボディに傷を付けないように注意してください。
- 電球を交換するときはワット(W)数の違う物を使わないでください。
電球のワット数 → 290ページ
- ハロゲンバルブはガラス球内部の圧力が高いため、落したり、物をぶつけたり、傷をつけたりすると破損してガラスがとび散ることがあります。
取り扱いには十分に注意してください。
また、ハロゲンバルブの電球の表面に手などが、触れないようにしてください。
使用時電球が高温になるため、油などが付着すると寿命が短くなります。触れた場合は、中性洗剤の薄い水溶液を柔らかい布に含ませてよくふき取ってください。
- レンズを取り付けるときは、ネジを締めすぎないようにしてください。レンズを破損するおそれがあります。
- ヘッドライト、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が一時的に曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時などに窓ガラスが曇るのと同様の現象であり、機能上の問題はありません。
ただし、レンズ内面に大粒の水 droplet がついているときやランプ内に水がたまっているときは、Honda販売店にご相談ください。

ヘッドライト

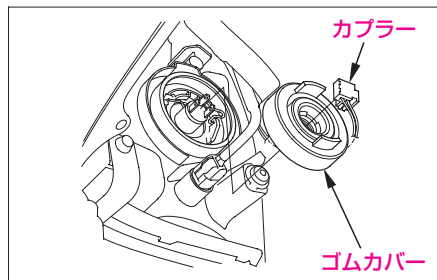
ハロゲンバルブを使用していますので、取り扱いに注意してください。

ハロゲンバルブについて →239ページ

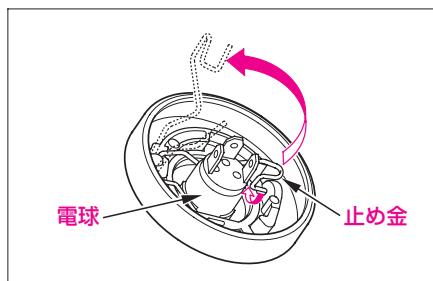
- ①交換する側にハンドルをいっぱいに切ります。
- ②クリップを外してインナーフェンダーをめくります。



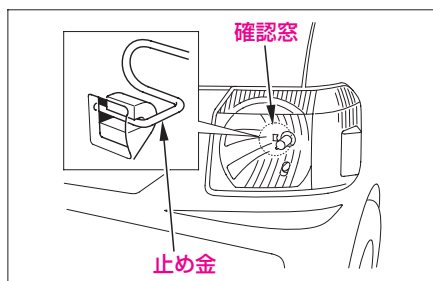
- ③カプラーを抜き取ります。
- ④ゴムカバーを外します。



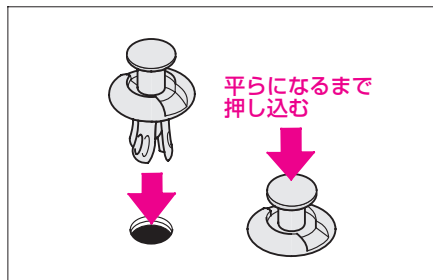
- ⑤止め金を外し、電球を外します。



止め金の状態はヘッドライト部の確認窓より確認できます。



インナーフェンダーを固定するときは、クリップの中央部のピンを起こしたままインナーフェンダーに差し込み、ピンを平らになるまで押し込みます。





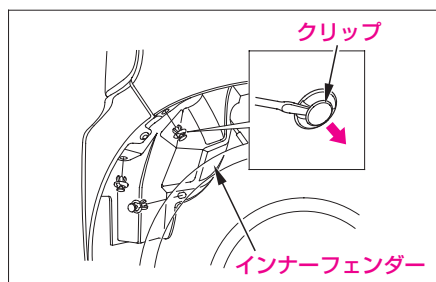
フォグライト

【注文装備】

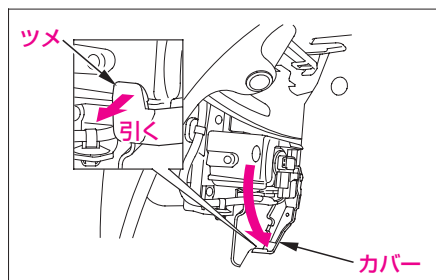
ハロゲンバルブを使用していますので、取り扱いに注意してください。

ハロゲンバルブについて →239ページ

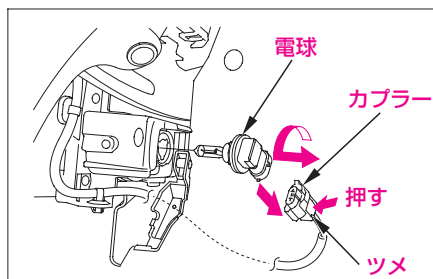
- ①交換する側にハンドルをいっぱいに切ります。
- ②クリップを外してインナーフェンダーをめくります。



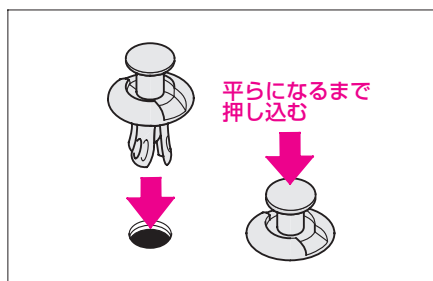
- ③カバーのツメを引いて、カバーを下げます。



- ④カプラーのツメを押しながらカプラーを外します。
- ⑤電球を左へ回して抜き取ります。

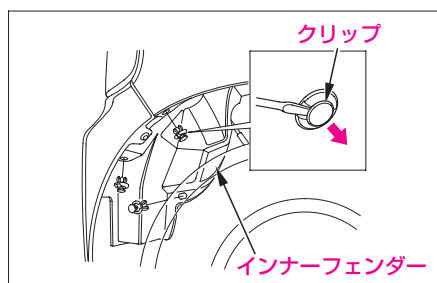


インナーフェンダーを固定するときは、クリップの中央部のピンを起こしたままインナーフェンダーに差し込み、ピンを平らになるまで押し込みます。

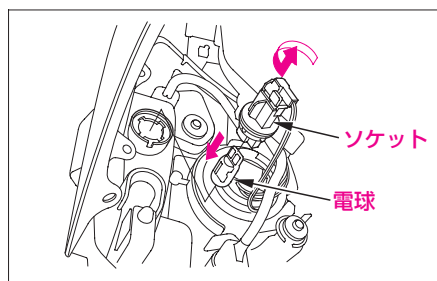


前面方向指示器／前面非常点滅表示灯

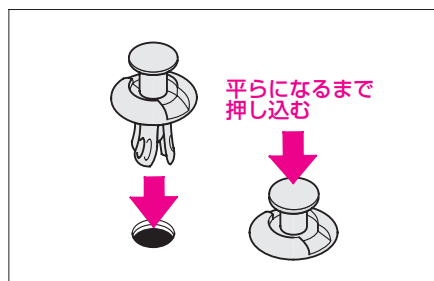
- ①交換する側にハンドルをいっぱいに切ります。
- ②クリップを外してインナーフェンダーをめくります。



- ③ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。



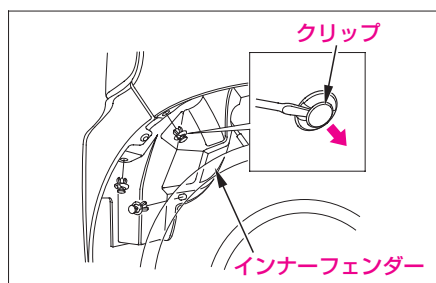
インナーフェンダーを固定するときは、クリップの中央部のピンを起こしたままインナーフェンダーに差し込み、ピンを平らになるまで押し込みます。



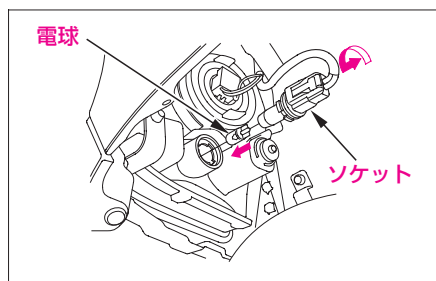


車幅灯

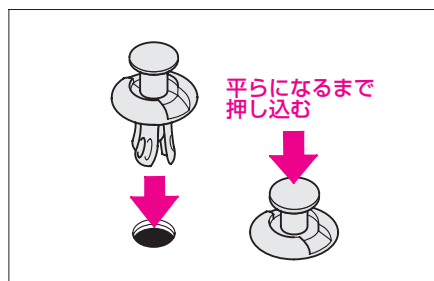
- ①交換する側にハンドルをいっぱいに切ります。
- ②クリップを外してインナーフェンダーをめくります。



- ③ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

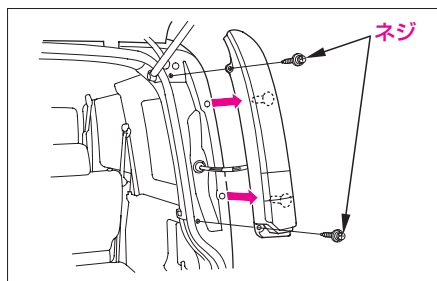


インナーフェンダーを固定するときは、クリップの中央部のピンを起こしたままインナーフェンダーに差し込み、ピンを平らになるまで押し込みます。

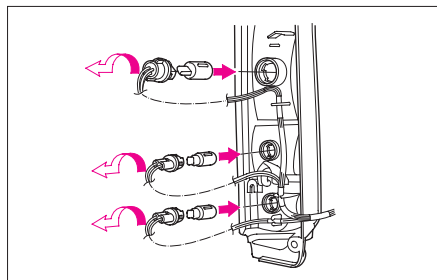


制動灯／尾灯、後面方向指示器／後面非常点滅表示灯、後退灯

①ネジを外し、ランプ本体を引いて外します。

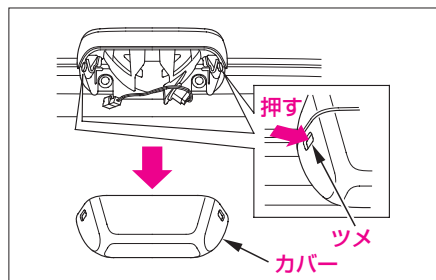


②ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

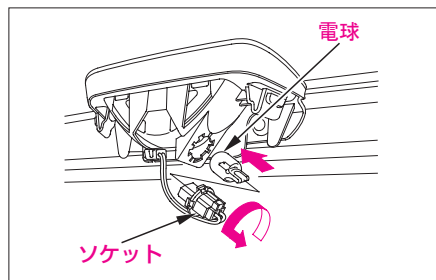


ハイマウントストップランプ

①カバーのツメを押しながらカバーを外します。



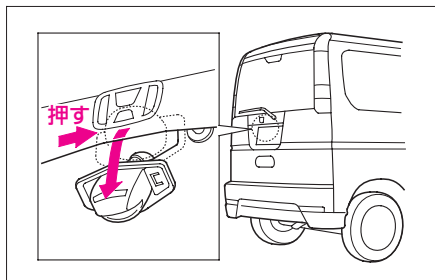
②ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。





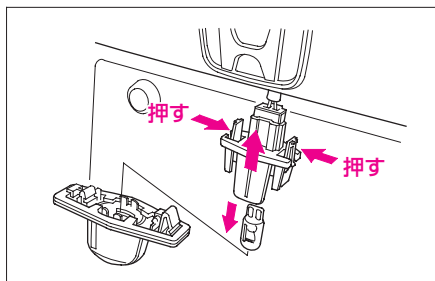
番号灯

①側面を押し、ランプ本体を外します。



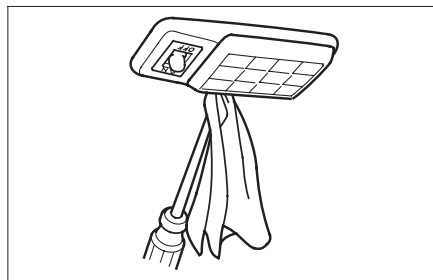
②ツメを押してレンズを外します。

③電球を抜き取ります。

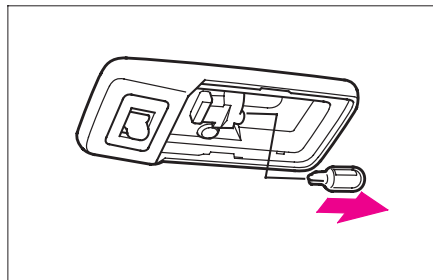


室内灯

①レンズを外します。

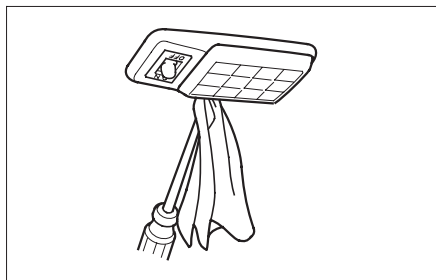


②電球を抜き取ります。

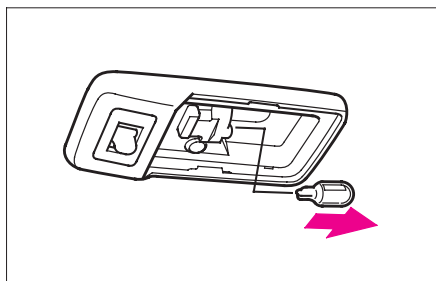


テールゲート照明灯

①レンズを外します。

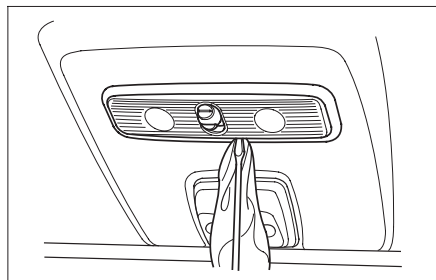


②電球を抜き取ります。

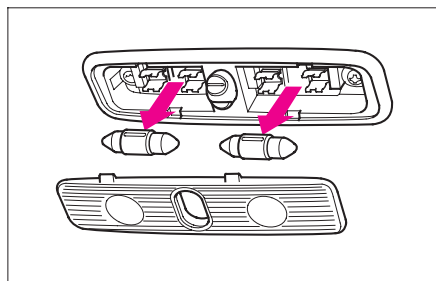


マップランプ

①レンズを外します。



②電球を抜き取ります。





キーレスエントリー用発信器 の電池が消耗したとき

電池交換の際は、破損などのおそれがあるため、Honda販売店での変換をおすすめします。

⚠ 注意

- 電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意してください。
飲み込むと、傷害を受けるおそれがあります。

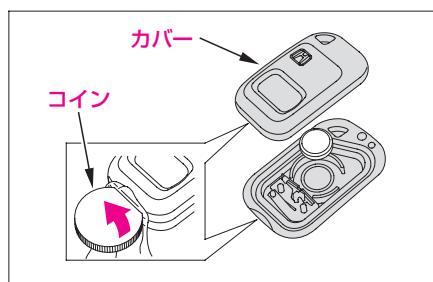
🎓 知識

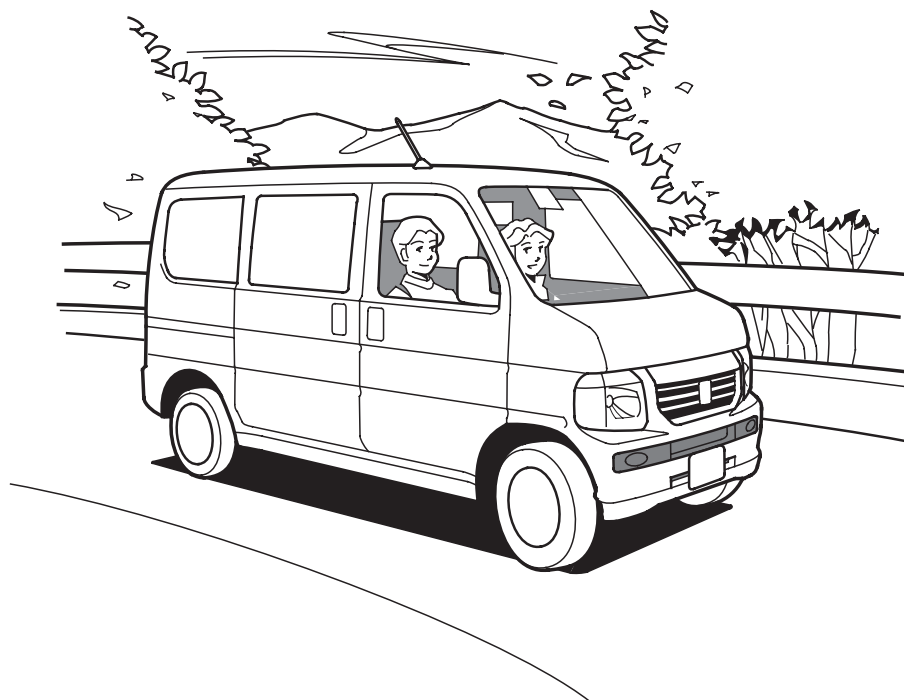
- 液漏れなどを防ぐため、電池の⊕極と⊖極は正しく取り付けてください。
- 電池交換の際は、カバーを確実に取り付けてください。確実に取り付けられていないと、耐水性能の低下や故障の原因となります。
- 電池はHonda販売店または時計店、カメラ店などでお求めください。

●キーレスエントリー用発信器の電池交換

使用電池 …………… ボタン電池CR1616

カバーに傷を付けないようにコインに布を巻いてカバーを外し、電池を交換します。





車の手入れ

●点検・整備について……250

●簡単な整備

タイヤについて……………252

エアコンの冷媒

(ガス)量点検……………255

ワイパーブレードラバー

の交換……………256

●日常の手入れ

外装の手入れ……………259

内装の手入れ……………262

アルミホイールについて……264

●車にあった部品の使用…266

6

点検・整備について

車は走行するにしたいが、また時間が経過するとともに部品の劣化や摩耗などが進んでいき、適切な点検整備を行わないと、安全・快適に乗っていただけなくなるばかりか大気汚染や騒音の増加などを引き起こすことがあります。

このようなことから点検整備が必要であり、ドライバー（運転者）は点検整備を実施することが法律でも義務づけられています。



詳しくは、別冊のメンテナンスノートに記載してありますので、よくお読みになり必ず点検整備を行ってください。

●点検整備の種類

日常点検

日常の車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。

点検時期の目安としては長距離走行前や洗車時、給油時などに実施します。





法定定期点検

年間走行距離が10,000km程度の標準的な使用を前提に、12か月および24か月毎に実施する点検です。法律で定められているものと、Hondaが指定するものがあります。



その他

新車時の無料点検や定期交換、厳しい使われかたをしたときの点検整備があります。



簡単な整備

「簡単な整備」を実施したときは、メンテナンスノート点検整備記録簿のメンテナンスレコードに記録してください。

タイヤについて

タイヤの異常摩耗、亀裂、損傷および指定外の空気圧は、乗り心地、操縦性、タイヤの寿命を損ないます。また、摩耗したタイヤは雨天時の高速走行で通常よりもハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

- 安全のため、こまめに点検を行ってください。

また、必ず同一指定サイズ、同一種類のタイヤをお使いください。

⚠ 警告

- 次のようなタイヤは使わないでください。
コントロールを失うことがあり、思わぬ事故につながります。
- 摩耗限度を超えたタイヤ。
- 指定空気圧に調整されていないタイヤ。

タイヤの空気圧

→294ページ

⚠ 注意

- タイヤの空気圧を調整するときは、規定圧力を守ってください。
空気を入れ過ぎると、タイヤが破裂しけがをするおそれがあります。



- 4WD車は、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用すると動力伝達装置に悪影響を与えます。

摩耗限界表示 (ウェアインジケーター)

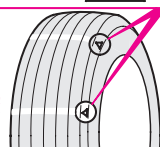
ウェアインジケーターが表れたらタイヤを交換してください。

- ・ウェアインジケーターは、タイヤの接地面にあり、他の部分より溝が1.6mmだけ浅くなっています。

ウェアインジケーターの位置を示すマークの代表例です



ウェアインジケーターが表われたとき(タイヤの溝がなくなったとき)は交換



●位置交換 (タイヤローテーション)

5,000kmごとにタイヤの位置を交換します。

- 同じ位置で長く走ると偏摩耗し、タイヤの寿命を縮めるだけでなく走行性、制動力にまで悪影響を与えます。

- 前輪と後輪でタイヤの空気圧が異なるので、位置交換後は必ず空気圧を調整してください。

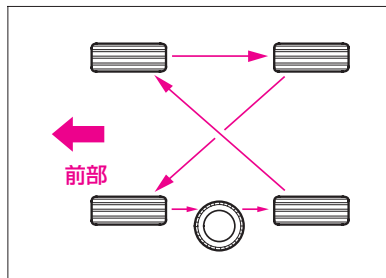
タイヤの空気圧 →294ページ

● **アルミホイール装備車**

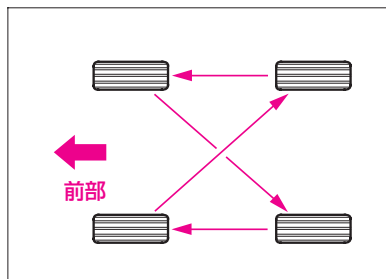
スペアタイヤ(スチールホイールを装着)は、位置交換に使わないでください。

スチールホイール装備車

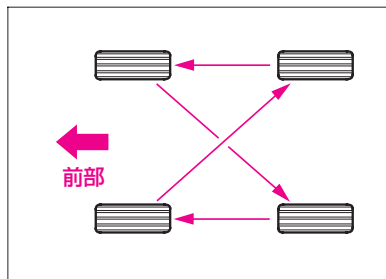
- ・ スペアタイヤを使う場合



- ・ スペアタイヤを使わない場合



アルミホイール装備車





エアコンの冷媒 (ガス)量点検

エアコンの冷媒(ガス)が不足していると、冷房性能が低下します。エンジン回転を1,500rpmくらいに上げて、2～3分間冷房した後、点検窓で点検します。

エアコン冷媒量点検窓の位置

→286ページ



：冷媒量適正

ほとんど透明です。
エンジン回転を上げ
下げすると気泡が流
れることがあります。



：冷媒量不足

冷媒(ガス)量が不足している場合は、
Honda販売店で点検、補充を受け
てください。

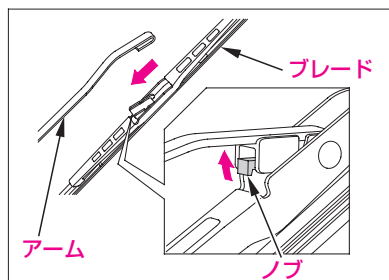
ワイパー ブレードラバー の交換

ラバーが傷んでいると、拭きむらがあるばかりかウィンドーガラスを傷つけることがあります。

ワイパーブレードを外したときはアームを倒さないでください。また、アームを起こしているときはワイパーを作動させないでください。ガラスやボンネットに傷がつくことがあります。

① フロントワイパー

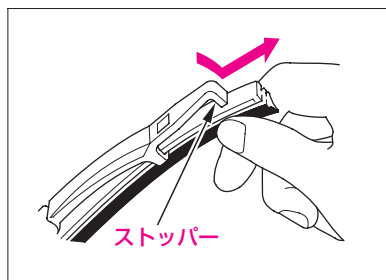
ノブを押し上げながら、アームからブレードをスライドさせて外します。



リヤワイパー

ブレードをガラスから離して固定します。

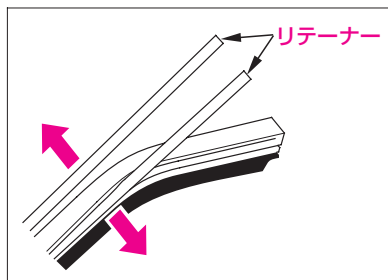
② ラバーの先端部をブレードのストッパーから外れるまで引き、そのままラバーをブレードから引き抜きます。



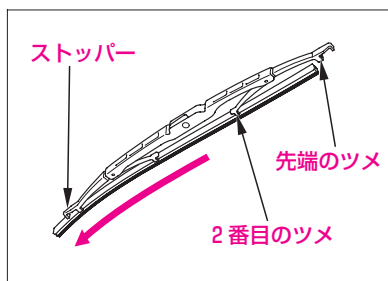
→274ページ



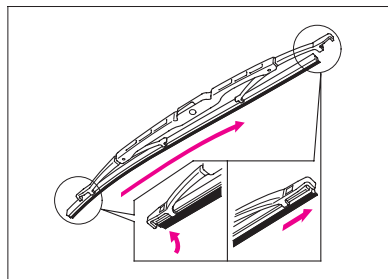
- ③引き抜いたラバーからリテーナーを外し、新しいラバーに取り付けます。



- ④ラバーをブレードの2番目のツメからブレードに沿って差し込み、ラバーをブレードのストッパーから約2 cm引き出します。



- ⑤ブレードの先端のツメにラバーを通します。
⑥ブレードの先端のストッパーにラバーを戻して固定します。



⑦ **フロントワイパー**

ブレードをアームに取り付けます。

リヤワイパー

ブレードを元の位置に戻します。

→274ページ

日常の手入れ

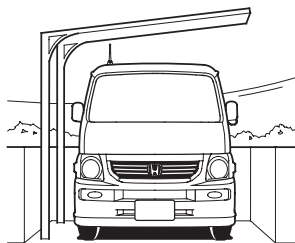
走行後は

- 塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としましょう。
- とび石などによる塗装面の傷は錆の原因となります。見つけたら早めに補修してください。



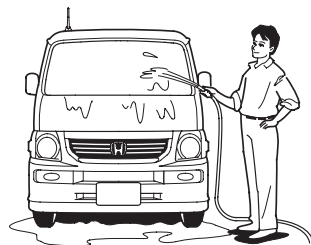
保管、駐車は

- 風通しのよい車庫や、屋根のある場所をおすすめします。



洗車を忘れずに

- 少なくとも月に一度は洗車しましょう。
- 次の場合は、必ず洗車してください。
 - ・ 凍結防止剤を散布した道路を走行したとき、海岸地帯を走行したとき。
錆の原因となるので車体の下回り、フェンダーの内側を念入りに洗ってください。
 - ・ コールタール、ばい煙、鳥のふん、虫、樹液などがついたとき。
化学変化で塗装面にむらができるので、中性洗剤で洗ってから水で完全に流し、必要に応じてポリシングワックス(ワックス乳液)で磨いてください。
ポリシングワックスは、**Honda**純正ケミカル用品をお使いください。



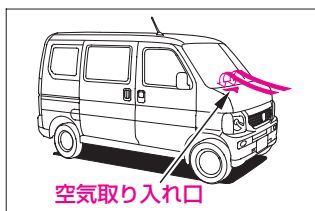


外装の手入れ

●洗車のしかた

- 十分に水をかけながら、下回り、足まわりの汚れを落とします。
- 塗装面は屋根から順に下のほうへ水をかけながら、スポンジかセーム皮のような柔らかい物で洗います。
- 汚れがひどいところは中性洗剤で洗い、さらに水で完全に洗い落とします。
- 水が乾かないうちに拭き取ります。

- 故意に空気取り入れ口やフロントコンパートメント内に水をかけないでください。故障の原因になります。



自動洗車機を使うとき

- ドアミラーを格納して洗車してください。
- ホイールカバー装備車は、自動洗車機のホイール専用ブラシを使わないでください。十分水をかけスポンジまたはセーム皮のような柔らかい物で洗ってください。

- 自動洗車機を使うと、ブラシの傷がつき光沢が失われたり、劣化を早めることがあります。

高圧洗浄機を使うとき

洗車ノズルと車体の距離を十分に離して洗車してください。

ウィンドーまわりは、特に注意して行ってください。近づけすぎると室内へ水が侵入することがあります。エンジンルームには水をかけないでください。

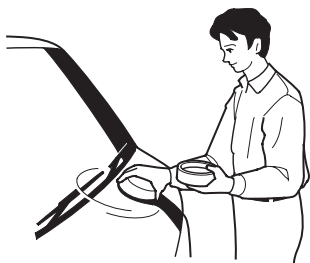
故障の原因になります。

●ワックスをかけるとき

月に一回程度または水をはじかなくなったときに行います。

洗車したあと、日陰か車体表面が体温以下になっているときにワックスをかけます。

- ワックスはHonda純正ケミカル用品をお使いください。



- みがき粉(コンパウンド)入りのワックスは使わないでください。

塗装面に細かい傷が残ることがあります。



●樹脂塗装部品 (バンパーなど)の手入れ

ガソリン、オイル、ラジエーター液、バッテリー液などが付着すると、しみの発生や塗膜がはがれる原因となります。

すみやかに柔らかい布で拭き取ってください。

- 樹脂塗装部品の傷の補修をする場合は、**Honda**販売店にご相談ください。不適當な塗料を使うと塗膜を傷めます。

●ガラスの手入れ

ガラスの油膜を取るときは、ガラスクリーナーをお使いください。

- ・ガラスクリーナーは**Honda**純正ケミカル用品をお使いください。

リヤガラスの清掃をするとき

リヤガラスの内側に電熱線が装着されていますので、これに沿って柔らかい布で拭いてください。

内装の手入れ

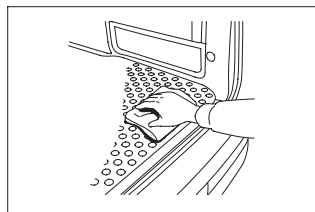
- ① 中性洗剤の水溶液を柔らかい布に軽く含ませて、汚れを落とします。
 - ・ 飲食物などをこぼしたときは、すぐに汚れを落としてください。
- ② 真水を含ませた柔らかい布で、残った洗剤分をきれいに拭き取ります。
- ③ 直射日光を避け、風通しのよい日陰で乾燥させます。



- 室内に水をかけないでください。オーディオやスイッチなどの電装品に水がかかると故障の原因となります。また、センターコンソール内に、**SRSユニット**が装着されていますので、その周囲に水がかかると、**SRSユニット**が正常に作動しなくなるおそれがあります。



- **ワイパブルマット装備車**
ワイパブルマットは他の内装同様、水洗いしないでください。汚れたときは拭きとってください。





●ケミカル類、 液体芳香剤について

取扱方法や成分を確認の上、取り扱いには十分にご注意ください。

⚠ 注意

- オーディオやスイッチなどの電装品にシリコン系のスプレーを塗布しないでください。故障の原因となったり、車両火災につながるおそれがあります。万一、電装品にシリコン系のスプレーを塗布したときは、Honda販売店にご相談ください。

- ケミカル類、液体芳香剤はその成分によっては、樹脂部品、布材の変色、しみ、ひび割れを起こすことがあります。

次のことに注意してください。

- ・ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶剤は使わないでください。

また、ケミカル類には、これらの成分が含まれているおそれがあります。

- ・ケミカル類を使用したあとは、必ず乾いた布で軽く拭き取ってください。

また、使用した布はそのまま樹脂部品、布材の上に長時間放置しないでください。

- ・液体芳香剤はこぼさないように、容器を確実に固定してください。

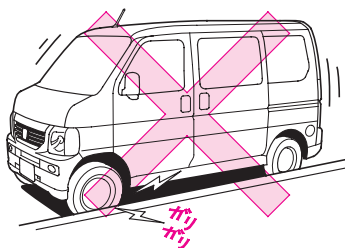
芳香剤の使用にあたっては固形タイプのものをおすすめします。

アルミホイール について

アルミホイール装備車

アルミホイールは一般的なスチールホイールと取り扱いが異なります。

アルミホイールの特性を維持するため、必ず次のことをお守りください。



●取り扱い

- この車専用のホイールをお使いください。
専用以外のホイールを使うと走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換に際しては、必ずHonda販売店にご相談ください。
- パンク修理などでホイールを取り付け直した際には、念のため1,000km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。
- アルミホイールは傷つきやすいので歩道の縁石などに乗り上げたり、すり当てたりすることを避けてください。
- バランスウェイトやバルブはHonda純正のアルミホイール専用品をお使いください。ホイールに傷をつけたり、機能を損なうことがあります。
- タイヤチェーンを装着するときは、正しく装着してください。ホイールに対して片寄ったり、ゆるかったりするとホイールに傷をつけるおそれがありますので注意して装着してください。



●手入れ

- アルミホイールは、塩分や汚れを嫌いますので、海水や道路凍結防止剤などが付いたときには、スポンジに中性洗剤を含ませ、汚れを早めに落としてください。
- ホイールの光沢を維持するため、時々ワックスがけをしてください。
- アルミホイールは傷つきやすいので、砂入り石鹼や硬いブラシを使わないでください。高速洗車機（ホイール専用ブラシ付きの物）によるホイールの洗浄は避けてください。
- スチーム洗浄などで、熱湯がホイールに直接かからないようにしてください。
光沢を失うおそれがあります。

車にあった部品の使用

車の性能、品質を維持するために、Honda車に最も適したHonda純正部品をお使いください。

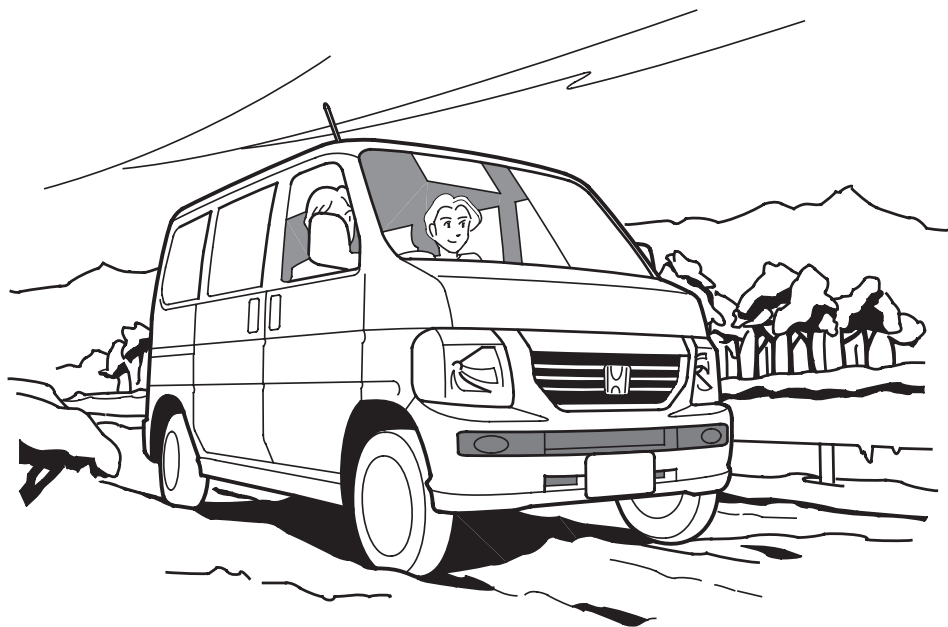
純正部品は厳しい検査を実施し、Honda車に適合するように作られています。お求め、装着に際しては、Honda販売店にご相談ください。

- 純正部品には下のマークがついています。



HONDA
GENUINE PARTS

- Honda純正部品以外の車の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。
適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりすることがあります。
- 車の改造はしないでください。
不正改造は、法律に触れることはもちろん思わぬ事故を起こす場合があります。



車との上手な付き合い方

●積雪・寒冷時の取り扱い

運転するまえ	268
運転するとき	270
駐車するとき	274
冬期の手入れ	276

●こんなときは

雨の日の運転	278
夏場の取り扱い	280

●環境にやさしい

省エネドライブを するために	282
-------------------	-----

積雪・寒冷時の取り扱い

運転するまえ

●車に積もった雪や着氷は 取り除く

屋根に積もった雪

走行時に屋根に積もった雪がすべり落ち視界の妨げになるなど危険です。走行する前に取り除いてください。

- ・氷結している部分を無理に取り除くと塗装などを傷めます。氷が溶けてから取り除いてください。



ガラス面の雪や霜

雪や霜を落として視界を確保してください。

- ・プラスチックの板などを使うとガラスに傷をつけずに落とすことができます。

足まわりの着氷

足まわりなどに氷塊が付着している場合は、部品を損傷しないように十分注意して取り除いてください。



●凍結しているとき

ドアの凍結

無理に開けるとドアまわりのゴムがはがれたりするので、お湯をかけて氷を溶かしてから開けてください。

- ・ドアキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結すると、キーが差し込めなくなります。



お湯をかけたあとは、凍結防止のために水分をよく拭き取ってください。

ワイパーの凍結(ガラス面が着氷、積雪しているとき)

ワイパーブレード(ゴム部)を損傷したり、モーターの故障となりますので、氷や雪を取り除いてから動かしてください。

寒冷地用ワイパーブレードを装着する際は、**Honda**販売店にご相談ください。

寒冷時以外は通常のワイパーブレードに戻してください。

●乗車するとき

靴にこびりついた雪をよく落としてから、乗車してください。

- ・ペダル類を操作するときに滑ったり、室内の湿気が多くなりガラスが曇ったりすることがあります。



運転するまえに

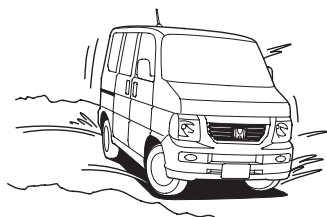
ペダル類やハンドルの動きが円滑かどうか確認してください。

運転するとき

- 雪道や凍結路では、たいへん滑りやすくなっているので、速度を落とし車間距離を十分とって運転しましょう。

また、ハンドルやブレーキの操作は特に慎重にしてください。

- ・ 急加速、急減速、急ブレーキや急ハンドルは横すべりを起こして方向性を失います。



- 冬用タイヤ、タイヤチェーンを装着して走行してください。

チェーンサイズ →272ページ
タイヤチェーンの取り付けかた
→272ページ

- ・ 冬用タイヤを装着するときは、四輪とも同じ種類のものに交換してください。
- ・ 地区条例により違いがありますので、その地区の条例に従ってください。

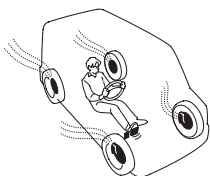
- 冬用タイヤを装着したときには、安全のため高速走行は避けてください。



●ブレーキの効きについて

ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。

その際には、前後の車に十分注意して、ブレーキペダルを軽く踏みながら低速で走行し、ブレーキのしめりを乾かしてください。



- ブレーキの効きが回復しないときは、ブレーキ系統に異常が考えられますので、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

●ウォッシャー液を噴射するとき

先にデフロスターを使ってフロントガラスを暖めてからウォッシャー液を噴射します。

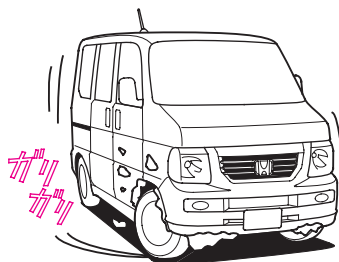
⚠ 注意

- 寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。ウォッシャー液が凍りついて視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●ハンドルのきれについて (タイヤまわりの着氷)

フェンダー裏側に付着した雪が氷結し、次第にたい積してハンドルのきれが悪くなることがあります。

ときどき確認し、着氷が大きくなる前に取り除いてください。



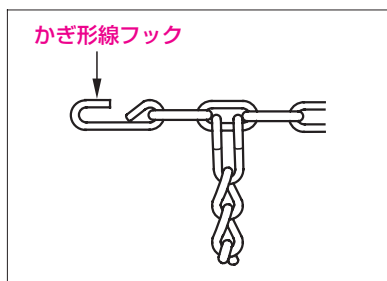
●タイヤチェーンのつけかた

チェーンサイズ

お求めはHonda販売店へお申し付けください。

タイヤサイズ	適合チェーンサイズ
145R12-6PR LT	スチールチェーン 45170(新JIS)
155/70R13 75S	スチールチェーン 45171(新JIS)

スチールチェーンは内側のフック形状が、かぎ形線フックのものをお使いください。



- タイヤチェーンはタイヤに合った適正な物をお使いください。
推奨タイヤチェーン以外の物を使うと、ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

標準的なタイヤチェーンの取り付けかた

タイヤチェーンは、駆動輪の後輪に装着してください。

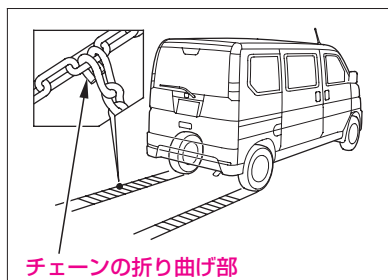
4WD車の場合も後輪駆動を主とした四輪駆動なので、チェーンは後輪に装着してください。

前輪には、タイヤチェーンを装着しないでください。

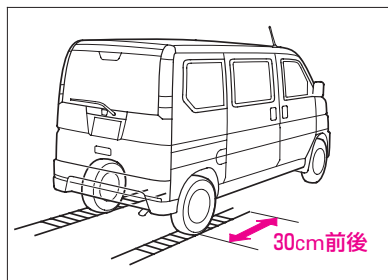
- スチールチェーン以外のタイヤチェーンをご使用になる場合は、タイヤチェーンに付属の取扱説明書にしたがって、正しく取り付けてください。
- タイヤチェーンは平らな所で他の交通に十分注意して取り付けてください。
必要に応じて非常点滅表示灯などを使ってください。
- タイヤチェーンを取り付けたときには、安全のため雪道、凍結路では30km/h以下の速度で運転してください。
なお乾燥路面ではタイヤチェーンを装着したままで走行するのは避けてください。チェーンの摩耗を早めます。



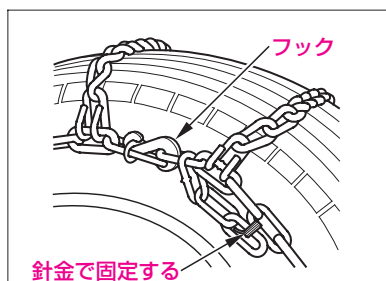
- ①前輪を直進状態にします。
- ②チェーンの折り曲げ部が下側になるようにしてチェーンを後輪のすぐ後ろに敷きます。



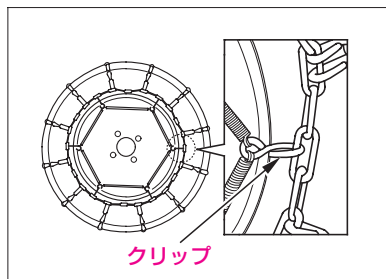
- ③先端のフックから30cm前後の位置まで後輪を移動させます。



- ④チェーンをタイヤにまきつけていっばいに引き、内側のフックを先に連結して次に外側のフックを連結します。
- ⑤連結してチェーンが余った場合は、ボディなどに当たるのを防ぐために針金で固定します。



- ⑥チェーンバンドのクリップを外向きにしてチェーンをいっばいに張ります。



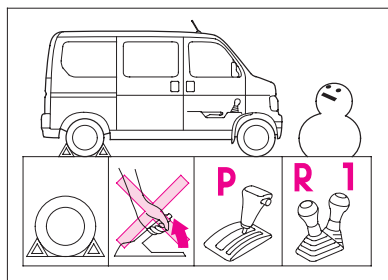
- ⑦試走してチェーンのゆるみ、はずれなどがなければ確認します。

駐車するとき

パーキングブレーキの凍結を防ぐために、パーキングブレーキは使わないでください。

マニュアル車はギヤをR(後退)か1に、オートマチック車はDに入れます。

石などで輪止めをしておきます。



●屋外に駐車するとき

●エンジンの冷えすぎを防ぐために、車の前部を風下や日の当たる方向に向けて停めてください。

・エンジンが冷えすぎると始動しにくくなることがあります。

●落雪や積雪を避けるために、軒下や樹木の下などには停めないでください。

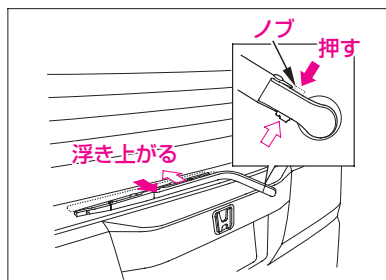
・車の屋根などがへこむことがあります。

●ワイパーアームは起こしてください。

・雪の重みでアームの取り付け部がこわれることがあります。

●リヤワイパーを持ち上げながらノブを押すと、ブレード(ゴム)が浮き上がりガラスから離れたまま固定できます。

元に戻すときは、リヤワイパーを持ち上げ反対側のノブを押します。





●**長期間使わないで
屋外におくとき**

塗装面の保護とドアまわりの凍結を防ぐために、ボディカバーを使ってください。

⚠ 注意

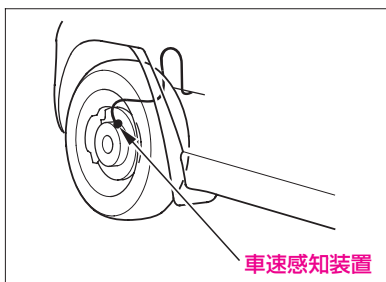
- 格納するとき、エンジン部を毛布で覆ったり、ラジエーターのまわりに段ボールや新聞紙をはさみ込んだりしないでください。

そのまま走行すると、火災のおそれがあります。

冬期の手入れ

●雪道走行後の手入れ

- フェンダー裏側や足まわりに付着した泥、雪は周囲の部品を損傷しないように取り除いてください。
ABS装備車は、足まわり(前、後輪の4か所)に車速感知装置が取り付けられていますので、傷をつけないように特に注意してください。



- 積雪時には道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。錆の原因になりますので、走行後はすぐに洗車してください。特に下回りは念入りに行ってください。

●点検・整備

バッテリーについて

気温が下がるとバッテリーの性能が低下し、エンジン始動に支障をきたすことがありますので、液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や充電をしてください。

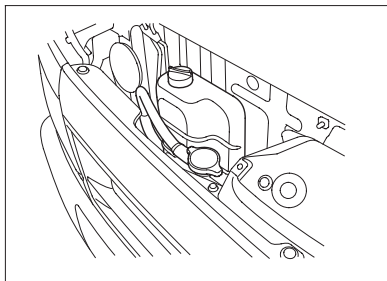
エンジンオイルについて

冬期はオイルの劣化が激しくなります。
冬期に主として短距離、または市街地を運転される方は、早めに交換してください。



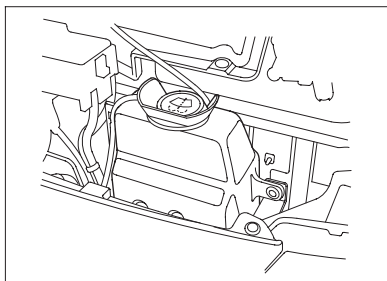
冷却水について

冷却水の凍結を防ぐために点検してください。



ウォッシャー液について

ウォッシャー液の凍結を防ぐために、ウォッシャー液の濃度を上げてください。



- 点検方法はメンテナンスノートを参照し、交換はHonda販売店にご相談ください。

こんなときは

雨の日の運転

雨の日は視界が悪くなるうえ、窓ガラスが曇ったり、路面が滑りやすくなるなど悪条件が重なるので通常より注意深い運転が必要です。

- ・急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、晴れの日よりも速度を落とし、車間距離を十分にとって運転しましょう。
- ・ハイドロプレーニング現象に注意しましょう。
- ・雨の降り始めの舗装道路は滑りやすいので特に気を付けましょう。
- ・冠水路などの深い水たまりは走行しないでください。

エンジンの破損や電装品の故障および車両故障につながるおそれがあります。

⚠ 警告

- 滑りやすい路面では、急加速、急ブレーキや急ハンドルは避けてください。
車のコントロールを失い思わぬ事故につながります。

ハイドロプレーニング現象とは

路面が水でおおわれているところを高速で走行したときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になることをいいます。

- ・このような状態になると、ハンドルやブレーキが効かなくなり、非常に危険です。

**● ガラスの曇りをとりたいとき**

ガラスが曇って外が見にくいときは、エアコンのデフロスターを使って曇りをとります。

リヤガラスの曇りは

リヤデフロスタースイッチを押して、曇りをとります。

● ガラスの油膜をとりたいとき

油膜があると、雨の夜は対向車のライトなどが乱反射します。ガラスクリーナーを使ってガラスの表面をきれいにします。

- ガラスクリーナーはHonda純正ケミカル用品をお使いください。

● ワイパーの拭きむらがあるとき

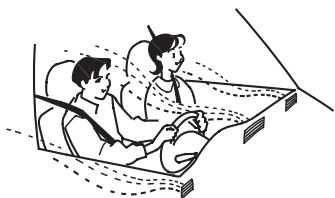
ワイパーブレードのラバーが傷んでいると、拭きむらが出て視界の妨げとなります。また、ガラス面を傷つけることがありますので、早めに交換してください。



夏場の 取り扱い

●エアコンの上手な使いかた

- 冷媒(ガス)が不足していると、冷房性能が低下します。
夏になる前に点検、補充をしておきましょう。
- 室内温度が高いときは、窓を開けて熱気を逃がしてからエアコンをかけましょう。
- エアコンの冷やしすぎは健康上良くありません。



●炎天下に駐車するときは

- ボディーに覆いをかけたり、ハンドルやシートにタオルなどをかけて、室内温度の上昇を抑えましょう。
- フロントガラスにアルミ光沢性の日除けバイザーを使うと、反射光が集光し、インストルメントパネルなどが変色、変形することがあります。

**●海から帰ってきたときは**

海に出かけた後は車も塩分を浴びています。錆の原因になりますので早めに洗車してください。下回りも念入りに洗いましょう。

●オーバーヒートを防ぐために

冷却水の量が不足しないように、こまめに点検します。

- ・走行中、高水温警告灯が点灯した場合は、オーバーヒートのおそれがあります。安全な場所に停車してエンジンを冷やしてください。

オーバーヒートしたとき

→230ページ

環境にやさしい省エネドライブをするために

●点検整備をきちんとし、タイヤの空気圧を適正にしましょう。

■適正空気圧で50km走ると50kPa {0.5kgf/cm²} 減

のときに比べてガソリン 150ccの節約。

▲CO₂ 1250g削減(650km/月)



●タイヤの空気圧が低下すると走行抵抗が増加し、燃費に大きく影響します。また、冬用タイヤや幅広タイヤを装着したときも同様に燃費に影響します。

● unnecessary 荷物は降ろして走行しましょう。

■10kgの荷物を降ろして50km走ると、

ガソリン 15ccの節約。

▲CO₂ 130g削減(650km/月)



●エアコンは少し控えめにしましょう。

室内温度が高いときは、窓を開けて熱気を逃がしてからエアコンをかけましょう。

■エアコンを6分停止して、ガソリン 70ccの節約。

▲CO₂ 1340g削減(3時間/月)



●エアコンは冷媒を循環するため、コンプレッサーをエンジンで駆動しており、エンジンに大きな負荷が発生します。それを補うため、燃料消費が多くなります。

●ヘッドライトやリヤデフロスターは電力を多く消費するため、不必要なときはスイッチを“OFF”にしてください。

●発電機はエンジンで駆動しており、消費電力が増加すると発電量が増加し、エンジンの負荷が大きくなり、それを補うため、燃料消費が多くなります。



●空ぶかしはしないようにしましょう。

■空ぶかしを1回やめて、ガソリン 6 ccの節約。

▲CO₂ 1150g削減(300回/月)



●長時間停車するときは、エンジンを停止してください。

また、長すぎる暖機運転をしないようにしましょう。

■5分間のアイドリングを止めて、ガソリン
65ccの節約。

▲CO₂ 420g削減(10回/月)



●変速位置の選択は、走行速度や坂の勾配に合わせて適切に行ってください。

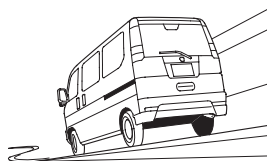
・オートマチック車は通常はⅡまたはⅢで走行します。

・下り坂で速度が出すぎてしまうときは、
エンジンブレーキを使います。

4速オートマチック車はⅢにして、エン
ジンブレーキを使用してください。

Ⅲのままで速度が出すぎるときはⅡにし、
さらに強いエンジンブレーキを使用して
ください。

3速オートマチック車はⅡにして、エンジンブレーキを使用してください。
マニュアル車はギヤを一段ずつ落として、エンジンブレーキを使います。



●下り坂などでエンジンブレーキを使う目的で、より低速のギヤを有効に
使うと、燃料カットの時間が長くなり、燃費が良くなることがあります。

●経済速度について

・高速道路では100km/hを80km/hにして
燃費10～30%の節約。

・一般道路では法定速度(40～60km/h)の
範囲で一定走行すると燃費は良くなりま
す。



参考資料 ＊社団法人日本自動車工業会：「あしたへECO-MOTION」参照

《対象車種2.0L 乗用(AT)の燃費＝11.7km/l(10・15モード)が計算ベース》

●10・15モード燃費について

10・15モード燃費とは

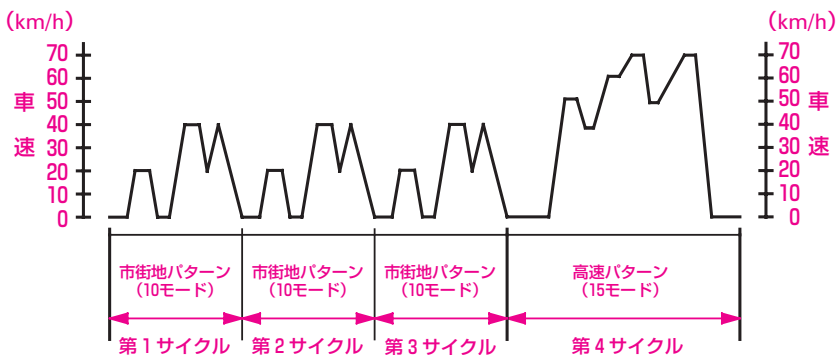
東京都内の幹線道路における平均的な走行形態の10モードと、高速走行や渋滞など大都市における走行形態を反映させた15モードを図のように

- ・市街地パターン(10モード)を3回
- ・高速パターン(15モード)を1回

の計4サイクルで走行したときの排出ガス量(g/km)を測定します。

このときに消費した燃料を10・15モード燃費(km/l)として表示しています。

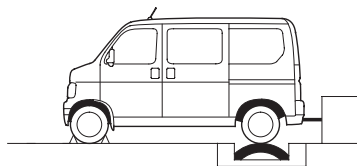
*計測走行距離 4.2km、平均车速 23km/h



10・15モード燃費と実走行燃費との違い

10・15モード燃費は図のようにシャーシダイナモーター上で定められた試験条件のもとで行われた燃費値です。

実際の走行時には気象、道路、車両、運転、整備などの状況が異なってきますので、それに応じて燃費が異なります。



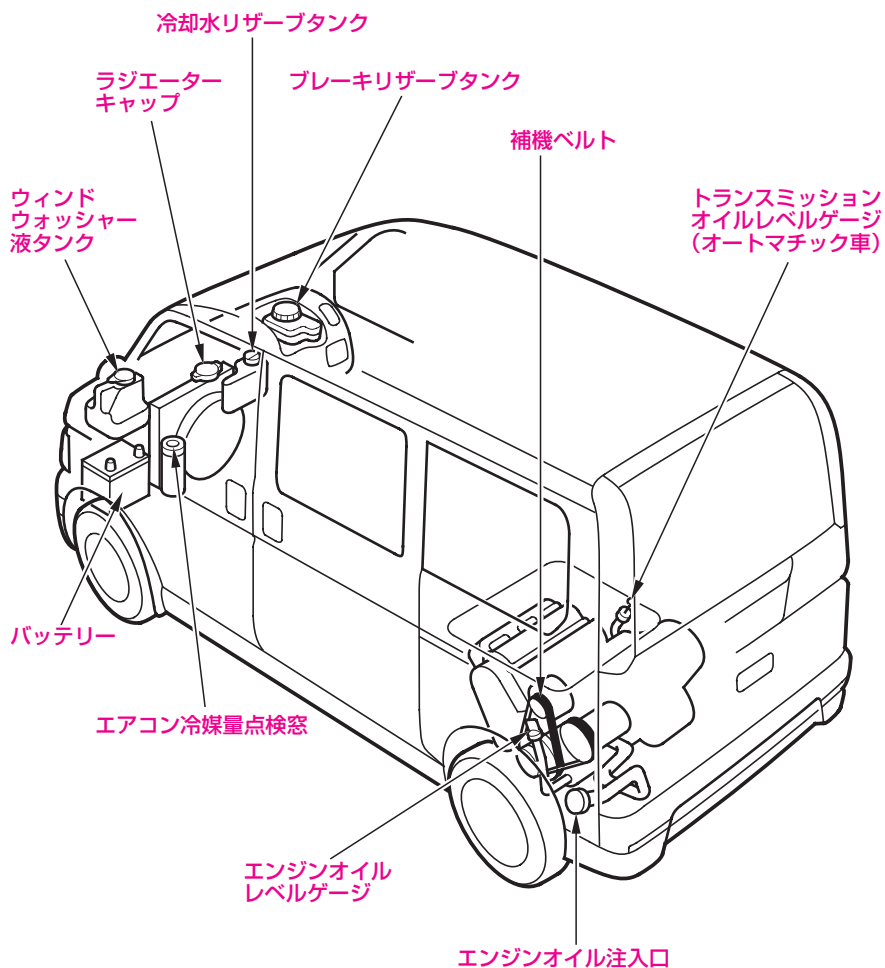


10・15モード燃費の計測方法(国土交通省認可時 測定条件)

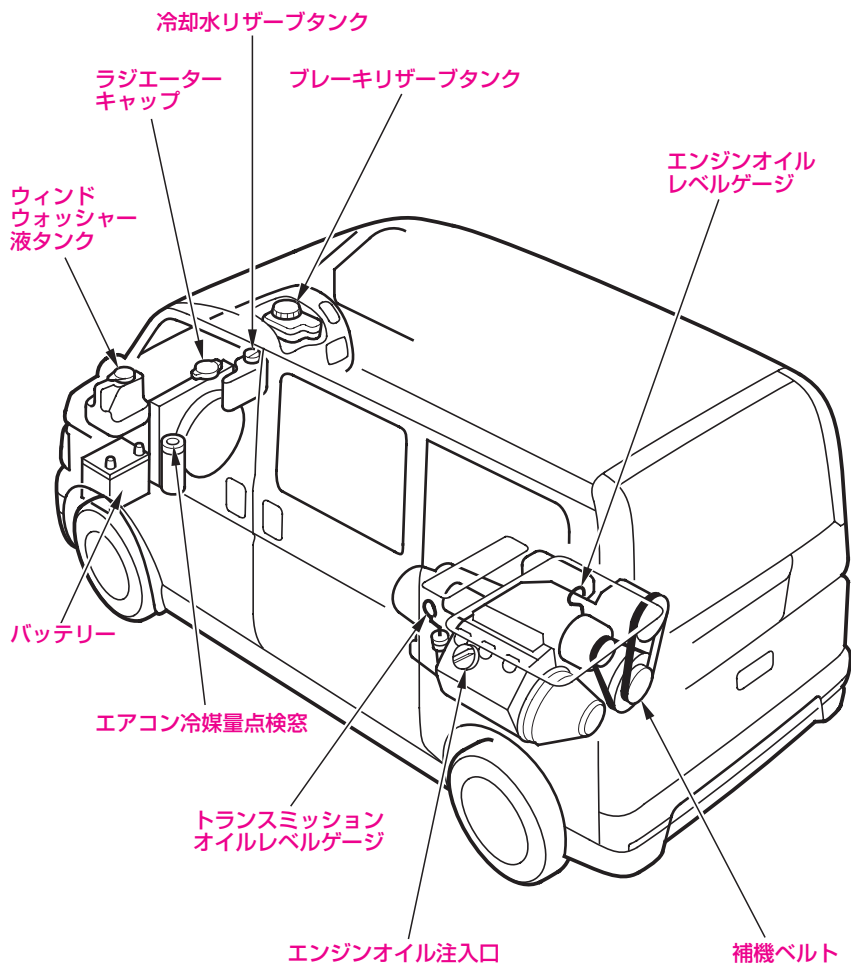
- ・ 完全暖機状態 60km/h 15分暖機後モード測定
- ・ 走行抵抗設定 車両(空車)状態+110kg(2名乗車分)
- ・ 搭載電気機器“OFF”状態
- ・ エアコン“OFF”で測定

サービスデータ

マニュアル車、3速オートマチック車



4 速オートマチック車

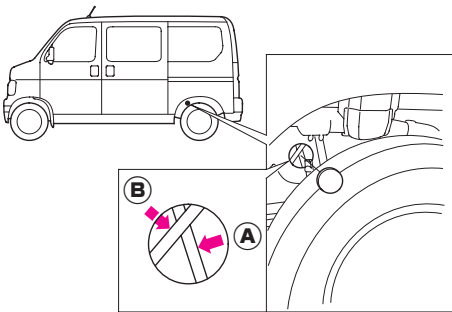
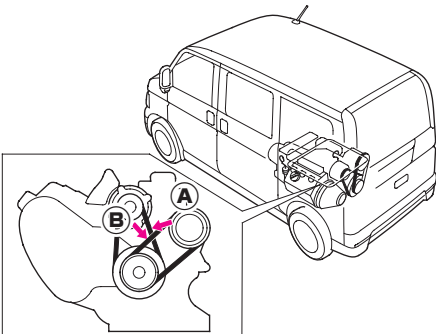


点検整備については「メンテナンスノート」も合せてご覧ください。

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ		
点 火 プ ラ グ	タ イ プ	M、L	NGK	BKR6E-11
			DENSO	K20PR-U11
		M TURBO、 L TURBO	NGK	IFR6C*
			DENSO	SK20PR-L9*
	電 極 の す き 間 (基準値)	M、L	1.0－1.1 mm	
		M TURBO、 L TURBO	0.8－0.9 mm	

※：イリジウムプラグを使用していますので、次のことに注意してください。

- ・イリジウム合金チップの微粒子膜を損傷するおそれがあるので、ワイヤーブラシ等による清掃は行わないでください。
- ・プラグギャップは調整できません。基準値をこえているものは交換してください。
(清掃はクリーナーにて20秒以下で行ってください。)

項 目	サ ー ビ ス デ ー タ
ベルトのたわみ量	↓ の位置を押す ①:補機ベルト (発電機) ②:補機ベルト (エアコンディショナー) マニュアル車、3 速オートマチック車  4 速オートマチック車 
① 補機ベルト	8.0－10.0 mm {約98N (10kgf) の力}
② 補機ベルト	8.0－10.0 mm {約98N (10kgf) の力}

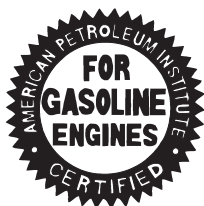
項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
ブレーキペダル	遊 び	1－10 mm	
	床板とのすき間	マニュアル車	87 mm {約196N (20kgf) の力}
		オートマチック車	91 mm {約196N (20kgf) の力}
	カーペットとのすき間 (参考値)	マニュアル車	81 mm {約196N (20kgf) の力}
		オートマチック車	85 mm {約196N (20kgf) の力}
クラッチペダル	遊 び	15－25 mm	
	床板とのすき間	72 mm以上 (クラッチが切れたとき)	
	カーペットとのすき間 (参考値)	66 mm以上 (クラッチが切れたとき)	
パーキングブレーキ	引 き し ろ	8－12ノッチ {約196N (20kgf) の力}	
エアクリーナー エ レ メ ン ト	タ イ プ	湿式	
バ ッ テ リ ー	容 量	マニュアル車	24AH(5)／28B17L
		オートマチック車	28AH(5)／38B19L
電 球 (バ ル ブ)	W (ワ ッ ト) 数	ヘッドライト (ハロゲンバルブ)・・・12V－60/55W フォグライト (ハロゲンバルブ)・・・12V－55W 前面方向指示器／前面非常点滅表示灯・12V－21W 車幅灯・・・・・・・・・・・・・・・・・・12V－5W 後面方向指示器／後面非常点滅表示灯・12V－21W 番号灯・・・・・・・・・・・・・・・・・・12V－5W 制動灯／尾灯・・・・・・・・・・・・・12V－21/5W 後退灯・・・・・・・・・・・・・・・・・・12V－16W(18W) ハイマウントストップランプ・・・・12V－21W 室内灯・・・・・・・・・・・・・・・・・・12V－5W マップランプ・・・・・・・・・・・・・12V－5W テールゲート照明灯・・・・・・・・・・12V－5W	

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ		
エンジンオイル	推 奨 オ イ ル	Honda純正オイル(4サイクル四輪車用) ウルトラLEO SM(API SM/GF-4級SAE 0W-20)* ウルトラLTD SM(API SM/GF-4級SAE 5W-30) ウルトラGOLD SM(API SM級SAE 5W-40) ウルトラMILD SM(API SM/GF-4級SAE 10W-30)		
	規 定 量	オイル交換時	マニュアル車	2.5 ℓ
			3速オートマチック車	
			4速オートマチック車	2.8 ℓ
		オイル、 オイルフィルター 同時交換時	マニュアル車	2.7 ℓ
			3速オートマチック車	
			4速オートマチック車	3.0 ℓ

※：0W-20は、最も省燃費性に優れたオイルです。
(但し、ターボ車には使用しないでください。)

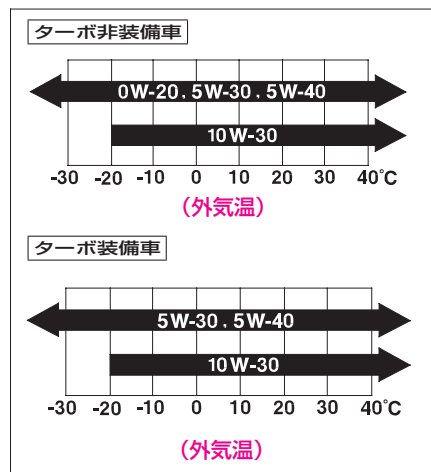
推奨エンジンオイル

Honda純正エンジンオイルまたはAPI SL級以上か、オイル缶にAPI CERTIFICATION(エーピーアイ サーティフィケーション)マークのついたエンジンオイルをお使いください。



API CERTIFICATIONマーク

市販のエンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものを下表にもとづきお使いください。



項 目		サ ー ビ ス デ ー タ			
燃 料	指 定 燃 料	無鉛レギュラーガソリン(無鉛ハイオクも使用可能)			
	タ ン ク 容 量	マニュアル車		37 ℓ	
		3 速オートマチック車			
		4 速オートマチック・2WD車			
トランスミッション オ イ ル	指 定 オ イ ル	4 速オートマチック・4WD車		36 ℓ	
		マニュアル車		Honda純正オイルウルトラMTF-II	
		オートマチック車		Honda純正ウルトラATF-Z1	
		規 定 量 (交換時)	マニュアル車		1.2 ℓ
			オートマチック車	3 速オートマチック	1.5 ℓ
	4 速オートマチック			1.9 ℓ	
フ ロ ン ト デファレンシャル オ イ ル (4 W D)	指 定 液	Honda純正ウルトラHGO-II			
	規 定 量 (交換時)	マニュアル車		0.49 ℓ	
		4 速オートマチック車		0.52 ℓ	
リ ヤ デファレンシャル オ イ ル (4速オートマチック)	指 定 液	Honda純正ウルトラHGO-II			
	規 定 量 (交換時)	0.59 ℓ			

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ		
冷 却 水	指 定 液	Honda純正ウルトラeクーラント		
	規 定 濃 度	50%		
	規 定 量 (交換時リザーブ タンク0.9 ℓ含む)	マニュアル車	リヤヒーター 非装備車	4.8 ℓ
		3速オートマチック車	リヤヒーター 装備車	5.2 ℓ
		4速オートマチック ターボ非装備車	リヤヒーター 非装備車	4.7 ℓ
			リヤヒーター 装備車	5.0 ℓ
		4速オートマチック ターボ装備車	リヤヒーター 非装備車	4.8 ℓ
			リヤヒーター 装備車	5.0 ℓ
ブ レ ー キ 液	指 定 液	Honda純正ウルトラブレーキフルードDOT 3 またはDOT 4		
ウ オ ッ シ ャ ー 液	タ ン ク 容 量	2.5 ℓ		

M、M TURBO(145R12-6PR LTタイヤ装着車)

項 目 タイヤサイズ	タイヤ空気圧 kPa (kgf/cm ²)		リムサイズ ^{2)*1}
	前輪	後輪	スチールホイール
145R12-6PR LT	220 (2.2)	350 (3.5)	12×3.50B

M TURBO(155/70R13 75Sタイヤ装着車)

項 目 タイヤサイズ	タイヤ空気圧 kPa (kgf/cm ²)		リムサイズ ^{2)*1}
	前輪	後輪	スチールホイール
155/70R13 75S	190 (1.9)	280 (2.8)	13×4.00B

L、L TURBO(145R12-6PR LTタイヤ装着車)

項 目 タイヤサイズ	タイヤ空気圧 kPa (kgf/cm ²)		リムサイズ ^{2)*1}	
	前輪	後輪	スチールホイール スベアタイヤ	アルミホイール
145R12-6PR LT	220 (2.2)	350 (3.5)	12×3.50B	12×3½J

L、L TURBO(155/70R13 75Sタイヤ装着車)

項 目 タイヤサイズ	タイヤ空気圧 kPa (kgf/cm ²)		リムサイズ ^{2)*1}	
	前輪	後輪	スチールホイール スベアタイヤ	アルミホイール
155/70R13 75S	190 (1.9)	280 (2.8)	13×4.00B	13×4.00B

タイヤの溝の深さ ():高速走行時	1.6 mm 以上 (2.4 mm 以上 ^{*2})
位置交換時期(タイヤローテーション)	5,000 km ごと

※ 1 : この車専用のホイールをお使いください。

専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。
ホイール交換に際しては、必ずHonda販売店にご相談ください。

• **145R12-6PR LTタイヤ装着車**

13インチのサイズのタイヤを装着しないでください。

タイヤと車体が干渉するおそれがあります。

• **アルミホイール装着車**

スペアタイヤにはスチールホイールを装着しています。

※ 2 : **145R12-6PR LTタイヤ装着車**

タイヤの残溝の深さが2.4mm未満のときは、80km/h以上の高速走行をしないでください。

名称	排気量 (cm ³)	車体形状	乗車定員 (人)	タイプ	
バモス	656	ステーション ワゴン	4	M	2WD
				L	
				M TURBO	
				L TURBO	
				M	4WD
				L	
				M TURBO	
				L TURBO	

さくいん

ア

アームレスト	60・61
雨の日の運転	278
アルミホイールについて	264
アンチロックブレーキシステム(ABS)	
運転のしかた	144
ABSのしくみ	144
警告灯	145
取り扱いについて	145
アンテナ	160

イ

イグニッション(エンジン)	
キー	34
スイッチ	102

ウ

ウィンカー	
スイッチ	106
電球の交換	242・244
表示灯	90
W(ワット)数	290
ウィンドー	48・52
ウォッシュ液	
スイッチ	109
タンクの容量	293
冬期の手入れ	277
動けなくなったとき	212・213
運転のしかた	112

エ

エアクリーナーエレメント	290
エアコン	
インデックス	151
使いかた	152
吹き出し風の調節	151
ベルト	289
リヤヒーター	157
冷媒(ガス)量点検	255
FM/AMラジオ一体式CD/MDステレオ	162
FM/AMラジオ一体式CDステレオ	184
SRSエアバッグシステム	
SRSエアバッグシステムの効果を十分に発揮させるために	138
SRSエアバッグシステムのしくみ	134
お子さまを乗せるときは	139
警告灯	141
作動しないとき	137
作動するとき	136
取り扱いについて	140
エレクトリックパワーステアリング(EPS)	
警告灯	100
エンジンオイル・フィルター	
オイル量	291
冬期の手入れ	276
補給口	53
メンテナンス表示灯	92
エンジンキー(キー)	34
エンジンスイッチ	102
エンジンのかけかた	112
エンジンブレーキ	18
エンジンルーム	286・287
エンジンルームリッド	54

オ

オーディオ	158
インデックス	161
上手な使いかた	158
オートマチックトランスミッション	
運転のしかた	125
オイル	292
セレクトレバー	118・122
オーバーヒートしたとき	230
オドメーター	86

カ

カーゴスペースの作りかた	64
カードホルダー	206
外装の手入れ	259
学童用(ジュニア)シート	15・75
カップホルダー	207
ガラスの手入れ	261
換気	13
環境にやさしい省エネドライブを するために	282
寒冷時の取り扱い	268

キ

キー	34
キー抜き忘れ警告ブザー	103
キーレスエントリー	40
電池交換	247
キックダウン	22

ク

曇り取り(デフロスター)	155
クラッチスタートシステム	114
クラッチペダル	290
クリープ現象	22
車にあった部品の使用	266
グローブボックス	205

ケ

警告灯	
警告灯類	94
電球切れの点検	101
けん引	
けん引されるとき	216
限界回転数(レッドゾーン)	85

コ

工具(ツール)

格納場所	210
種類	211
高水温警告灯	99
高速道路で故障したとき	212
後退灯(バックランプ)	
電球の交換	244
W(ワット)数	290
故障したとき	212
故障の修理について	213
小物入れ	205
コンビニフック	206

サ

サービスステータ	286
サイドアンダーミラー	69
三点式シートベルト	76
サンバイザー	205

シ

シート	
アレンジインデックス	58
カーゴスペースの作りかた	64
正しい運転姿勢	56
フルフラットシート	62
フロントシート	59
リヤシート	60
シートバックポケット	207
シートベルト	70
種類	72
チャイルドシート固定機構	78
着用のしかた	76
リマインダー(非着用警報装置)	73
シートベルトプリテンショナー	
警告灯	143
シートベルトプリテンショナーのしくみ	142
取り扱いについて	143
シガレットライター	204
事故が起きたとき	214
室内灯(ルームランプ)	
使いかた	202
電球の交換	245
W(ワット)数	290
シフトロック装置	25・127
霜取り・曇り止め	155
ジャッキの取り扱い	220
車幅灯(ポジションランプ)	
電球の交換	243
W(ワット)数	290
車両限定型ISOFIX取付装置	80
充電警告灯	97
樹脂塗装部品	261
ジュニア(学童用)シート	15・75
純正部品	266

ス

水温	
高温水温警告灯	99
低水温表示灯	91
スイッチの使いかた	102
スノータイヤ(冬用タイヤ)	270
スパークプラグ(点火プラグ)	288
スピードメーター	85
スベアタイヤ	
格納場所	210
空気圧	294
サイズ	294
スベアタイヤについて	222
スライドドア	38
スライドドアウィンドー	52

セ

制動灯(ブレーキランプ)	
電球の交換	244
W(ワット)数	290
整備	250
積雪・寒冷時の取り扱い	
運転するとき	270
運転するまえ	268
駐車するとき	274
冬期の手入れ	276
セレクトレバー	
操作	118・122
ポジション表示灯	91
洗車	259
前照灯(ヘッドライト)	
上向きと下向きの切り換え	104
上向き表示灯	90
追越合図(パッシング)	104
スイッチ	104
電球の交換	240
レベリングダイヤル	105
W(ワット)数	290
前席パワーウィンドー	48

ソ

速度計	85
速度範囲	116・120・124
その他の安全装備	147

タ

ターボ車について	32
タイヤ	
位置交換(ローテーション)	254
ウェアインジケーター	253
空気圧	294
交換	225
サイズ	294
スノータイヤ	270
スペアタイヤ	222
チェーン	272
タコメーター	85
正しい運転姿勢	56

チ

チェーン	272
チェンジレバーの操作	116
チャイルド(幼児用)シート	15・75
チャイルドシート固定機構付き	
シートベルト	78
チャイルドシート固定装置	78
チャイルドブルーフ	40
駐車	
坂道	27
積雪・寒冷時の取り扱い	274
駐車ブレーキ(パーキングブレーキ)	
警告灯	96
積雪・寒冷時の取り扱い	274
操作	114

デ

低水温表示灯	91
テールゲート	
開閉	44
開閉警告灯	98
施錠・解錠	44
テールゲート照明灯	
使いかた	202
電球の交換	246
W(ワット)数	290
デファレンシャルオイル	292
デフロスター	155
点火プラグ	288
電気系統が異常のとき	232
電気装置が作動しないとき	236
電球(バルブ)	
交換	238
W(ワット)数	290
点検・整備について	250
電池交換	247

ト

ドア	
開閉警告灯	98
施錠・解錠	35
積雪・寒冷時の取り扱い	269
ドアミラー	68
冬期の手入れ	276
道路で動けなくなったとき	213
時計	183・201
塗装の手入れ	259
トップテザーアンカレッジ	80
トランスミッション	
オイル容量	292
トリップメーター	86

ナ

内装の手入れ	262
夏場の取り扱い	280

ニ

日常の手入れ	258
乳児用(ベビー)シート	15・75

ネ

燃料(ガソリン)	
指定燃料	46・292
タンク容量	46・292
燃料計	87
燃料残量警告灯	98
補給口	46

ハ

パーキングブレーキ(駐車ブレーキ)	
警告灯	96
積雪・寒冷時の取り扱い	274
操作	114
灰皿	203
ハイドロプレーニング現象	278
ハイビーム表示灯	90
ハイマウントストップランプ	147
電球の交換	244
W(ワット)数	290
ハザードランプ(非常点滅表示灯)	
スイッチ	107
電球の交換	242・244
W(ワット)数	290
はさみ込み防止機構	51
発炎筒	
格納場所	210
発炎筒について	211
バックミラー(後写鏡)	
使いかた	68
パッシング	104
バッテリー	
充電	235
冬期の手入れ	276
バッテリーあがり	232
容量	290
パニティミラー(化粧鏡)	205
ハロゲンバルブについて	239
パワーウィンドー	48
パワーステアリング(EPS警告灯)	100
パワードアロック(オートドアロック)	35
バンク	
バンクしたとき	220
番号灯(ライセンスランプ)	
電球の交換	245
W(ワット)数	290

ヒ

PGM-FI警告灯	97
ヒーター・マニュアル式エアコン	152
吹き出し風の調節	151
非常点滅表示灯(ハザードランプ)	
スイッチ	107
電球の交換	242・244
W(ワット)数	290
尾灯	
電球の交換	244
W(ワット)数	290
ヒューズ	236
表示灯	88

フ

フォグライト	
スイッチ	106
電球の交換	241
W(ワット)数	290
吹き出し風の調節	151
踏切で動けなくなったとき	212
フューエルリッド	47
プラグ	288
フルフラットシート	62
ブレーキ	
警告灯	96
積雪・寒冷時の取り扱い	271
倍力装置	18
ペダル	290
ブレーキアシスト	147
ブレーキランプ	
電球の交換	244
W(ワット)数	290
フロントシート	59

ハ	
ヘッドライト	
上向きと下向きの切り換え	104
上向き表示灯	90
追越合図(パッシング)	104
スイッチ	104
電球の交換	240
レベリングダイヤル	105
W(ワット)数	290
ヘッドレスト	59・61
ベビー(乳児用)シート	15・75
ベルトのたわみ量	289
ベンホルダー	206

ホ	
ホーンスイッチ	111
ホイールサイズ	294
芳香剤	263
方向指示器	
スイッチ	106
電球の交換	242・244
表示灯	90
W(ワット)数	290
補機ベルト(発電機、 エアコンディショナー)	289
ボンネット	42

マ	
マップランプ	
使いかた	203
電球の交換	246
W(ワット)数	290
万一のとき	209

ミ	
ミラー	
サイドアンダーミラー	69
ドアミラー	68
ルームミラー	68

ム	
無線装置	29

メ	
メーター(計器類)	84
メンテナンスリッド	55

ユ	
油圧警告灯	96
雪道走行後の手入れ	276

ヨ	
幼児用(チャイルドシート)	15・75
四輪駆動機構(4WD)	
運転するときは	146
取り扱いについて	146

ラ

ライト消し忘れ警告ブザー	104
ライトスイッチ	104
ライト類が点灯しないとき	236
ラジオの使いかた	164・186

リ

リムサイズ	294
リヤシート	60
リヤデフロスター	110
リヤヒーター	157
リヤワイパースイッチ	109

ル

ルームミラー(後写鏡)	68
-------------------	----

レ

冷却水(ラジエーター液)	
水量	293
冬期の手入れ	277

ロ

ロアアンカレッジ	81
----------------	----

ワ

ワイパー	
スイッチ	108
積雪・寒冷時の取り扱い	269・274
ワックスがけ	260

A	
ABS(アンチロックブレーキシステム)	
運転のしかた	144
ABSのしくみ	144
警告灯	145
取り扱いについて	145
A/C(エアコン)	
インデックス	151
使いかた	152
吹き出し風の調節	151
ベルト	289
リヤヒーター	157
冷媒(ガス)量点検	255
AT(オートマチックトランスミッション)	
運転のしかた	125
オイル	292
セレクトレバー	118・122

E	
ELR付三点式シートベルト	72
ELR・ALR付三点式シートベルト	72
EPS(エレクトリックパワーステアリング)	
警告灯	100

F	
FM/AMラジオー体式CD/MDステレオ	162
FM/AMラジオー体式CDステレオ	184

I	
INT(間欠ワイパー)	109
M	
MIST	109
MT(マニュアルトランスミッション)	
オイル	292
チェンジレバー	116

P	
PGM-FI警告灯	97
PRESS(シートベルトバックル)	77

S	
SRSエアバッグシステム	
SRSエアバッグシステムの効果を	
十分に発揮させるために	138
SRSエアバッグシステムのしくみ	134
お子さまを乗せるときは	139
警告灯	141
作動しないとき	137
作動するとき	136
取り扱いについて	140

T	
TRIP(トリップメーター)	86

W	
W数(ライト類の電球のワット数)	290

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず、**Honda**販売店にお気軽にご相談ください。

お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社 お客様相談センター

フリーダイヤル

0120-112010 イイフレイアイ

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00

〒351-0188 埼玉県和光市本町 8 - 1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速にご対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

- ①車検証記載事項 車両型式、車台番号、エンジン型式、車両番号、登録年月日
②車種名、タイプ名、走行距離 ③ご購入年月日 ④販売店名

エアバッグシステム故障診断記録装置について

この車には、エアバッグシステムを制御するためのコンピューターが搭載されており、衝突によりセンサーが一定以上の衝撃を感知したときには次の内容をデータとして記録します。

- ・エアバッグシステムの故障診断情報
- ・エアバッグの作動に関する情報

これらのデータはお車を所有されるかたのものであり、次の場合を除き、利用されることはありません。

- ・エアバッグシステムを点検、修理するとき
- ・お車の所有者または使用者の同意があるとき
- ・裁判所の命令等、法的強制力を持つ要請があるとき

こんなことでお困りのとき

●キーレスエントリーで解錠しても、自動で閉まってしまう

- ・キーレスエントリーで解錠してから、ドア、テールゲートを開けないまま、約30秒たっていませんか。

キーレスエントリー →40ページ

●エンジンスイッチが回せない

“0”から“1”に回らないとき（ハンドルロックの解除）

- ・ハンドルを左右に動かしながらキーを回してください。

エンジンスイッチ →102ページ

“1”から“0”に回らないとき オートマチック車

- ・セレクトレバーがPに入っていますか。

キーを抜くとき →102ページ

●エンジンがかからない

- ・オートマチック車は、セレクトレバーがPかNに入っていますか。
- ・ガソリンが入っていますか。（メーター内の燃料計で確認してください。）
- ・バッテリーがあがっていませんか。

バッテリーあがりのとき →232ページ

- ・マニュアル車はクラッチペダルをいっばいに踏み込んでいますか。

クラッチ・スタートシステム →114ページ

●セレクトレバーがPから動かせない オートマチック車

- ・ブレーキペダルを踏んでから操作していますか。
（操作できないときは、キーをシフトロック解除穴に差し込み、押しながらセレクトレバーを動かしてください。）

セレクトレバーが動かないとき →127ページ

- ・エンジンスイッチを“II”にしてから操作していますか。

シフトロック装置の正しい理解を →25ページ

●パワーウィンドーの開閉ができない

- ・パワーウィンドーのメインスイッチが“OFF”になっていませんか。

前席パワーウィンドー →48ページ

●ドアを開けるとブザーが鳴る

- ・キーをエンジンスイッチに差し込んだままになっていませんか。

キー抜き忘れ警告ブザー →103ページ

- ・ライトを消し忘れたままになっていませんか。

ライト消し忘れ警告ブザー →104ページ

●後席ドアが室内から開けられない

- ・チャイルドブローフが施錠されていませんか。

チャイルドブローフ →40ページ

●キーを閉じ込めてしまった

- ・Honda販売店またはJAFへご連絡ください。

●高水温警告灯が点灯した

●フロントコンパートメントルームやエンジンルームから蒸気が立ちのぼっている

- ・オーバーヒートのおそれがあります。

(安全な場所に停車して、エンジンを冷やしてください。)

オーバーヒートしたとき →230ページ

●走行中にブレーキを踏むと金属的な摩擦音がする

- ・ブレーキパッドが摩耗して使用限界になっているおそれがあります。

(Honda販売店で点検を行ってください。)

●走行中にブレーキを踏むと、ペダルが振動する

ABS装備車

- ・アンチロックブレーキシステム(ABS)が作動したものと思われます。

ABSのしくみ →144ページ

●走行するとブザーが鳴る

ブザーが鳴り、シートベルト非着用警告灯が点滅しているときは

運転席シートベルトを着用していますか。

(運転席シートベルトを着用してください。)

シートベルトリマインダー →73ページ



万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、
Honda 販売店で点検整備を受けてください。
各所在地、電話番号については、別冊の「サービス網一覧」
をご覧ください。

インターネットでも取扱説明情報をお伝えしております。
Digital Owner's Manualのホームページ
<http://www.honda.co.jp/manual/>